

基本計画 重点プログラム
市民アンケート結果
（まちづくり評価委員会資料）

平成 25 年（2013 年）7 月

横須賀市都市政策研究所

は じ め に

横須賀市では、平成 10 年に策定した横須賀市総合計画にもとづき、「国際海の手文化都市」を目指したまちづくりを進めています。

平成 23 年 4 月からは、市の基本的な政策・施策の体系、政策の目標などを示した、新たな基本計画、実施計画が同時にスタートしました。

この基本計画では、計画期間中に、特に重点的・優先的に実行する取り組みとして、持続可能な発展に必要な都市力の向上を目的とした「重点プログラム」を位置付けています。

今回、重点プログラムの目的、各プログラムが実現を目指す都市の姿、その取り組みの方向性に対する市民の皆さまの実感を伺うアンケート調査を実施しました。（15 歳以上の 2,000 人の方が対象）本調査は、平成 23 年度から継続して実施しているものです。

調査で得られた結果は、重点政策・施策評価や政策展開を検討する上での基礎資料として、十分に活用してまいります。

本調査にご協力いただきました皆さまには、厚くお礼申し上げます。

平成 25 年（2013 年）7 月

横須賀市都市政策研究所

報 告 書 の 見 方

1. 基本計画重点プログラム市民アンケートでは、各重点プログラムが実現を目指す都市の姿、その都市の姿を実現するための取り組みの方向性について、以下のとおり設問し、実感を尋ねている。(P106 アンケート調査票参照)

(1) 現在について

重点プログラムが実現を目指す都市の姿、取り組みの方向性で掲げる状態にあるか

⇒「①思う」「② やや思う」「③どちらともいえない」「④ あまり思わない」

「⑤思わない」の5段階と、「⑥わからない」を設定

(2) 以前との比較

重点プログラムが実現を目指す都市の姿、取り組みの方向性に向かって

⇒「①よくなっている」「②どちらかというとよくなっている」「③変わっていない」

「④どちらかというと悪くなっている」「⑤悪くなっている」の5段階と、

「⑥わからない」を設定

2. アンケートの設問に対する回答者の傾向を観察するため、DI（ディフュージョンインデックス 景気動向指数／拡散指数）の考え方を利用している。

プラスの回答ポイント－マイナスの回答ポイント＝DIとして記述している。

DI とは、「良い／悪い」「上昇／下落」といった定性的な指標を数値化して得られた指数をいう。

マイナス 100 からプラス 100 の間を取る。

3. 集計結果では、「⑥わからない」と「無回答」を除いて、回答割合を算出している。回答率（％）は、小数点以下第2位を四捨五入したため、合計が100％とならない場合がある。

・現在について 「①思う」＋「② やや思う」

・以前との比較 「①よくなっている」＋「②どちらかというとよくなっている」

⇒プラスの回答ポイント

・現在について 「④ あまり思わない」＋「⑤思わない」

・以前との比較 「④どちらかというと悪くなっている」＋「⑤悪くなっている」

⇒マイナスの回答ポイント

・DI がプラス … アンケート回答者の実感が、良好・改善の傾向にある

・DI がマイナス … アンケート回答者の実感が、停滞・後退の傾向にある

4. 調査結果では、各項目の平成 25 年度と 23 年度の DI を比較し、その数値の変化について、以下の基準で記述している。

H25－23 年度の差	状況
3 ポイント未満	変化なし
3 ～ 5 ポイント未満	大きな変化なし
5 ～ 10 ポイント未満	上昇 ／ 低下
10 ポイント以上	大幅に上昇 ／ 大幅に低下

目 次

I. 調査目的および実施方法等	1
II. 集計結果 ー重点プログラムが実現を目指す都市の姿と取り組みの方向性の状況ー	5
1 各重点プログラムが目指す都市の姿の状況	5
2 「重点プログラムの取り組みの方向性別」の状況 (プログラム1・2・3)	7
3 「重点プログラムの取り組みの方向性別」の状況 (プログラム4・5)	9
4 重点プログラム 取り組みの方向性別優先度	11
5 重点プログラム 取り組みの方向性 (優先して取り組むべき政策×現在の実感)	13
III. 集計結果 ープログラム別の状況ー	15
重点プログラム1「新しい芽を育む」 ～子どもを産み育てやすいまちづくり・人間性豊かな子どもの育成～	
1 プログラム1「新しい芽を育む」の傾向	15
2 取り組みの方向性の傾向(全体)	16
3 取り組みの方向性の傾向(年齢別)	19
4 回答理由分類	23
重点プログラム2「命を守る」 ～誰もが活躍できるまちづくり・安全で安心なまちづくり～	
1 プログラム2「命を守る」の傾向	29
2 取り組みの方向性の傾向(全体)	30
3 取り組みの方向性の傾向(2-1年齢別/2-2地域別)	33
4 回答理由分類	37
重点プログラム3「環境を守る」 ～人と自然が共生するまちづくり・地球環境に貢献するまちづくり～	
1 プログラム3「環境を守る」の傾向	43
2 取り組みの方向性の傾向(全体)	44
3 取り組みの方向性の傾向(3-1地域別/3-2年齢別)	47
4 回答理由分類	51

重点プログラム4「にぎわいを生む」

～地域経済の活性化と雇用の創出・集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり～

- 1 プログラム4「にぎわいを生む」の傾向 57
- 2 取り組みの方向性の傾向（全体） 58
- 3 取り組みの方向性の傾向（年齢別） 61
- 4 回答理由分類 65

重点プログラム5「地域力を育む」

～地域と住民の主体性が発揮される仕組みづくり・地域を支えるコミュニティ機能の強化～

- 1 プログラム5「地域力を育む」の傾向 71
- 2 取り組みの方向性の傾向（全体） 72
- 3 取り組みの方向性の傾向（5－1地域別／5－2年齢別） 75
- 4 回答理由分類 79

IV. 持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）について 85

- 1 持続可能な発展を遂げる都市力を備えているまちの傾向（全体） 85
- 2 持続可能な発展を遂げる都市力を備えているまちの傾向（属性別） 88
- 3 回答理由分類 93

V. 持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）

- －優先して取り組むべき政策について－ 95
- 1 優先して取り組むべき政策の傾向（全体） 95
- 2 優先して取り組むべき政策の傾向（属性別） 97
- 3 優先して取り組むべき政策と取り組みの方向性に対する現在の実感 101

基本的な属性（F1～F6） 103

調査票 106

I 調査目的および実施方法等

1 調査目的

- (1) 横須賀市基本計画（2011～2021）に掲げた重点プログラムの目的である「持続可能な発展に必要な都市力（都市の魅力）」の向上や、各プログラムが実現を目指す都市の姿、取り組みの方向性について、市民の実感を把握し、今後の政策・施策の改善に活用する。
- (2) 重点プログラムを効果的に推進するため、プログラムを構成する事業を検証し、今後の方向性を検討する重点政策・施策評価に活用する。

2 調査項目

問 1～15

「各重点プログラムが実現を目指す都市の姿」「都市の姿を実現するための取り組みの方向性」について

問 16

「持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）」について

問 17

「優先して取り組むべき政策」について

問 18

「横須賀市の魅力」について

問 19

「横須賀市への愛着」について

問 20

「横須賀市のイメージ」について（現在の都市イメージ・望ましい都市イメージ）

< 基本的な属性 >

F 1 性別 / F 2 年齢 / F 3 居住地域 / F 4 職業 /
F 5 世帯の状況 / F 6 居住年数

3 調査項目と重点プログラムの対応関係

アンケートの調査項目のうち、問 1～問 15 は、各重点プログラムが実現を目指す都市の姿、それを実現するための取り組みの方向性に対応した設問である。

また、問 16 は、重点プログラムの目的である「持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）」についての設問で、いずれも、**市民の実感**を尋ねる内容となっている。

図表 I 調査項目と基本計画重点プログラムの対応関係

重点プログラム		対応する設問	取り組みの方向性		対応する設問
1	新しい芽を育む	問 3	1－1	子どもを産み育てやすいまちづくり	問 1
			1－2	人間性豊かな子どもの育成	問 2
2	命を守る	問 6	2－1	誰もが活躍できるまちづくり	問 4
			2－2	安全で安心なまちづくり	問 5
3	環境を守る	問 9	3－1	人と自然が共生するまちづくり	問 7
			3－2	地球環境に貢献するまちづくり	問 8
4	にぎわいを生む	問 12	4－1	地域経済の活性化と雇用の創出	問 10
			4－2	集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	問 11
5	地域力を育む	問 15	5－1	地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	問 13
			5－2	地域を支えるコミュニティ機能の強化	問 14

4 調査対象および回収数

調査対象：横須賀市に在住の 15 歳以上の市民 2,000 人

（平成 25 年 4 月 1 日現在；住民基本台帳から無作為抽出）

回収数	回収率	昨年度比
732 件	36.6%	3 ポイント減

5 実施方法

郵送による発送及び回収

アンケートの実施に際しては、昨年度の調査同様、基本計画に掲げた重点プログラムの内容や目標、達成に向けた取り組みへの理解を促すための参考資料を同封した。

6 実施時期

平成 25 年（2013 年） 4 月 23 日 ～ 5 月 13 日 ＊発送日－投函締切日

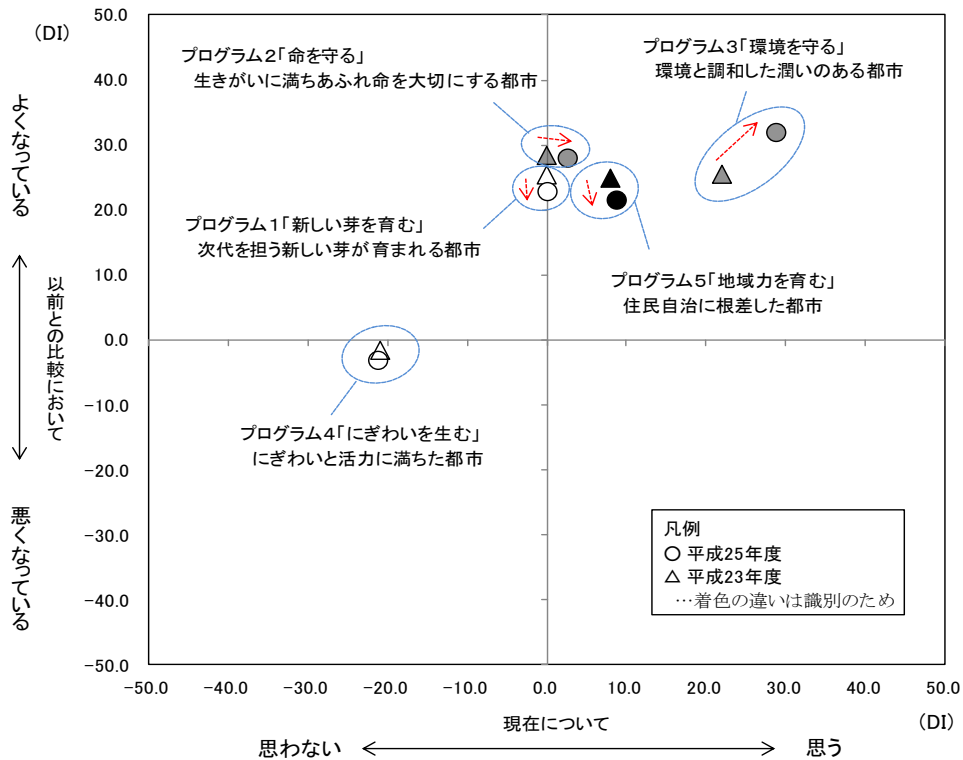
7 調査の企画・分析

横須賀市都市政策研究所で実施

Ⅱ 集計結果 ―重点プログラムが実現を目指す都市の姿と取り組みの方向性の状況―

1 各重点プログラムが実現を目指す都市の姿の状況

図表Ⅱ－1 重点プログラムが実現を目指す都市の姿の状況（H25-23 年度比較）



【現在について】				思わない ←		→ 思う				
各プログラムが実現を目指す都市の姿		調査年度	件数(人)	①思う+②やや思う (a)		③どちらとも いえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	(ポイント) 25-23年度比
プログラム1	次代を担う新しい芽が育まれる都市	25年度	531	33.1	33.7	33.1	0.0	6.7	0.1	
		24年度	600	31.0	31.3	37.7	▲ 6.7	▲ 6.6		
		23年度	591	34.9	30.1	35.0	▲ 0.1	—		
プログラム2	生きがいに満ちあふれ 命を大切にする都市	25年度	591	32.7	37.2	30.1	2.6	4.7	2.7	
		24年度	640	31.0	35.9	33.1	▲ 2.1	▲ 2.0		
		23年度	631	33.0	33.9	33.1	▲ 0.1	—		
プログラム3	環境と調和した潤いのある都市	25年度	613	50.9	26.9	22.2	28.7	8.1	6.8	
		24年度	663	46.9	26.8	26.3	20.6	▲ 1.3		
		23年度	655	48.2	25.5	26.3	21.9	—		
プログラム4	にぎわいと活力に満ちた都市	25年度	668	26.6	25.4	47.9	▲ 21.3	5.7	▲ 0.3	
		24年度	716	24.4	24.2	51.4	▲ 27.0	▲ 6.0		
		23年度	705	27.1	24.8	48.1	▲ 21.0	—		
プログラム5	住民自治に根差した都市	25年度	564	37.1	34.6	28.4	8.7	7.6	0.8	
		24年度	602	34.5	32.1	33.4	1.1	▲ 6.8		
		23年度	586	39.6	28.7	31.7	7.9	—		

【以前との比較】											
各プログラムが実現を目指す都市の姿		調査年度	件数(人)				DI (a)-(b)	前年度比	(ポイント)		
				①よくなっている＋ ②どちらかという＋ よくなっている	③変わって いない	④どちらかという＋ ⑤悪くなっている＋ ⑤悪くなっている			25-23年度比		
プログラム1	次代を担う新しい芽が育まれる都市	25年度	423	36.9	49.2	13.9	23.0	1.9	▲ 2.5		
		24年度	474	35.4	50.2	14.3	21.1	▲ 4.4			
		23年度	491	37.3	50.9	11.8	25.5	—			
プログラム2	生きがいに満ちあふれ命を大切に する都市	25年度	495	38.4	51.3	10.3	28.1	▲ 0.5	▲ 0.4		
		24年度	524	38.3	51.9	9.7	28.6	0.1			
		23年度	543	39.2	50.1	10.7	28.5	—			
プログラム3	環境と調和した潤いのある都市	25年度	537	42.8	46.4	10.8	32.0	6.2	6.4		
		24年度	558	40.3	45.2	14.5	25.8	0.2			
		23年度	572	41.2	43.2	15.6	25.6	—			
プログラム4	にぎわいと活力に満ちた都市	25年度	591	30.1	36.7	33.2	▲ 3.1	1.0	▲ 1.6		
		24年度	635	29.3	37.3	33.4	▲ 4.1	▲ 2.6			
		23年度	629	27.6	43.2	29.1	▲ 1.5	—			
プログラム5	住民自治に根差した都市	25年度	481	31.6	58.4	10.0	21.6	▲ 2.9	▲ 3.4		
		24年度	512	34.4	55.7	9.9	24.5	▲ 0.5			
		23年度	503	35.4	54.3	10.4	25.0	—			

【調査結果のポイント】

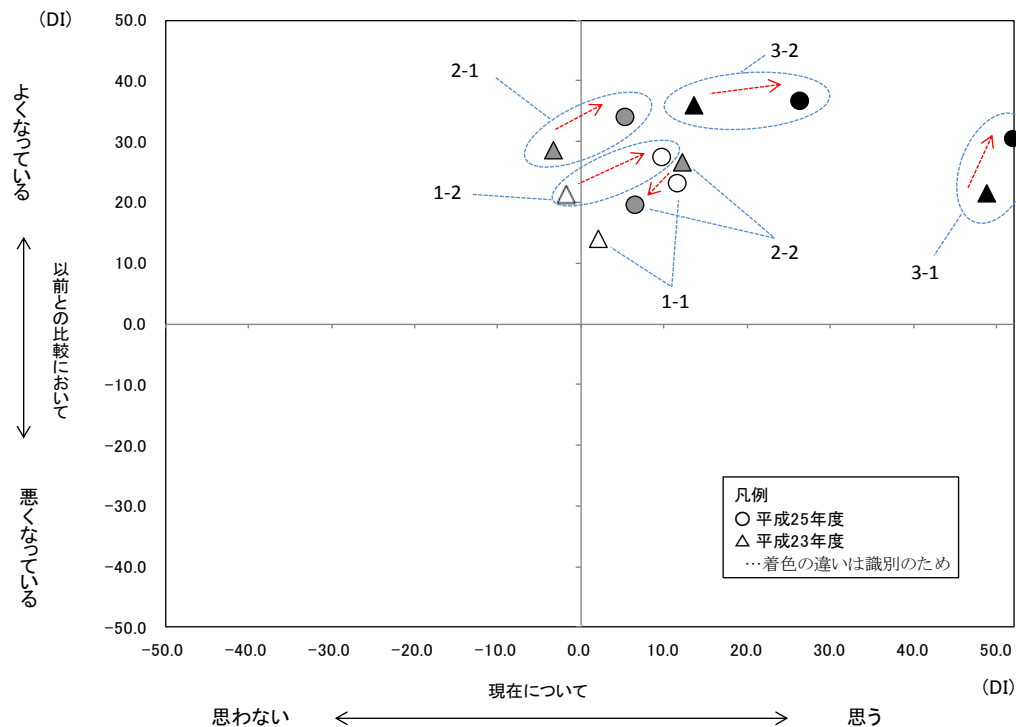
- ・今回調査について、各プログラムが実現を目指す都市の姿で、「現在について」「以前との比較」ともにDIがプラス（実感が得られている状況）を示しているのは、プログラム2「生きがいに満ちあふれ命を大切に作る都市」、プログラム3「環境と調和した潤いのある都市」、プログラム5「住民自治に根差した都市」となった。プログラム3、プログラム5は過去の調査においても同様の結果である。
- ・一方、「現在について」「以前との比較」ともにDIがマイナス（実感が得られていない）を示しているのは、プログラム4「にぎわいと活力に満ちた都市」で、特に「現在について」ではマイナス20ポイント以上で実感が得られていない。
- ・平成23年度調査との比較で、最もDIが上昇したのは、「現在について」「以前との比較」いずれもプログラム3で、その他のプログラムについては、総じて変化がみられない。

【DIの状況 平成25年度－23年度比較】

各プログラムが実現を目指す都市の姿	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度→25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度→25年度)	年度差	状況
プログラム1 次代を担う新しい芽が育まれる都市	▲ 0.1 → 0.0	0.1	変化なし	25.5 → 23.0	▲ 2.5	変化なし
プログラム2 生きがいに満ちあふれ命を大切に作る都市	▲ 0.1 → 2.6	2.7	変化なし	28.5 → 28.1	▲ 0.4	変化なし
プログラム3 環境と調和した潤いのある都市	21.9 → 28.7	6.8	上昇	25.6 → 32.0	6.4	上昇
プログラム4 にぎわいと活力に満ちた都市	▲ 21.0 → ▲ 21.3	▲ 0.3	変化なし	▲ 1.5 → ▲ 3.1	▲ 1.6	変化なし
プログラム5 住民自治に根差した都市	7.9 → 8.7	0.8	変化なし	25.0 → 21.6	▲ 3.4	大きな変化なし

2 「重点プログラムの取り組みの方向性別」の状況（プログラム1・2・3）

図表Ⅱ－2 重点プログラム1・2・3の取り組みの方向性の状況（H25-23年度比較）



【現在について】

各プログラムの取り組みの方向性	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらとも いえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
(1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	25年度	540	41.3	28.9	29.8	11.5	5.6	9.5	
	24年度	589	39.9	26.1	34.0	5.9	3.9		
	23年度	597	38.2	25.6	36.2	2.0	—		
(1-2) 人間性豊かな子どもの育成	25年度	489	39.7	30.3	30.1	9.6	9.9	11.5	
	24年度	554	34.5	30.7	34.8	▲ 0.3	1.6		
	23年度	555	31.4	35.3	33.3	▲ 1.9	—		
(2-1) 誰もが活躍できるまちづくり	25年度	607	38.1	29.0	32.9	5.2	7.8	8.6	
	24年度	640	34.7	28.0	37.3	▲ 2.6	0.8		
	23年度	651	35.5	25.7	38.9	▲ 3.4	—		
(2-2) 安全で安心なまちづくり	25年度	703	40.5	25.3	34.1	6.4	3.8	▲ 5.7	
	24年度	728	39.8	22.9	37.2	2.6	▲ 9.5		
	23年度	711	44.8	22.5	32.7	12.1	—		
(3-1) 人と自然が共生するまちづくり	25年度	686	68.5	14.9	16.6	51.9	6.5	3.2	
	24年度	727	66.0	13.3	20.6	45.4	▲ 3.3		
	23年度	716	68.2	12.3	19.5	48.7	—		
(3-2) 地球環境に貢献するまちづくり	25年度	616	50.6	25.0	24.4	26.2	8.1	12.7	
	24年度	650	45.7	26.8	27.6	18.1	4.6		
	23年度	666	43.4	26.7	29.9	13.5	—		

【以前との比較】

各プログラムの取り組みの方向性	調査年度	件数(人)				DI(a)-(b)	前年度比	25-23年度比
			①よくなっている+②どちらかというよくなっている	③変わっていない	④どちらかという悪くなっている+⑤悪くなっている			
(1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	25年度	434	41.0	41.2	17.7	23.3	5.5	9.2
	24年度	497	37.7	42.5	19.9	17.8	3.7	
	23年度	524	37.6	38.9	23.5	14.1	—	
(1-2) 人間性豊かな子どもの育成	25年度	406	39.2	49.3	11.6	27.6	▲ 0.4	6.1
	24年度	444	40.1	47.7	12.1	28.0	6.5	
	23年度	476	35.3	50.8	13.8	21.5	—	
(2-1) 誰もが活躍できるまちづくり	25年度	509	44.4	45.4	10.2	34.2	2.5	5.5
	24年度	529	40.5	50.7	8.8	31.7	3.0	
	23年度	557	39.8	49.0	11.1	28.7	—	
(2-2) 安全で安心なまちづくり	25年度	619	37.6	44.4	17.9	19.7	▲ 0.1	▲ 7.0
	24年度	638	38.0	43.9	18.2	19.8	▲ 6.9	
	23年度	645	41.0	44.7	14.3	26.7	—	
(3-1) 人と自然が共生するまちづくり	25年度	603	46.6	37.3	16.1	30.5	9.2	8.9
	24年度	631	43.3	34.7	22.0	21.3	▲ 0.3	
	23年度	641	44.1	33.4	22.5	21.6	—	
(3-2) 地球環境に貢献するまちづくり	25年度	532	46.6	43.6	9.8	36.8	0.4	0.7
	24年度	553	44.7	47.0	8.3	36.4	0.3	
	23年度	584	46.2	43.7	10.1	36.1	—	

【調査結果のポイント】

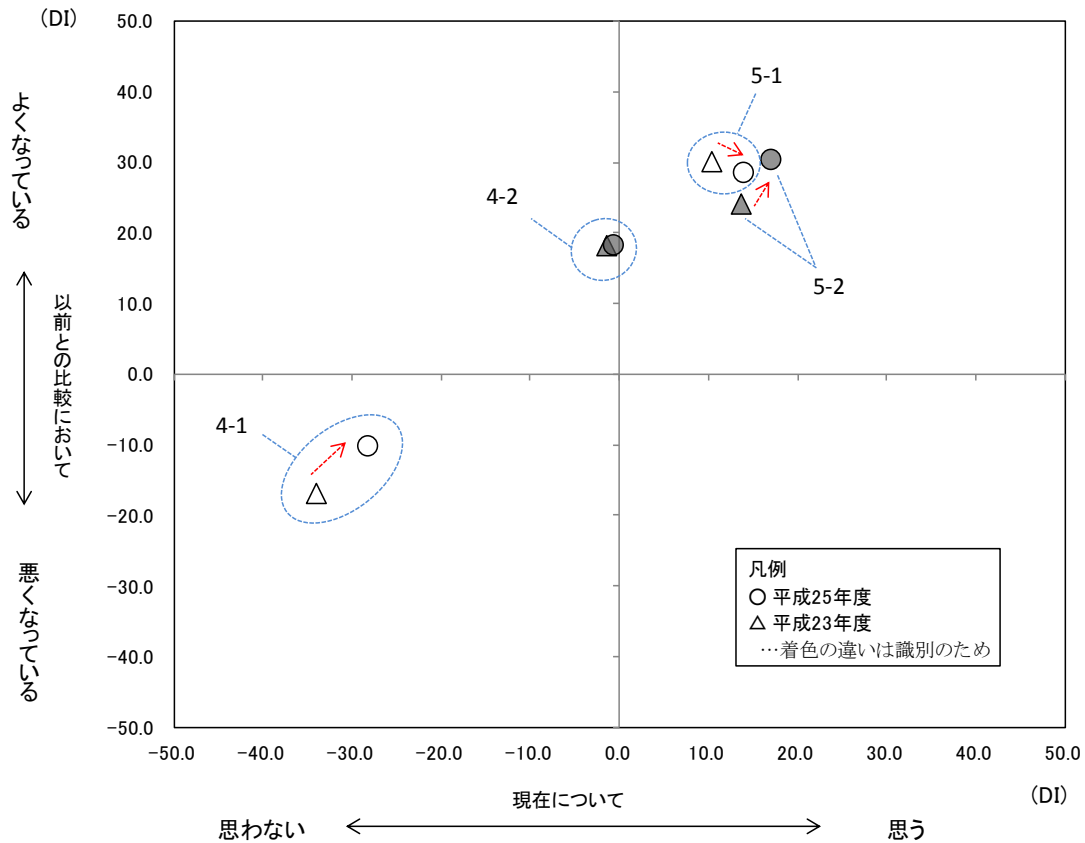
- ・今回調査では、「1－2 人間性豊かな子どもの育成」「2－1 誰もが活躍できるまちづくり」の「現在について」の DI がプラスに転じ、プログラム1～3全ての取り組みの方向性の DI がプラスとなった。
- ・特に「3－1 人と自然が共生するまちづくり」「3－2 地球環境に貢献するまちづくり」は、DI が高く、良好な状況を維持している。
- ・平成 23 年度調査との比較で、最も上昇したのは、「現在について」の 3－2（12.7 ポイント）、次いで 1－2（11.5 ポイント）で、その他の取り組みの方向性でも全体的に上昇がみられる。
- ・唯一、「2－2 安全で安心なまちづくり」は、「現在について」「以前との比較」とともに低下している。

【DI の状況 平成 25 年度－23 年度比較】

各プログラムの取り組みの方向性	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
(1－1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	2.0 → 11.5	9.5	上昇	14.1 → 23.3	9.2	上昇
(1－2) 人間性豊かな子どもの育成	▲ 1.9 → 9.6	11.5	大幅に上昇	21.5 → 27.6	6.1	上昇
(2－1) 誰もが活躍できるまちづくり	▲ 3.4 → 5.2	8.6	上昇	28.7 → 34.2	5.5	上昇
(2－2) 安全で安心なまちづくり	12.1 → 6.4	▲ 5.7	低下	26.7 → 19.7	▲ 7.0	低下
(3－1) 人と自然が共生するまちづくり	48.7 → 51.9	3.2	大きな 変化なし	21.6 → 30.5	8.9	上昇
(3－2) 地球環境に貢献するまちづくり	13.5 → 26.2	12.7	大幅に上昇	36.1 → 36.8	0.7	変化なし

3 「重点プログラムの取り組みの方向性別」の状況（プログラム4・5）

図表Ⅱ－3 重点プログラム4・5の取り組みの方向性の状況（H25-23年度比較）



【現在について】

各プログラムの取り組みの方向性	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらとも いえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	25年度	628	24.4	22.9	52.7	▲ 28.3	4.0	5.8	
	24年度	668	21.2	25.3	53.5	▲ 32.3	1.8		
	23年度	653	20.2	25.6	54.3	▲ 34.1	—		
(4-2) 集客や定住を促す魅力的な都市環境 づくり	25年度	657	37.1	25.0	37.9	▲ 0.8	4.3	0.7	
	24年度	686	33.8	27.3	38.9	▲ 5.1	▲ 3.6		
	23年度	685	37.0	24.5	38.5	▲ 1.5	—		
(5-1) 地域と住民の主体性が発揮される 枠組みづくり	25年度	578	41.9	30.1	28.0	13.9	3.8	3.6	
	24年度	597	39.9	30.3	29.8	10.1	▲ 0.2		
	23年度	599	40.8	28.7	30.5	10.3	—		
(5-2) 地域を支えるコミュニティ機能の 強化	25年度	591	44.0	28.9	27.1	16.9	9.8	3.3	
	24年度	625	39.8	27.5	32.7	7.1	▲ 6.5		
	23年度	630	42.0	29.5	28.4	13.6	—		

【以前との比較】

各プログラムの取り組みの方向性	調査年度	件数(人)				DI (a)-(b)	前年度比	(ポイント)	
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている	③変わっ ていない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている			25-23年度比	
(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	25年度	557	25.9	38.2	35.9	▲ 10.0	2.9	6.8	
	24年度	577	24.8	37.4	37.7	▲ 12.9	3.9		
	23年度	595	22.2	38.8	39.0	▲ 16.8	—		
(4-2) 集客や定住を促す魅力的な都市環境 づくり	25年度	581	38.9	40.6	20.5	18.4	2.5	0.1	
	24年度	598	35.8	44.3	19.9	15.9	▲ 2.4		
	23年度	609	38.0	42.4	19.7	18.3	—		
(5-1) 地域と住民の主体性が発揮される 枠組みづくり	25年度	502	38.0	52.6	9.4	28.6	▲ 0.6	▲ 1.6	
	24年度	514	38.7	51.8	9.5	29.2	▲ 1.0		
	23年度	516	39.1	51.9	8.9	30.2	—		
(5-2) 地域を支えるコミュニティ機能の 強化	25年度	498	41.4	47.8	10.8	30.6	2.1	6.4	
	24年度	532	39.8	48.9	11.3	28.5	4.3		
	23年度	536	36.2	51.9	12.0	24.2	—		

【調査結果のポイント】

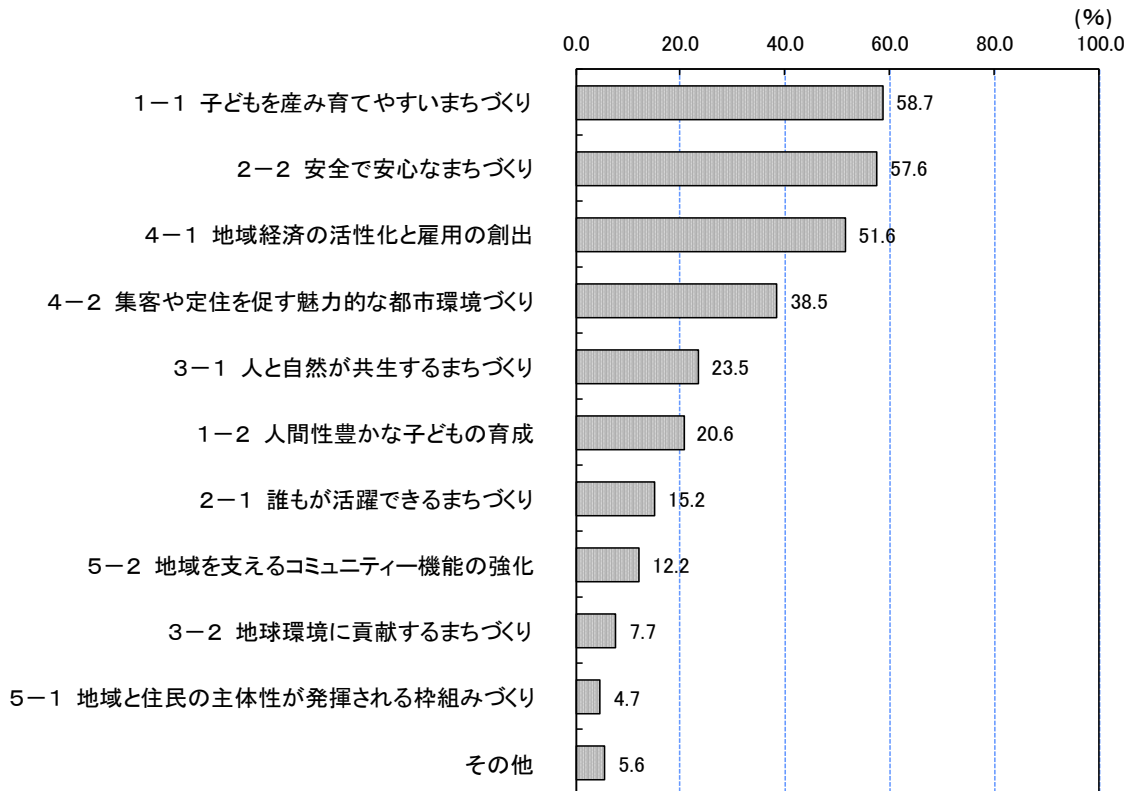
- ・今回調査では、プログラム5の2つの取り組みの方向性は、「現在について」「以前との比較」ともにDIがプラスで、この結果は過年度の調査においても同様である。
- ・プログラム4の取り組みの方向性では、「4－1 地域経済の活性化と雇用の創出」のDIが「現在について」「以前との比較」ともにマイナスが大きく、実感が得られていない状況が続いている。
- ・平成23年度調査との比較では、「以前との比較」の「5－1 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり」以外はプラスとなっているが、4－1については、マイナスの状況の中での上昇であるに留意する必要がある。

【DIの状況 平成25年度－23年度比較】

各プログラムの取り組みの方向性	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
(4－1) 地域経済の活性化と雇用の創出	▲ 34.1 → ▲ 28.3	5.8	上昇	▲ 16.8 → ▲ 10.0	6.8	上昇
(4－2) 集客や定住を促す魅力的な 都市環境づくり	▲ 1.5 → ▲ 0.8	0.7	変化なし	18.3 → 18.4	0.1	変化なし
(5－1) 地域と住民の主体性が発揮される 枠組みづくり	10.3 → 13.9	3.6	大きな 変化なし	30.2 → 28.6	▲ 1.6	変化なし
(5－2) 地域を支えるコミュニティ機能の 強化	13.6 → 16.9	3.3	大きな 変化なし	24.2 → 30.6	6.4	上昇

4 重点プログラム 取り組みの方向性別優先度

図表Ⅱ－４ 重点プログラムの取り組みの方向性別優先度



注) 複数回答3つまで選択／その他には、市への個別具体的な要望等が多く含まれている

図表Ⅱ－５ 重点プログラムの取り組みの方向性別優先度の回答割合 (H25-23 年度比較)

取り組みの方向性	25年度(n=698)		24年度(n=765)		23年度(n=729)		25-24年度比	25-23年度比
	順位	回答割合 (%)	順位	回答割合 (%)	順位	回答割合 (%)		
(1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	1	58.7	2	57.6	1	61.9	1.1	▲ 3.2
(2-2) 安全で安心なまちづくり	2	57.6	1	58.8	2	61.6	▲ 1.2	▲ 4.0
(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	3	51.6	3	49.9	3	49.8	1.7	1.8
(4-2) 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	4	38.5	4	36.2	4	34.7	2.3	3.8
(3-1) 人と自然が共生するまちづくり	5	23.5	5	24.1	5	24.1	▲ 0.6	▲ 0.6
(1-2) 人間性豊かな子どもの育成	6	20.6	6	19.9	6	21.0	0.7	▲ 0.4
(2-1) 誰もが活躍できるまちづくり	7	15.2	7	13.9	8	10.6	1.3	4.6
(5-2) 地域を支えるコミュニティ機能の強化	8	12.2	8	13.5	7	12.6	▲ 1.3	▲ 0.4
(3-2) 地球環境に貢献するまちづくり	9	7.7	9	7.5	9	10.4	0.2	▲ 2.7
(5-1) 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	10	4.7	9	7.5	10	5.8	▲ 2.8	▲ 1.1
その他	—	5.6	—	5.5	—	4.3	0.1	1.3

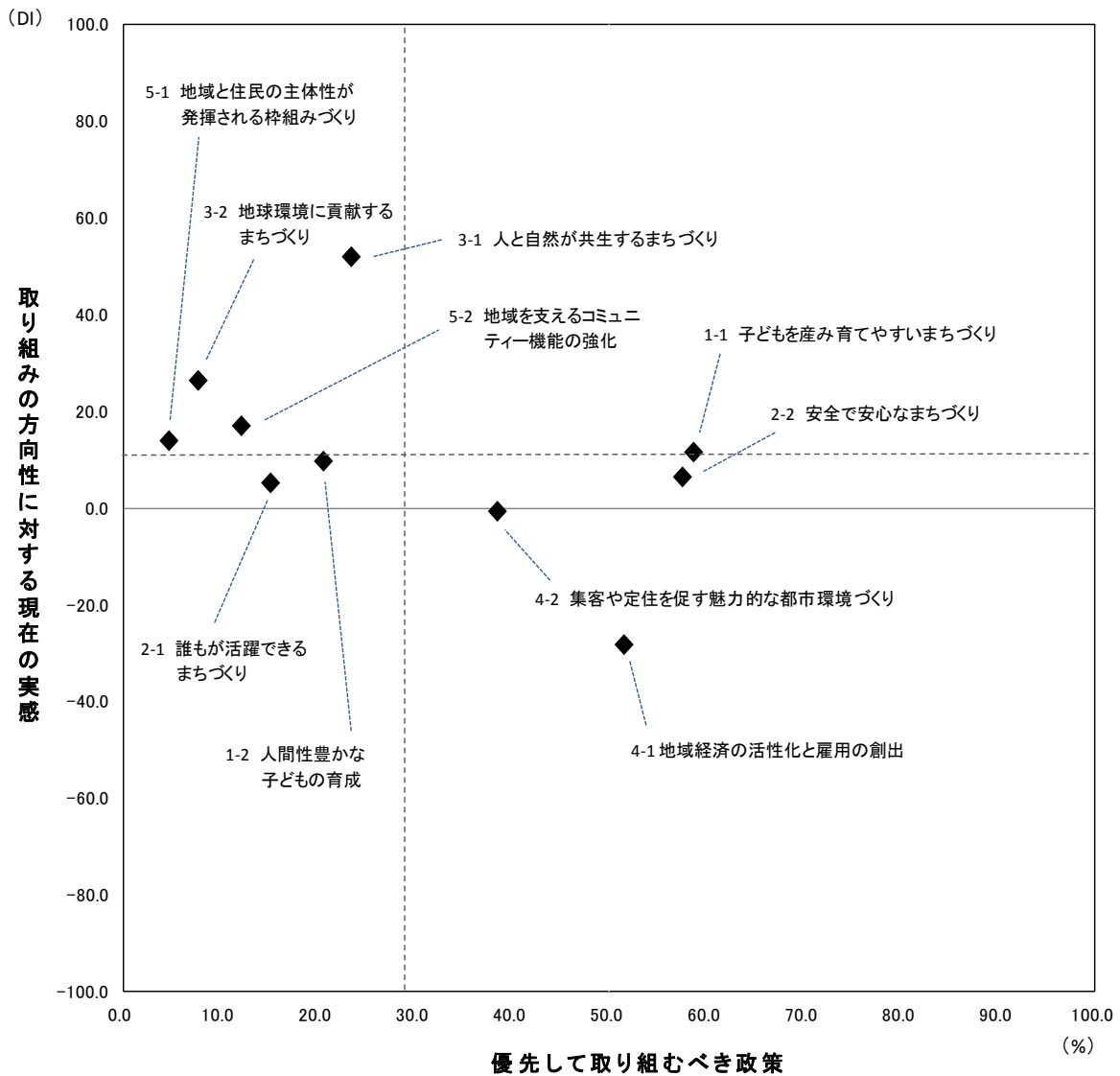
※回答は3つまでの複数選択のため、回答割合の合計は100%にならない

【調査結果のポイント】

- ・各プログラムの取り組みの方向性の優先度について、最も回答割合が高い項目は、「１－１ 子どもを産み育てやすいまちづくり」で、次いで「２－２ 安全で安心なまちづくり」（前回調査１位）となった。
- ・１－１は、重点プログラムの全ての取り組みの方向性のうち、「以前との比較」の DI が平成 23 年度調査との比較で最も上昇している項目である。２－２は、平成 23 年度調査との比較で市民の実感をあまり得られていない項目である。（P8 参照）
- ・これら２項目に続き優先度の高い項目は、過去の調査と同様、プログラム４を構成する「４－１ 地域経済の活性化と雇用の創出」「４－２ 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」となった。
- ・プログラム４は、図表Ⅱ－１（P5参照）で示したとおり、全てのプログラムの中で、唯一、「現在について」「以前との比較」とともに DI がマイナスのプログラムである。特に４－１は、DI に上昇傾向が窺えるものの、依然として厳しい状況にある。（P10 参照）
- ・なお、平成 23 年度調査との比較で回答割合が最も増加した項目は「２－１ 誰もが活躍できるまちづくり」（4.6 ポイント）、最も減少した項目は、上述の「２－２ 安全で安心なまちづくり」（▲4.0 ポイント）であるが、いずれの項目も回答割合の差に大きな変化はみられない。

5 重点プログラム 取り組みの方向性（優先して取り組むべき政策×現在の実感）

図表Ⅱ－6 取り組みの方向性（優先度の回答割合×現在の実感）



※グラフ内の破線は、「優先して取り組むべき政策の回答割合 (%)」と「取り組みの方向性に対する現在の実感 (DI)」それぞれの平均値を示したもの (X=29.0 Y=11.3)

平均値の推移：23年度 (X=29.3 Y=5.9) 24年度 (X=28.9 Y=4.9)

【調査結果のポイント】

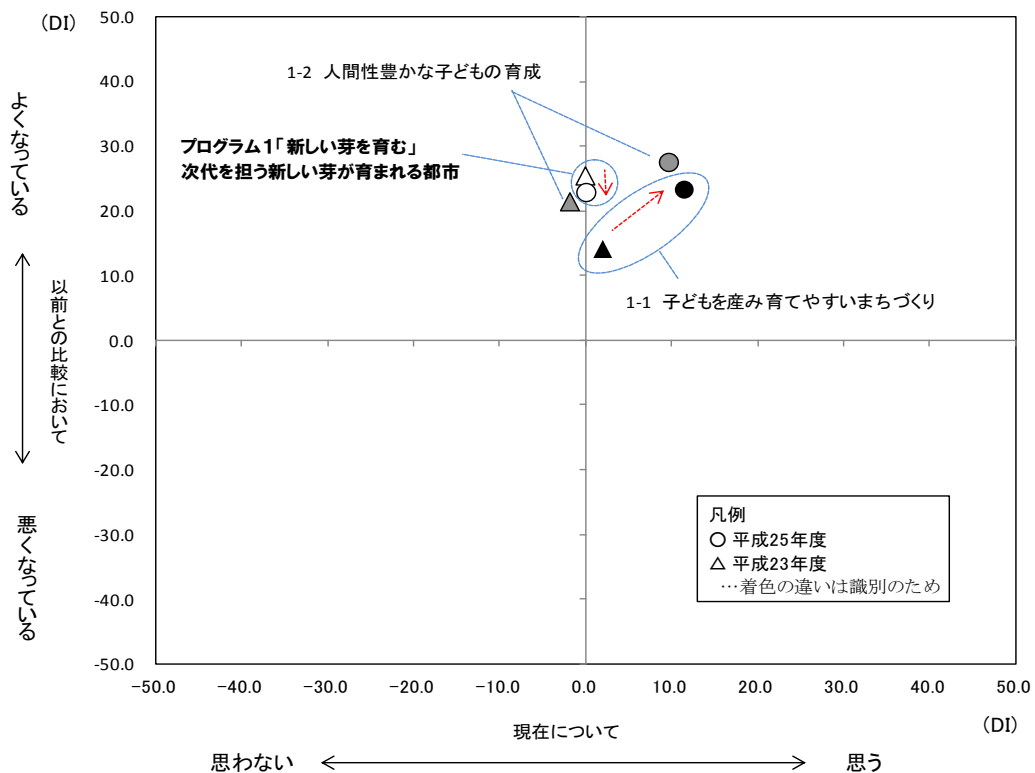
- ・「優先して取り組むべき政策」の回答割合が平均値より高く、「現在の実感」のDIが平均値より低い項目は、「2-2 安全で安心なまちづくり」「4-1 地域経済の活性化と雇用の創出」「4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」の3つとなった。
- ・プログラム1を構成する取り組みの方向性は、いずれも「現在の実感」のDIが平均値に近いが、「優先して取り組むべき政策」の回答割合が大きく異なり、「1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり」は全政策の中で最も優先度が高い。一方、「1-2 人間性豊かな子どもの育成」は平均値を下回っている。
- ・プログラム3、5をそれぞれ構成する取り組みの方向性については、全て「現在の実感」のDIが平均値より高く、「優先して取り組むべき政策」の回答割合が平均値より低くなっている。
- ・これらの結果については、過年度の調査結果でも同様の傾向であるが、全体として「現在の実感」の平均値（Y軸）に上昇がみられる。（H23：5.9 → H25：11.3）

Ⅲ 集計結果 プログラム別

重点プログラム1 『新しい芽を育む』 ～子どもを産み育てやすいまちづくり・人間性豊かな子どもの育成～

1 プログラム1「新しい芽を育む」の傾向

図表Ⅲ－1 重点プログラム1の目的、取り組みの方向性の状況（H25-23年度比較）



【現在について】

取り組みの方向性・ 実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)	(ポイント)					
			①思う+②やや思う (a)	③どちらとも いえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比
(1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	25年度	540	41.3	28.9	29.8	11.5	5.6	9.5
	24年度	589	39.9	26.1	34.0	5.9	3.9	
	23年度	597	38.2	25.6	36.2	2.0	—	
(1-2) 人間性豊かな子どもの育成	25年度	489	39.7	30.3	30.1	9.6	9.9	11.5
	24年度	554	34.5	30.7	34.8	▲ 0.3	1.6	
	23年度	555	31.4	35.3	33.3	▲ 1.9	—	
次代を担う新しい芽が育まれる都市	25年度	531	33.1	33.7	33.1	0.0	6.7	0.1
	24年度	600	31.0	31.3	37.7	▲ 6.7	▲ 6.6	
	23年度	591	34.9	30.1	35.0	▲ 0.1	—	

【以前との比較】

取り組みの方向性・ 実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①よくなっている＋ ②どちらかという＋ よくなっている (a)	③変わって いない	④どちらかという＋ 悪くなっている＋ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)－(b)	前年度比	25－23年度比	
(1－1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	25年度	434	41.0	41.2	17.7	23.3	5.5	9.2	
	24年度	497	37.7	42.5	19.9	17.8	3.7		
	23年度	524	37.6	38.9	23.5	14.1	—		
(1－2) 人間性豊かな子どもの育成	25年度	406	39.2	49.3	11.6	27.6	▲ 0.4	6.1	
	24年度	444	40.1	47.7	12.1	28.0	6.5		
	23年度	476	35.3	50.8	13.8	21.5	—		
次代を担う新しい芽が育まれる都市	25年度	423	36.9	49.2	13.9	23.0	1.9	▲ 2.5	
	24年度	474	35.4	50.2	14.3	21.1	▲ 4.4		
	23年度	491	37.3	50.9	11.8	25.5	—		

○プログラム1が実現を目指す「次代を担う新しい芽が育まれる都市」の状況について、「現在について」のDIは、今回調査が0.0ポイント、平成23年度調査との比較でも変化がなく、実感が上がってきていない状況にある。一方、「以前との比較」のDIは20ポイント以上のプラスで、一応の実感が得られている。

現在について			以前との比較		
DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
▲ 0.1 → 0.0	0.1	変化なし	25.5 → 23.0	▲ 2.5	変化なし

2 取り組みの方向性の傾向（全体）

（1）1－1 子どもを産み育てやすいまちづくり

今回調査のDIは「現在について」「以前との比較」とともにプラスで、平成23年度調査との比較でも各9ポイント強の上昇となり、実感が得られてきているといえる。

現在について			以前との比較		
DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
2.0 → 11.5	9.5	上昇	14.1 → 23.3	9.2	上昇

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

「自然環境の充実」や「子育て支援施策や助成等の充実」などが多く挙げられている。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

「産科、小児科など医療体制が不十分（医師数含む）」が突出して多く、ほかに「医療、出産、保育にかかる費用が高い、助成などの支援が不十分」「保育所（病児保育含む）、学童などの不足」などが多く挙げられている。

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

「保育所・学童・わいわいスクールの充実、待機児童の減少」「産科・小児科などの医療体制や医療費助成等の充実」などが多く挙げられている。

◆以前との比較「④どちらかというよくなっている」「⑤よくなっている」

「産科（医師含む）など医療体制が不十分」「子育て支援施策、助成の充実」などが多く挙げられている。

（２）１－２ 人間性豊かな子どもの育成

今回調査のDIは「現在について」「以前との比較」とともにプラスとなっている。特にマイナスが続いていた「現在について」の値がプラスに転じており、平成23年度調査との比較でも大幅な上昇がみられる。「以前との比較」のDIも上昇しており、実感が得られてきている状況が窺える。

現在について			以前との比較		
DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
▲ 1.9 → 9.6	11.5	大幅に上昇	21.5 → 27.6	6.1	上昇

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

「市の施策の充実、取り組みの成果」が多く挙げられており、中でも具体的に「国際コミュニケーション能力育成」を例示しているものが多い。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

「教育・運動施設、屋内外・自然の中の遊び場や公園が不十分」が多く挙げられているほか、市の施策に対する不足感や、子どもたちの様子を目にして感じられる理由が挙げられている。

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

「教育施策の充実」「学校教育の充実」が多く挙げられ、市の施策のほか、回答の中で授業時間数の増加、学びの連続性といったカリキュラム等の充実が例示されている。

◆以前との比較「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

「学校教育の質の低下、教員が弱い、施策内容に疑問がある」などのほか、横須賀市独自の教育のなさや、事業内容が「人間性を豊かにする教育」と乖離しているという声も挙げられている。

3 取り組みの方向性の傾向（年齢別）

（１）１－１ 子どもを産み育てやすいまちづくり

【調査結果のポイント】

- ・今回調査では、取り組みの主な対象となる「30 歳代」の DI が「現在について」「以前との比較」とともにプラスで、実感が得られてきているといえる。
- ・「30 歳代」を含めた若年層で DI が高い傾向となっているが、その上の「40 歳代」「50 歳代」の実感はやや弱く、特に「現在について」では、「50 歳代」で唯一のマイナスとなっている。
- ・平成 23 年度調査との比較では、「現在について」は 40 歳代以下の各年齢層で大幅な上昇がみられる一方、「以前との比較」では、年齢層によって傾向が異なっている。

図表Ⅲ－２ １－１「子どもを産み育てやすいまちづくり」の状況（年齢別：H25-23 年度比較）

【現在について】

年齢階層	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う＋②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない＋ ⑤思わない (b)	DI (a)－(b)	前年度比	25-23年度比	
29歳以下	25年度	57	49.1	22.8	28.1	21.0	▲ 0.6	18.1	
	24年度	74	48.6	24.3	27.0	21.6	18.7		
	23年度	69	34.8	33.3	31.9	2.9	—		
30歳代	25年度	69	46.4	23.2	30.4	16.0	43.8	12.5	
	24年度	72	26.4	19.4	54.2	▲ 27.8	▲ 31.3		
	23年度	86	39.5	24.4	36.0	3.5	—		
40歳代	25年度	71	38.0	28.2	33.8	4.2	14.0	15.4	
	24年度	92	29.3	31.5	39.1	▲ 9.8	1.4		
	23年度	90	34.4	20.0	45.6	▲ 11.2	—		
50歳代	25年度	97	35.1	28.9	36.1	▲ 1.0	▲ 17.2	0.8	
	24年度	105	45.7	24.8	29.5	16.2	18.0		
	23年度	109	35.8	26.6	37.6	▲ 1.8	—		
60歳代	25年度	131	37.4	33.6	29.0	8.4	▲ 13.3	3.1	
	24年度	115	47.8	26.1	26.1	21.7	16.4		
	23年度	113	42.5	20.4	37.2	5.3	—		
70歳以上	25年度	100	47.0	31.0	22.0	25.0	18.7	15.9	
	24年度	112	39.3	27.7	33.0	6.3	▲ 2.8		
	23年度	120	40.8	27.5	31.7	9.1	—		

【以前との比較】

年齢階層	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①よくなっている＋ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている＋ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)－(b)	前年度比	25-23年度比	
29歳以下	25年度	35	48.6	37.1	14.3	34.3	10.4	▲ 2.7	
	24年度	46	41.3	41.3	17.4	23.9	▲ 13.1		
	23年度	46	50.0	37.0	13.0	37.0	—		
30歳代	25年度	48	41.7	45.8	12.5	29.2	27.3	15.7	
	24年度	53	26.4	49.1	24.5	1.9	▲ 11.6		
	23年度	74	33.8	45.9	20.3	13.5	—		
40歳代	25年度	56	35.7	39.3	25.0	10.7	▲ 7.7	2.2	
	24年度	76	35.5	47.4	17.1	18.4	9.9		
	23年度	82	35.4	37.8	26.9	8.5	—		
50歳代	25年度	82	39.0	46.3	14.6	24.4	10.1	28.4	
	24年度	91	36.3	41.8	22.0	14.3	18.3		
	23年度	100	29.0	38.0	33.0	▲ 4.0	—		
60歳代	25年度	117	39.3	41.0	19.7	19.6	▲ 5.6	7.3	
	24年度	107	41.1	43.0	15.9	25.2	12.9		
	23年度	105	39.0	34.3	26.7	12.3	—		
70歳以上	25年度	85	47.1	36.5	16.5	30.6	9.1	4.0	
	24年度	107	41.1	39.3	19.6	21.5	▲ 5.1		
	23年度	109	43.1	40.4	16.5	26.6	—		

年齢階層	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
29歳以下	2.9 → 21.0	18.1	大幅に上昇	37.0 → 34.3	▲ 2.7	変化なし
30歳代	3.5 → 16.0	12.5	大幅に上昇	13.5 → 29.2	15.7	大幅に上昇
40歳代	▲ 11.2 → 4.2	15.4	大幅に上昇	8.5 → 10.7	2.2	変化なし
50歳代	▲ 1.8 → ▲ 1.0	0.8	変化なし	▲ 4.0 → 24.4	28.4	大幅に上昇
60歳代	5.3 → 8.4	3.1	大きな 変化なし	12.3 → 19.6	7.4	上昇
70歳以上	9.1 → 25.0	15.9	大幅に上昇	26.6 → 30.6	4.0	大きな 変化なし

(2) 1-2 人間性豊かな子どもの育成

【調査結果のポイント】

- ・今回調査では、「30 歳代」「40 歳代」の DI がプラスに転じ、「現在について」「以前との比較」とともに、全ての年齢層で DI がプラスとなった。
- ・しかし、「現在について」の DI は「30 歳代」「40 歳代」「60 歳代」で高いとはいえず、特に「30 歳代」「40 歳代」の保護者層の実感に弱い傾向がみられる。
- ・平成 23 年度調査との比較では、「現在について」の「30 歳代」で大幅な低下となっており、依然として実感が得られていない状況といえる。
- ・他方、「29 歳以下」では、「現在について」「以前との比較」の傾向が、逆の動きとなっている。

図表Ⅲ-3 1-2 「人間性豊かな子どもの育成」の状況（年齢別：H25-23 年度比較）

【現在について】

年齢階層	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
29歳以下	25年度	57	43.9	22.8	33.3	10.6	7.6	22.0	
	24年度	67	37.3	28.4	34.3	3.0	14.4		
	23年度	61	27.9	32.8	39.3	▲ 11.4	—		
30歳代	25年度	65	35.4	30.8	33.8	1.6	32.2	▲ 11.1	
	24年度	62	24.2	21.0	54.8	▲ 30.6	▲ 43.3		
	23年度	78	38.4	35.9	25.7	12.7	—		
40歳代	25年度	68	35.3	30.9	33.8	1.5	11.4	18.4	
	24年度	91	30.8	28.6	40.7	▲ 9.9	7.0		
	23年度	89	27.0	29.2	43.9	▲ 16.9	—		
50歳代	25年度	82	41.5	29.3	29.3	12.2	12.2	30.6	
	24年度	98	30.6	38.8	30.6	0.0	18.4		
	23年度	98	23.5	34.7	41.9	▲ 18.4	—		
60歳代	25年度	111	32.4	36.0	31.5	0.9	▲ 3.6	▲ 6.5	
	24年度	111	35.1	34.2	30.6	4.5	▲ 2.9		
	23年度	109	35.8	35.8	28.4	7.4	—		
70歳以上	25年度	94	48.9	28.7	22.3	26.6	11.0	15.7	
	24年度	109	43.1	29.4	27.5	15.6	4.7		
	23年度	110	35.4	40.0	24.5	10.9	—		

【以前との比較】

年齢階層	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①よくなっている+ ②どちらかというと よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかというと 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
29歳以下	25年度	37	37.8	43.2	18.9	18.9	▲ 6.6	▲ 20.3	
	24年度	43	39.5	46.5	14.0	25.5	▲ 13.7		
	23年度	46	43.5	52.2	4.3	39.2	—		
30歳代	25年度	46	30.4	58.7	10.9	19.5	22.3	▲ 4.2	
	24年度	36	19.4	58.3	22.2	▲ 2.8	▲ 26.5		
	23年度	59	32.2	59.3	8.5	23.7	—		
40歳代	25年度	50	36.0	50.0	14.0	22.0	▲ 0.5	11.3	
	24年度	71	33.8	54.9	11.3	22.5	11.8		
	23年度	75	29.4	52.0	18.7	10.7	—		
50歳代	25年度	71	29.6	59.2	11.3	18.3	▲ 6.0	16.0	
	24年度	78	37.2	50.0	12.8	24.4	22.1		
	23年度	88	25.0	52.3	22.7	2.3	—		
60歳代	25年度	105	36.2	52.4	11.4	24.8	▲ 9.6	▲ 3.2	
	24年度	102	41.2	52.0	6.9	34.3	6.3		
	23年度	100	41.0	46.0	13.0	28.0	—		
70歳以上	25年度	86	58.1	33.7	8.1	50.0	9.1	19.4	
	24年度	98	53.1	34.7	12.2	40.9	10.3		
	23年度	101	42.5	45.5	11.9	30.6	—		

年齢階層	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
29歳以下	▲ 11.4 → 10.6	22.0	大幅に上昇	39.2 → 18.9	▲ 20.3	大幅に低下
30歳代	12.7 → 1.6	▲ 11.1	大幅に低下	23.7 → 19.5	▲ 4.2	大きな 変化なし
40歳代	▲ 16.9 → 1.5	18.4	大幅に上昇	10.7 → 22.0	11.3	大幅に上昇
50歳代	▲ 18.4 → 12.2	30.6	大幅に上昇	2.3 → 18.3	16.0	大幅に上昇
60歳代	7.4 → 0.9	▲ 6.5	低下	28.0 → 24.8	▲ 3.2	大きな 変化なし
70歳以上	10.9 → 26.6	15.7	大幅に上昇	30.6 → 50.0	19.4	大幅に上昇

4 回答理由分類

1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

※（ ）は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
自然が多い、海に近い、気候が温暖など自然環境の充実	24	18.9
子育て支援施策や助成等の充実、事業内容を見て	16	12.6
こんにちは赤ちゃん	(3)	
医療費・出産費助成、児童手当	(2)	
公園・支援センターなど子育て関係施設や遊び場の充実	13	10.2
幼稚園・保育園・学童等の充実、待機児童の減少	10	7.9
環境がよい（環境の具体的な記載なし）、よいと思う、困らない	6	4.7
交通利便性が高い	4	3.1
教育・文化環境の充実	4	3.1
他都市と比較して	4	3.1
喧騒がなく静かな環境、治安がよい	3	2.4
地域の人間関係、横須賀の地域性	2	1.6
その他、意見等	23	18.1
産科・小児科の減少、保育所が不十分、少子化	7	5.5
施策、行政が中途半端、不十分	5	3.9
道路・施設駐車場の不備、不便さ、ほか	6	4.7
	127	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
産科、小児科など医療体制が不十分（医師数含む）	40	26.3
医療、出産、保育にかかる費用が高い、助成などの支援が不十分	23	15.1
保育所（病児保育含む）、学童などの不足	21	13.8
公園など子育て施設や遊び場の不足（衛生面の不安を含む）	11	7.2
子どもが少ない、見かけない	6	3.9
市の取り組みが遅い・不十分、情報発信が少ない、不親切	6	3.9
実感として思わない、わからない	5	3.3
企業減少、雇用減少、結婚できる所得が得られない	5	3.3
教育環境が不十分、学校が遠い、大学が少ない	4	2.6
出産できる労働環境ではない、仕事と育児の両立が困難、女性の職域が少ない	3	2.0
道が狭い、段差がある、坂が多い	3	2.0
治安が悪い、犯罪が多い	2	1.3
他都市との比較によるサービスの不足	2	1.3
親が悪い、子どもが乱れている	2	1.3
高熱水費・生活費が高い、税金が高い	2	1.3
その他、意見等	17	11.2
	152	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
保育所・学童・わいわいスクールの充実、待機児童の減少	13	16.0
産科・小児科などの医療体制や医療費助成等の充実	13	16.0
子育て支援施策、助成の充実	12	14.8
子育て環境がよくなっている、実感としてそう思う	7	8.6
知人から聞いて、事業内容を見て	6	7.4
公園・支援センターなど子育て施設や遊び場の充実	4	4.9
サークルの増加、地域ぐるみでの支援体制	3	3.7
市民や行政の意識向上	3	3.7
広報、情報発信の向上	2	2.5
子連れの親や子どもを見かける、若い世帯の増加	2	2.5
その他、意見等	8	9.9
医療費等の助成や保育所が不十分、保育料が高い、子どもを見かけないなど	8	9.9
	81	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
産科（医師含む）など医療体制が不十分	30	52.6
人口減少、少子高齢化	3	5.3
雇用減少、所得の低下	2	3.5
出産後の復職事情	2	3.5
まちの活気がない、寂れている	2	3.5
自然破壊、自然の減少	2	3.5
その他	16	28.1
	57	100.0

1-2 人間性豊かな子どもの育成

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

※（ ）は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
市の施策の充実、取り組みの成果を見て	33	35.9
国際コミュニケーション能力育成、ALTの授業	(8)	
支援教育	(3)	
学力向上	(3)	
校庭芝生化	(3)	
諏訪小学校建替	(2)	
小中一貫教育	(2)	
学校教育、学校施設設備の充実	9	9.8
自然環境がよい、自然の利活用ができています	6	6.5
子供見守り隊、サークル、子ども会など地域活動の充実	6	6.5
外国人との交流ができる、国際的である	4	4.3
保育所、学童の充実	3	3.3
学校と地域の連携	3	3.3
行政が熱心、努力している	3	3.3
人間性豊かな子ども育成が進められていると思う	3	3.3
子どもたちの様子を見て	2	2.2
その他、意見等	18	19.6
それほど進められていない、学童が少ない	2	2.2
	92	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
教育・運動施設、屋内外・自然の中の遊び場や公園が不十分	8	9.3
進められている実感がない、変化がない、人間性豊かではない	7	8.1
子どもたちの資質や様子（喫煙など）を見て	6	7.0
施策の具体的な内容が見えない、他市と変わらない、特色がない	6	7.0
教員の資質がよくない、指導力不足、相談等への不適切対応	4	4.7
行政の努力・取り組み・姿勢が不十分	4	4.7
いじめがある、またそれへの不適切対応	4	4.7
知らない、わからない、身近ではない	4	4.7
講座、行事、育成や学びの場が少ない	4	4.7
学校教育が充実していない、質の低下、教員不足	3	3.5
学力が低い	3	3.5
行政が子どもの変化に追いつかない、個々への対応が不十分	3	3.5
文化・芸術への関心が希薄、費用がかかる	3	3.5
大人がよくない、子どもに注意をしない	2	2.3
地域関係が希薄、地域が子どもの育成に関心がない	2	2.3
ゴミが落ちている	2	2.3
その他、意見等	21	24.4
	86	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

※（ ）は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
教育施策の充実	18	28.6
国際コミュニケーション能力育成（A L T）	(4)	
不登校対策	(3)	
キャリア教育	(2)	
武道場建設	(2)	
学校教育の充実	8	12.7
子どもたちの様子を見て	6	9.5
よくなっていると思う	3	4.8
地域における子どもたちのサポート体制の充実	3	4.8
行政が熱心、努力している、教員が頑張っている	3	4.8
大人や社会全体の意識向上	2	3.2
その他、意見等	19	30.2
変わらない	1	1.6
	63	100.0

「④どちらかというと悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
学校教育の質の低下、教員が弱い、施策内容に疑問がある	4	18.2
子どもたちの様子を見て	2	9.1
よくなっていない、以前の方がよかった	2	9.1
屋外で遊べる施設の整備や行事の企画がなされていない	2	9.1
子どもが外で遊んでいる姿を見ない	2	9.1
その他、意見等	10	45.5
	22	100.0

次代を担う新しい芽が育まれる都市

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

※（ ）は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
施策の充実、学校教育の充実	11	17.5
国際コミュニケーション能力育成（ALT）	(4)	
海、山、公園など自然環境に恵まれている	6	9.5
希望、期待、可能性がある	4	6.3
学校・地域の交流がある、地域が熱心である	4	6.3
歴史、基地、外国人との交流など他にはない環境がある	4	6.3
大学、工科大学等など専門的な学校がある	3	4.8
次代を担う新しい芽が育まれるまちだと思う、他市と比較してよい	2	3.2
子育て施設、環境の充実	2	3.2
教育機関、環境の充実	2	3.2
その他、意見等	24	38.1
夢を抱かせるような場が少ない	1	1.6
	63	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

※（ ）は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
施策が不十分、注力しているように見えない	17	17.3
情報発信不足で伝わってこない	(4)	
施策内容が疑問	(3)	
具体性がない	(3)	
人口減少、人口流出、少子高齢化、子どもが少ない	13	13.3
雇用の減少、企業の減少、産業の衰退（目指す対象を含む）	6	6.1
学校教育の水準が低い、教材が多い	5	5.1
教育制度、体制、環境等が整っていない、教員数が少ない	5	5.1
子どもたちの様子を見て	4	4.1
公園、遊び場が少ない、規制が多い	4	4.1
教育機関など施設が少ない	4	4.1
他市と比較して劣る・変わらない、横須賀で子育てしたいと思える魅力がない	4	4.1
産科の減少、医療費助成が不十分	3	3.1
次代を担う新しい芽が育まれるまちだと思わない、わからない	3	3.1
学童、保育所などの子育て施策、サービスが不十分	2	2.0
地域交流の減少、若年層の地域活動等への参加が少ない	2	2.0
文化に乏しい、意識が低い	2	2.0
子どもの育て方の変化、親（若年）の変化	2	2.0
その他、意見等	22	22.4
	98	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
施策の充実、行政の意識や姿勢の向上	13	27.7
よくなっていると思う	4	8.5
子育て環境、支援体制の充実、待機児童の減少	4	8.5
子どもの様子を見て	3	6.4
地域の協力がある	2	4.3
公園、遊び場の充実	2	4.3
スポーツ振興	2	4.3
子どもが増えている	2	4.3
経済環境の向上	2	4.3
大学がある、教育環境の充実	2	4.3
その他、意見等	7	14.9
親の子どもと接する時間等の減少、施策が小規模で持続しないなど	4	8.5
	47	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

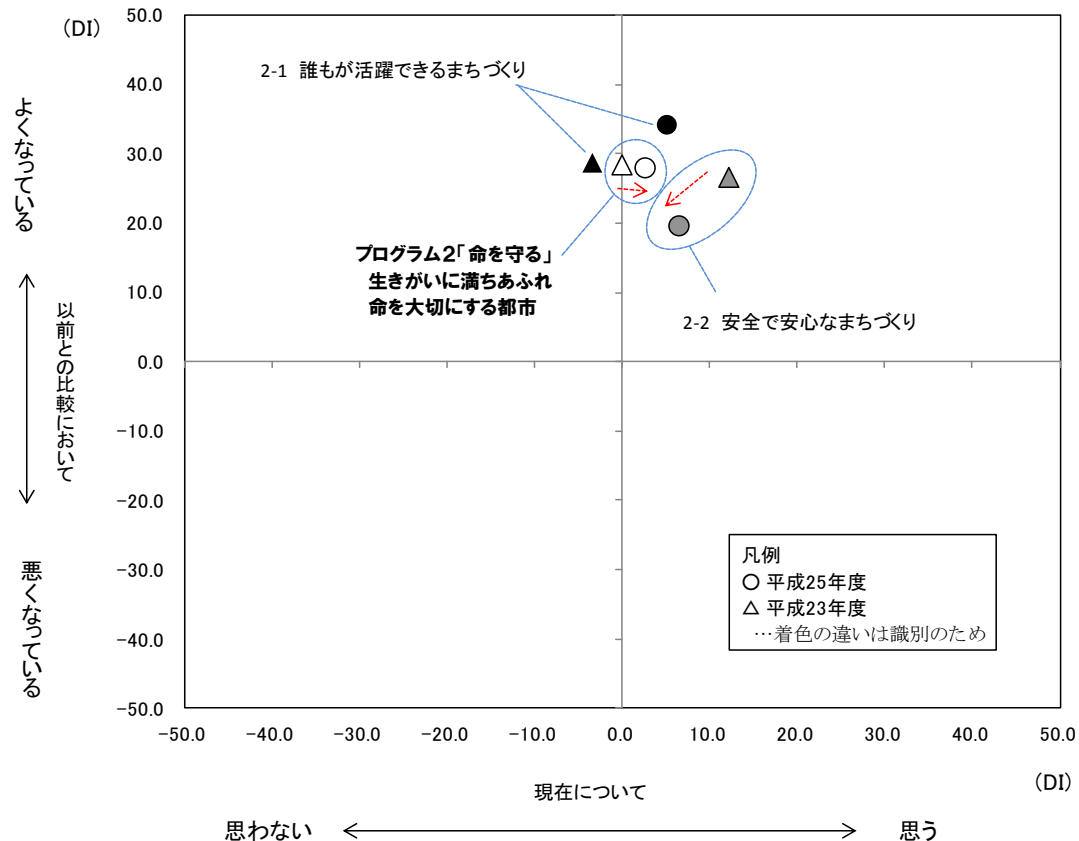
回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
雇用の減少、企業の減少	4	12.5
注力しているように見えない、追い付いていない、進歩がない	3	9.4
子どもたちの様子を見て	3	9.4
遊び場が少ない、保育所、医療費助成などの子育て施策が不十分	3	9.4
子どもを取り巻く環境の悪化、新しい芽が育っていない	3	9.4
特色ある学校、大学が少なく市外へ流出	2	6.3
教育環境が整っていない、学校教育の質の低下	2	6.3
ひとり親家庭の増加、虐待の増加など家庭環境の悪化	2	6.3
その他	10	31.3
	32	100.0

重点プログラム2 『命を守る』

～誰もが活躍できるまちづくり・安全で安心なまちづくり～

1 プログラム2「命を守る」の傾向

図表Ⅲ－4 重点プログラム2の目的、取り組みの方向性の状況（H25-23年度比較）



【現在について】

取り組みの方向性・ 実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらとも いえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
(2-1) 誰もが活躍できるまちづくり	25年度	607	38.1	29.0	32.9	5.2	7.8	8.6	
	24年度	640	34.7	28.0	37.3	▲ 2.6	0.8		
	23年度	651	35.5	25.7	38.9	▲ 3.4	—		
(2-2) 安全で安心なまちづくり	25年度	703	40.5	25.3	34.1	6.4	3.8	▲ 5.7	
	24年度	728	39.8	22.9	37.2	2.6	▲ 9.5		
	23年度	711	44.8	22.5	32.7	12.1	—		
生きがいに満ちあふれ命を大切にする 都市	25年度	591	32.7	37.2	30.1	2.6	4.7	2.7	
	24年度	640	31.0	35.9	33.1	▲ 2.1	▲ 2.0		
	23年度	631	33.0	33.9	33.1	▲ 0.1	—		

【以前との比較】

取り組みの方向性・ 実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)				DI (a)-(b)	前年度比	(ポイント)	
			①よくなっている+ ②どちらかというと よくなっている (a)	③変わって いない	④どちらかというと 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)			25-23年度比	
(2-1) 誰もが活躍できるまちづくり	25年度	509	44.4	45.4	10.2	34.2	2.5	5.5	
	24年度	529	40.5	50.7	8.8	31.7	3.0		
	23年度	557	39.8	49.0	11.1	28.7	—		
(2-2) 安全で安心なまちづくり	25年度	619	37.6	44.4	17.9	19.7	▲ 0.1	▲ 7.0	
	24年度	638	38.0	43.9	18.2	19.8	▲ 6.9		
	23年度	645	41.0	44.7	14.3	26.7	—		
生きがいに満ちあふれ命を大切にする 都市	25年度	495	38.4	51.3	10.3	28.1	▲ 0.5	▲ 0.4	
	24年度	524	38.3	51.9	9.7	28.6	0.1		
	23年度	543	39.2	50.1	10.7	28.5	—		

○プログラム2が実現を目指す「生きがいに満ちあふれ命を大切にする都市」の状況について、「現在について」のDIは今回調査でマイナスからプラスに転じたが、平成23年度調査との比較では変化がみられない。「以前との比較」のDIはプラスで値も高く、一応の実感が得られているとみることができる。

現在について			以前との比較		
DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
▲ 0.1 → 2.6	2.7	変化なし	28.5 → 28.1	▲ 0.4	変化なし

2 取り組みの方向性の傾向（全体）

（1）2－1 誰もが活躍できるまちづくり

今回調査のDIは、「現在について」「以前との比較」とともにプラスとなっている。特にマイナスが続いていた「現在について」の値がプラスに転じた。また、平成23年度調査との比較でも「現在について」「以前との比較」とともに上昇しており、実感が得られてきているといえる。

現在について			以前との比較		
DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
▲ 3.4 → 5.2	8.6	上昇	28.7 → 34.2	5.5	上昇

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

「障害者の就労場所、就労者の増加」「介護老人福祉施設、障害者支援施設の充実」や市の施策の充実、支援体制の整備など、障害者・高齢者福祉に対する充実感や活躍する人の増加が多く挙げられている。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

『誰もが』ではない、差別や偏見がある、制限がある」「中高齢者、障害者の雇用は少ない、不平等」など、日常生活や享受できるサービス等における健常者との違いや、求人数（場）の少なさ・再雇用の難しさが多く挙げられている。

（以前との比較の回答理由については次頁）

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

「ノンステップバスの普及やバリアフリー対策の充実」や市の施策の充実が多く挙げられているほか、各種講座や行事等の増加、参加しやすい環境が整えられているなど、活躍する「場」の増加に対するものも多く挙げられている。

◆以前との比較「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

最も多く挙げられたのが「経済低迷、雇用の減少、活気がない」で、「誰もが活躍できる」という言葉から想起される状況として「経済、雇用の安定」が大きな要素としてあり、回答に影響しているものと考えられる。

(2) 2-2 安全で安心なまちづくり

今回調査のDIは、「現在について」「以前との比較」のいずれもプラスで、一応の実感では得られているが、平成23年度調査との比較ではいずれも低下している。この取り組みの方向性は、政策の優先度が高い項目である。(P11、13 参照)

現在について			以前との比較		
DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
12.1 → 6.4	▲ 5.7	低下	26.7 → 19.7	▲ 7.0	低下

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

「事件や犯罪の減少、治安の良さ、防犯設備・体制の充実」「防災、耐震、災害対策の充実」のほか、住環境のよさや日常生活における安心感が多く挙げられている。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

「基地、原子力関連施設、弾薬庫がある、外国からの攻撃の恐れ」が最も多く、基地等の施設や放射能に関するもののほか、アンケート実施直前になされた外国におけるミサイル発射にかかる報道等の影響も推察される。次いで「身近な犯罪が多い、浮浪者、不審者、暴力団、客引きの放置、治安が悪い」が多く挙げられている。

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

市の事業の推進や災害・防犯対策等の充実のほか、「犯罪の減少、治安がよくなっている、防犯対策の充実」「自治会、地域、ボランティアによる安全対策の充実」など多く挙げられている。

◆以前との比較「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

「身近な犯罪の増加、浮浪者、暴力団などの放置、治安の悪化」など、体感治安がよくないことが多く挙げられている。

3 取り組みの方向性の傾向（2-1年齢別／2-2地域別）

（1）2-1 誰もが活躍できるまちづくり

【調査結果のポイント】

- ・今回調査で、「現在について」のDIは「40歳代」「50歳代」でマイナスとなった。一方、「以前との比較」のDIは、全ての年齢層が全年度プラスで、一応の実感が得られているとみることができる。
- ・平成23年度調査との比較では、40歳代以下の「現在について」で大幅な上昇がみられる。
- ・また、「現在について」の40歳代以下と50歳代以上の間で実感に大きな差がみられる。

図表Ⅲ-5 2-1「誰もが活躍できるまちづくり」の状況（年齢別：H25-23年度比較）

【現在について】

年齢階層	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
29歳以下	25年度	66	47.0	24.2	28.8	18.2	30.3	20.7	
	24年度	74	36.5	14.9	48.6	▲ 12.1	▲ 9.6		
	23年度	78	38.5	20.5	41.0	▲ 2.5	—		
30歳代	25年度	69	40.6	36.2	23.2	17.4	37.4	14.1	
	24年度	70	24.3	31.4	44.3	▲ 20.0	▲ 23.3		
	23年度	90	40.0	23.3	36.7	3.3	—		
40歳代	25年度	83	32.5	33.7	33.7	▲ 1.2	13.7	18.8	
	24年度	107	29.0	27.1	43.9	▲ 14.9	5.1		
	23年度	105	25.7	28.6	45.7	▲ 20.0	—		
50歳代	25年度	108	28.7	30.6	40.7	▲ 12.0	▲ 7.6	▲ 2.6	
	24年度	114	30.7	34.2	35.1	▲ 4.4	5.0		
	23年度	116	32.8	25.0	42.2	▲ 9.4	—		
60歳代	25年度	147	36.1	28.6	35.4	0.7	▲ 5.6	0.8	
	24年度	127	39.4	27.6	33.1	6.3	6.4		
	23年度	127	35.4	29.1	35.5	▲ 0.1	—		
70歳以上	25年度	119	47.1	25.2	27.7	19.4	5.1	9.2	
	24年度	126	42.9	28.6	28.6	14.3	4.1		
	23年度	126	42.8	24.6	32.6	10.2	—		

【以前との比較】

年齢階層	調査年度	件数(人)				DI (a)-(b)	前年度比	(ポイント)	
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)			25-23年度比	
29歳以下	25年度	43	39.5	46.5	14.0	25.5	▲ 2.5	▲ 3.6	
	24年度	50	40.0	48.0	12.0	28.0	▲ 1.1		
	23年度	48	45.8	37.5	16.7	29.1	—		
30歳代	25年度	49	40.8	51.0	8.2	32.6	20.7	▲ 6.9	
	24年度	42	26.2	59.5	14.3	11.9	▲ 27.6		
	23年度	71	46.5	46.5	7.0	39.5	—		
40歳代	25年度	66	39.4	50.0	10.6	28.8	▲ 1.2	0.2	
	24年度	90	38.9	52.2	8.9	30.0	1.4		
	23年度	91	36.3	56.0	7.7	28.6	—		
50歳代	25年度	97	37.1	49.5	13.4	23.7	▲ 9.0	5.6	
	24年度	101	40.6	51.5	7.9	32.7	14.6		
	23年度	105	34.3	49.5	16.2	18.1	—		
60歳代	25年度	133	44.4	45.9	9.8	34.6	▲ 3.8	1.8	
	24年度	112	43.8	50.9	5.4	38.4	5.6		
	23年度	119	41.2	50.4	8.4	32.8	—		
70歳以上	25年度	108	58.3	34.3	7.4	50.9	17.3	21.3	
	24年度	116	43.1	47.4	9.5	33.6	4.0		
	23年度	115	41.7	46.1	12.1	29.6	—		

年齢階層	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
29歳以下	▲ 2.5 → 18.2	20.7	大幅に上昇	29.1 → 25.5	▲ 3.6	大きな 変化なし
30歳代	3.3 → 17.4	14.1	大幅に上昇	39.5 → 32.6	▲ 6.9	低下
40歳代	▲ 20.0 → ▲ 1.2	18.8	大幅に上昇	28.6 → 28.8	0.2	変化なし
50歳代	▲ 9.4 → ▲ 12.0	▲ 2.6	変化なし	18.1 → 23.7	5.6	上昇
60歳代	▲ 0.1 → 0.7	0.8	変化なし	32.8 → 34.6	1.8	変化なし
70歳以上	10.2 → 19.4	9.2	上昇	29.6 → 50.9	21.3	大幅に上昇

(2) 2-2 安全で安心なまちづくり

【調査結果のポイント】

- ・今回調査で、「現在について」の DI がマイナスとなったのは、「追浜・田浦」「西」の2地域であった。
- ・「以前との比較」では全地域でプラスとなったものの、「追浜・田浦」「西」地域はほかの地域と比較して値が小さく、実感が弱いといえる。
- ・平成 23 年度調査との比較では、全体的に低下している中、唯一、「久里浜・北下浦」地域で、「現在について」「以前との比較」ともに差がプラスであった。

図表Ⅲ－6 2-2「安全で安心なまちづくり」の状況（地域別：H25-23 年度比較）

【現在について】

居住地域	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
追浜・田浦	25年度	80	31.3	25.0	43.8	▲ 12.5	▲ 3.1	▲ 15.0	
	24年度	75	33.3	24.0	42.7	▲ 9.4	▲ 11.9		
	23年度	78	41.0	20.5	38.5	2.5	—		
本庁・逸見	25年度	105	40.0	25.7	34.3	5.7	▲ 10.5	▲ 20.7	
	24年度	136	45.6	25.0	29.4	16.2	▲ 10.2		
	23年度	129	53.5	19.4	27.1	26.4	—		
衣笠	25年度	98	43.9	20.4	35.7	8.2	21.7	2.9	
	24年度	111	30.6	25.2	44.1	▲ 13.5	▲ 18.8		
	23年度	115	41.8	21.7	36.5	5.3	—		
大津・浦賀	25年度	164	40.2	26.2	33.5	6.7	▲ 12.0	▲ 7.7	
	24年度	161	49.1	20.5	30.4	18.7	4.3		
	23年度	160	44.4	25.6	30.0	14.4	—		
久里浜・北下浦	25年度	159	43.4	28.9	27.7	15.7	18.2	4.2	
	24年度	163	38.0	21.5	40.5	▲ 2.5	▲ 14.0		
	23年度	139	45.3	20.9	33.8	11.5	—		
西	25年度	79	38.0	21.5	40.5	▲ 2.5	6.1	▲ 7.7	
	24年度	58	34.5	22.4	43.1	▲ 8.6	▲ 13.8		
	23年度	77	40.3	24.7	35.1	5.2	—		

【以前との比較】

居住地域	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
追浜・田浦	25年度	71	29.6	49.3	21.1	8.5	▲ 9.4	▲ 6.6	
	24年度	67	34.3	49.3	16.4	17.9	2.8		
	23年度	73	38.4	38.4	23.3	15.1	—		
本庁・逸見	25年度	86	34.9	44.2	20.9	14.0	▲ 14.2	▲ 15.5	
	24年度	124	40.3	47.6	12.1	28.2	▲ 1.3		
	23年度	119	42.9	43.7	13.4	29.5	—		
衣笠	25年度	91	36.3	51.6	12.1	24.2	3.2	▲ 0.4	
	24年度	95	36.8	47.4	15.8	21.0	▲ 3.6		
	23年度	106	40.6	43.4	16.0	24.6	—		
大津・浦賀	25年度	148	42.6	41.2	16.2	26.4	▲ 1.2	▲ 11.9	
	24年度	138	45.7	36.2	18.1	27.6	▲ 10.7		
	23年度	146	47.9	42.5	9.6	38.3	—		
久里浜・北下浦	25年度	139	40.3	45.3	14.4	25.9	13.2	1.1	
	24年度	141	34.0	44.7	21.3	12.7	▲ 12.1		
	23年度	125	39.2	46.4	14.4	24.8	—		
西	25年度	67	31.3	38.8	29.9	1.4	3.5	▲ 13.7	
	24年度	48	27.1	43.8	29.2	▲ 2.1	▲ 17.2		
	23年度	66	30.3	54.5	15.2	15.1	—		

居住地域	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
追浜・田浦	2.5 → ▲ 12.5	▲ 15.0	大幅に低下	15.1 → 8.5	▲ 6.6	低下
本庁・逸見	26.4 → 5.7	▲ 20.7	大幅に低下	29.5 → 14.0	▲ 15.5	大幅に低下
衣笠	5.3 → 8.2	2.9	変化なし	24.6 → 24.2	▲ 0.4	変化なし
大津・浦賀	14.4 → 6.7	▲ 7.7	低下	38.3 → 26.4	▲ 11.9	大幅に低下
久里浜・北下浦	11.5 → 15.7	4.2	大きな 変化なし	24.8 → 25.9	1.1	変化なし
西	5.2 → ▲ 2.5	▲ 7.7	低下	15.1 → 1.4	▲ 13.7	大幅に低下

4 回答理由分類

2-1 誰もが活躍できるまちづくり

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
障害者の就労場所、就労者の増加	12	12.9
介護老人福祉施設、障害者支援施設の充実	11	11.8
活躍していると思う、不平等や不便さを感じない	11	11.8
高齢者・障害者・生涯学習施策や助成の充実、支援体制の整備	10	10.8
地域活動が盛ん、ボランティア活動で活躍する人の増加	9	9.7
バリアフリー対策の充実	7	7.5
さまざまな活動・活躍の場がある、行事等が催されている	6	6.5
高齢者が元気で活躍している、他市と比較して同左	4	4.3
就労の門戸が開かれている	3	3.2
検診事業、病院など医療環境の充実	2	2.2
事業内容を見て	2	2.2
その他、意見等	15	16.1
まだ高齢者、障害者は遠慮がちである	1	1.1
	93	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
「誰もが」ではない、差別や偏見がある、制限がある	10	12.0
中高齢者、障害者の雇用は少ない、不平等	8	9.6
バリアフリー対策が不十分、起伏のある住環境、バス等がない	7	8.4
施策・事業は基本的・当然の内容、特筆するものがない、足りない	7	8.4
高齢者・障害者・生涯学習施策、支援体制が不十分	7	8.4
雇用の減少、企業の減少、賃金の低下	6	7.2
施策や制度が機能していない、具体性がない、実行性がない	4	4.8
実感として思わない、変わらない	3	3.6
活躍の場が少ない	2	2.4
高齢化によるマイナスイメージがある	2	2.4
その他	27	32.5
	83	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
ノンステップバスの普及やバリアフリー対策の充実	13	13.7
高齢者・障害者・生涯学習施策や助成の充実、支援体制の整備	12	12.6
よくなっていると思う、結実してきている、目に見えている	8	8.4
活躍できる場の増加、行事等の増加、参加しやすさ	8	8.4
地域活動が盛ん、市民活動、ボランティア活動等で活躍する人の増加	7	7.4
介護老人福祉施設、障害者支援施設の充実	6	6.3
障害者の就労場所、就労者の増加	6	6.3
市民健診、健康増進施策の充実	3	3.2
就労の門戸が開かれてきた	3	3.2
その他、意見等	25	26.3
幼児、高齢者などに対してはまだまだ不十分など	4	4.2
	95	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
経済低迷、雇用の減少、活気がない	6	27.3
活躍の場や機会が少ない、活躍はしていない	3	13.6
中高齢者・障害者の雇用が少ない	2	9.1
行政の対応が不親切、何もしてくれない	2	9.1
よくなっていると思わない、政策がわからない	2	9.1
その他	7	31.8
	22	100.0

2-2 安全で安心なまちづくり

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

※（ ）は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
事件や犯罪の減少、治安の良さ、防犯設備・体制の充実	20	16.5
防災、耐震、災害対策の充実	16	13.2
津波・越波対策	(6)	
急傾斜地崩壊対策	(3)	
環境がよい、安心して生活できている、住みやすい	15	12.4
自治会、地域団体、ボランティアによる安全対策の充実	9	7.4
救急、医療体制の充実、AEDの設置	6	5.0
交通安全対策の充実、事故の減少、バリアフリー化の推進	5	4.1
他市、都市部と比較して	5	4.1
災害が少ない	4	3.3
事業が推進されている	4	3.3
目で見える、安全・安心なまちだと思う	3	2.5
警察・消防の存在、米軍基地の存在	3	2.5
米軍基地の対策	3	2.5
市民共助、市民が優しい	3	2.5
その他、意見等	13	10.7
崖や危険箇所がある、街灯が少ない、治安が悪い、基地など	12	9.9
	121	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
基地、原子力関連施設、弾薬庫がある、外国からの攻撃の恐れ	44	23.3
身近な犯罪が多い、浮浪者、不審者、暴力団、客引きの放置、治安が悪い	41	21.7
外国人・米軍人の存在、それらによる事件	21	11.1
事故が多い、車が多い、交通マナーが悪い、路上駐車が多い	12	6.3
防犯、防災対策への取り組みが不十分	11	5.8
寂れている、夜道が暗い、街灯・道路灯が少ない、切れている	9	4.8
通学路・歩道・道路の整備やバリアフリー化が不十分	9	4.8
海、山、トンネルの多さなどによる災害への不安、活断層がある	6	3.2
警察が対応してくれない、交番の減少、空き交番が多い	5	2.6
医療体制が不十分	4	2.1
情報提供が不十分、対策状況や行政の姿勢が不透明	4	2.1
事業が実施されていない	3	1.6
モラルの低下、子どもの様子をみて	2	1.1
地域関係の希薄化、地域住民の調和がない	2	1.1
その他、意見等	16	8.5
	189	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというとよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
よくなっていると思う、事業が推進されている、改善が見られる	17	19.5
防災、耐震、災害対策や整備の充実	14	16.1
犯罪の減少、治安がよくなっている、防犯対策の充実	11	12.6
自治会、地域、ボランティアによる安全対策の充実	8	9.2
基地対策、米軍・自衛隊の規律保持への努力	5	5.7
通学路・道路の整備、バリアフリー化の推進	4	4.6
環境がよい、安心して生活できている	4	4.6
市民健診、救急、医療体制の充実	3	3.4
情報提供の充実	2	2.3
その他、意見等	12	13.8
治安が心配、米軍の存在、通学路未整備、避難経路が不明など	7	8.0
	87	100.0

「④どちらかというと悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
身近な犯罪の増加、浮浪者、暴力団などの放置、治安の悪化	18	31.6
基地、原子力空母、がれきの受け入れ	4	7.0
交通対策が不十分、違法駐車が多い、通学路の未整備	4	7.0
警察活動の低下、交番の減少	3	5.3
悪化している	3	5.3
外国人、米軍人の存在、それらによる事件	3	5.3
人間関係が希薄	3	5.3
防災、災害対策や整備が不十分、市の指導不足	3	5.3
空き家、空き地の放置	2	3.5
不景気による悪影響	2	3.5
国際情勢（米国）や日本の外交情勢の悪化	2	3.5
その他、意見等	9	15.8
対基地問題は悪化はしていない	1	1.8
	57	100.0

生きがいに満ちあふれ命を大切にする都市

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
高齢者・障害者施策や助成の充実、支援体制の整備	8	12.1
地域活動、ボランティア活動が盛ん、地域の協力体制がある	7	10.6
介護老人福祉施設・保健施設やサービスの充実	6	9.1
生きがいに満ちあふれ命を大切にするまちだと思ふ、成果が見える	4	6.1
公園の整備、すこやかんなど施設の充実	4	6.1
生活環境がよい、高齢者が住みやすい	4	6.1
市民健診、健康増進施策の充実	3	4.5
高齢者が参加する講座・行事等が多い	3	4.5
救急、医療体制の整備	3	4.5
高齢者が多い、活躍している	3	4.5
活躍している人が多い、活躍の場の選択肢がある	3	4.5
治安がよい	2	3.0
高齢者に就労の門戸が開かれている	2	3.0
その他、意見等	12	18.2
講座等に参加するきっかけがない、高齢者の就労の場は少ない	2	3.0
	66	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
思わない、「生きがい」はもてない・満ちあふれていない	10	13.0
救急、医療体制が不十分（立地を含む）	7	9.1
雇用の減少、企業の減少、所得の減少、経済低迷で寂れている	7	9.1
文言が意味不明	5	6.5
施策内容・対象に疑問がある、偏りがある、進んでいない	5	6.5
高齢者・障害者施策、助成等が不十分	4	5.2
わからない、情報提供が不十分	3	3.9
高齢者の雇用が少ない、活躍の場がない	3	3.9
もっとできる、切迫感をもって努力してほしい	3	3.9
基地への不安がある	2	2.6
人に元気・活気がない	2	2.6
相談、介護に携わる職員の対応が不適切	2	2.6
税金、医療費、高熱水費が高い	2	2.6
他市と比較して劣っている	2	2.6
その他、意見等	20	26.0
	77	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
よくなっていると思う、生きがいをもっている	6	10.9
取り組みが進められている、気概を感じる	6	10.9
高齢者・福祉施策の充実、福祉施設、サービスの充実	5	9.1
救急、医療体制の整備、施策の充実	4	7.3
変わらない	4	7.3
市民健診、健康増進施策・施設の充実	3	5.5
自然環境の整備	3	5.5
活躍の機会や場の整備・拡大	2	3.6
防災、災害対策の充実	2	3.6
地域活動・市民活動が盛ん	2	3.6
施設整備、バリアフリー化	2	3.6
高齢者向け講座・生涯学習講座の充実、参加者の増加	2	3.6
その他、意見等	12	21.8
今後が不安、命や人間の尊厳を実感させる教育が不十分	2	3.6
	55	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

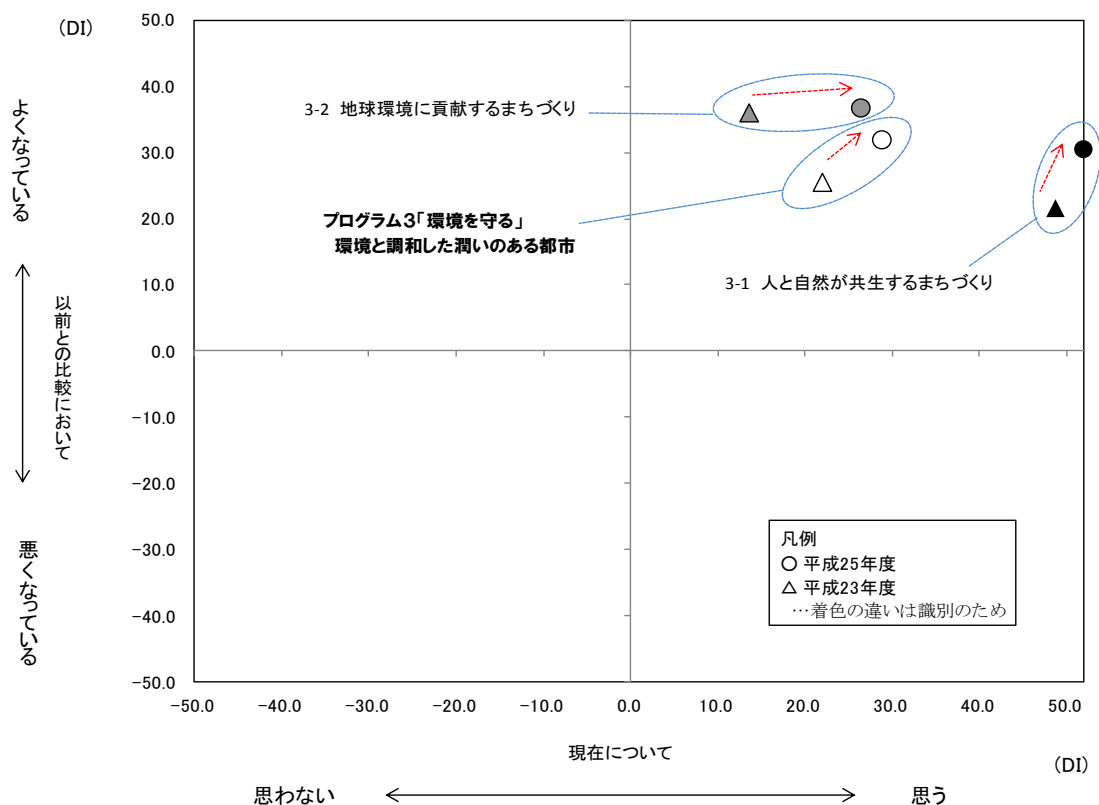
回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
高齢化による後退感	4	16.7
まちに活力がなく寂れている	3	12.5
医療体制が不十分	2	8.3
人口減少	2	8.3
年金、税金の問題	2	8.3
雇用の減少、企業の減少	2	8.3
その他、意見等	9	37.5
	24	100.0

重点プログラム3 『環境を守る』

～人と自然が共生するまちづくり・地球環境に貢献するまちづくり～

1 プログラム3「環境を守る」の傾向

図表Ⅲ－7 重点プログラム3の目的、取り組みの方向性の状況（H25-23年度比較）



【現在について】

取り組みの方向性・ 実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらとも いえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
(3-1) 人と自然が共生するまちづくり	25年度	686	68.5	14.9	16.6	51.9	6.5		
	24年度	727	66.0	13.3	20.6	45.4	▲ 3.3		3.2
	23年度	716	68.2	12.3	19.5	48.7	—		
(3-2) 地球環境に貢献するまちづくり	25年度	616	50.6	25.0	24.4	26.2	8.1		12.7
	24年度	650	45.7	26.8	27.6	18.1	4.6		
	23年度	666	43.4	26.7	29.9	13.5	—		
環境と調和した潤いのある都市	25年度	613	50.9	26.9	22.2	28.7	8.1		6.8
	24年度	663	46.9	26.8	26.3	20.6	▲ 1.3		
	23年度	655	48.2	25.5	26.3	21.9	—		

【以前との比較】

取り組みの方向性・ 実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わって いない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
(3-1) 人と自然が共生するまちづくり	25年度	603	46.6	37.3	16.1	30.5	9.2		
	24年度	631	43.3	34.7	22.0	21.3	▲ 0.3		8.9
	23年度	641	44.1	33.4	22.5	21.6	—		
(3-2) 地球環境に貢献するまちづくり	25年度	532	46.6	43.6	9.8	36.8	0.4		0.7
	24年度	553	44.7	47.0	8.3	36.4	0.3		
	23年度	584	46.2	43.7	10.1	36.1	—		
環境と調和した潤いのある都市	25年度	537	42.8	46.4	10.8	32.0	6.2		6.4
	24年度	558	40.3	45.2	14.5	25.8	0.2		
	23年度	572	41.2	43.2	15.6	25.6	—		

○プログラム3が実現を目指す「環境と調和した潤いのある都市」の状況について、今回調査のDIは「現在について」「以前との比較」とともにプラスで高い値を示している。また、平成23年度調査との比較でも上昇している。当該プログラムのDIは、全プログラムの中で最も高く、実感が得られているといえる。(P5参照)

現在について			以前との比較		
DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
21.9 → 28.7	6.8	上昇	25.6 → 32.0	6.4	上昇

2 取り組みの方向性の傾向（全体）

（1）3-1 人と自然が共生するまちづくり

今回調査のDIは、「現在について」「以前との比較」とともにプラスで、「現在について」では50ポイントを超えているなど値も高い。平成23年度調査との比較でもポイントが増加しており、上昇もみられ、高い実感が得られている。

現在について			以前との比較		
DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
48.7 → 51.9	3.2	大きな 変化なし	21.6 → 30.5	8.9	上昇

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

「海、山、公園など自然が多い、気候が良い、空気がきれい」など本市の自然環境そのもののよさが突出して多く挙げられており、市の施策の充実も挙げられている。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

「宅地造成、マンション乱立、施設建設など開発による自然破壊」が最も多く、その他についても、自然環境の消失という回答が多くみられるが、自然が残っていることによる住みにくさについての回答もみられる。

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというとよくなっている」

「公園、海岸線の整備」や「自然環境の整備・保護、環境政策が進んでいる、成果が見える」など市の施策の充実が多く挙げられている。

◆以前との比較「④どちらかというと悪くなっている」「⑤悪くなっている」

「宅地造成、マンション乱立など開発による自然破壊」が多く挙げられている。

(2) 3-2 地球環境に貢献するまちづくり

今回調査のDIは、「現在について」「以前との比較」とともにプラスで値も高い。平成23年度調査との比較でも「現在について」で大幅な上昇がみられるなど、3-1と同様に高い実感が得られている。

現在の実感			以前との比較		
DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
13.5 → 26.2	12.7	大幅に上昇	36.1 → 36.8	0.7	変化なし

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

「分別、リサイクルの徹底、アイクル・ごみ処理施設の整備」が最も多く挙げられている。そのほか、市の施策の充実や「地域活動やボランティア活動が盛ん」「環境教育の充実」などが挙げられている。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

「環境施策が不十分、進歩がない、施策の効果が不明」「取り組みを知らない、伝わってこない、目立つものがない」など、市の取り組みの不十分さが多く挙げられている。そのほか、東日本大震災関係や「再生可能エネルギーの利活用が少ない」などが挙げられている。

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

「市民の意識向上、地域活動やボランティア活動が盛ん」「分別、リサイクルの徹底、ごみの広域処理化」など、市の取り組みをはじめ市民の自発的な活動やごみ処理に関する意識の高さについて多く挙げられている。

◆以前との比較「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答数が少ないが、「自然の減少、宅地造成などによる自然破壊」などが挙げられている。

3 取り組みの方向性の傾向（3-1地域別／3-2年齢別）

（1）3-1 人と自然が共生するまちづくり

【調査結果のポイント】

- ・今回調査のDIは、「現在について」「以前との比較」とともに、全ての地域でプラスで、特に「久里浜・北下浦」地域の値が高い。
- ・平成23年度調査との比較で、DIに最も上昇がみられたのは「以前との比較」における「西」地域で、26.1ポイントの大幅な上昇となっている。
- ・一方、「追浜・田浦」地域は、唯一、「現在について」「以前との比較」のいずれも差がマイナスとなった。

図表Ⅲ-8 3-1「人と自然が共生するまちづくり」の状況（地域別：H25-23年度比較）

【現在について】

居住地域	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
追浜・田浦	25年度	76	64.5	11.8	23.7	40.8	24.1	▲ 0.7	
	24年度	72	51.4	13.9	34.7	16.7	▲ 24.8		
	23年度	77	67.5	6.5	26.0	41.5	—		
本庁・逸見	25年度	105	72.4	15.2	12.4	60.0	11.9	8.5	
	24年度	135	65.9	16.3	17.8	48.1	▲ 3.4		
	23年度	130	70.0	11.5	18.5	51.5	—		
衣笠	25年度	95	65.3	17.9	16.8	48.5	14.9	▲ 3.3	
	24年度	107	60.7	12.1	27.1	33.6	▲ 18.2		
	23年度	112	68.7	14.3	16.9	51.8	—		
大津・浦賀	25年度	159	67.3	13.8	18.9	48.4	▲ 5.6	4.2	
	24年度	163	71.2	11.7	17.2	54.0	9.8		
	23年度	163	64.4	15.3	20.2	44.2	—		
久里浜・北下浦	25年度	155	69.7	18.1	12.3	57.4	3.6	▲ 1.3	
	24年度	169	70.4	13.0	16.6	53.8	▲ 4.9		
	23年度	143	74.8	9.1	16.1	58.7	—		
西	25年度	78	71.8	11.5	16.7	55.1	0.9	12.7	
	24年度	59	69.5	15.3	15.3	54.2	11.8		
	23年度	78	65.4	11.5	23.0	42.4	—		

【以前との比較】

居住地域	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
追浜・田浦	25年度	67	38.8	41.8	19.4	19.4	19.4	▲ 3.0	
	24年度	66	26.9	30.8	26.9	0.0	▲ 22.4		
	23年度	67	46.3	29.9	23.9	22.4	—		
本庁・逸見	25年度	89	44.9	43.8	11.2	33.7	5.7	8.3	
	24年度	118	39.9	30.8	11.9	28.0	2.6		
	23年度	118	41.5	42.4	16.1	25.4	—		
衣笠	25年度	82	47.6	39.0	13.4	34.2	19.1	14.7	
	24年度	93	44.1	26.9	29.0	15.1	▲ 4.4		
	23年度	103	41.8	35.9	22.3	19.5	—		
大津・浦賀	25年度	146	45.9	32.9	21.2	24.7	6.2	5.1	
	24年度	138	38.3	24.6	19.8	18.5	▲ 1.1		
	23年度	148	47.3	25.0	27.7	19.6	—		
久里浜・北下浦	25年度	138	53.6	34.8	11.6	42.0	19.1	9.7	
	24年度	141	37.6	30.6	14.7	22.9	▲ 9.4		
	23年度	124	50.8	30.6	18.5	32.3	—		
西	25年度	66	45.5	37.9	16.7	28.8	15.6	26.1	
	24年度	53	32.1	49.1	18.9	13.2	10.5		
	23年度	72	30.5	41.7	27.8	2.7	—		

居住地域	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
追浜・田浦	41.5 → 40.8	▲ 0.7	変化なし	22.4 → 19.4	▲ 3.0	大きな 変化なし
本庁・逸見	51.5 → 60.0	8.5	上昇	25.4 → 33.7	8.3	上昇
衣笠	51.8 → 48.5	▲ 3.3	大きな 変化なし	19.5 → 34.2	14.7	大幅に上昇
大津・浦賀	44.2 → 48.4	4.2	大きな 変化なし	19.6 → 24.7	5.1	上昇
久里浜・北下浦	58.7 → 57.4	▲ 1.3	変化なし	32.3 → 42.0	9.7	上昇
西	42.4 → 55.1	12.7	大幅に上昇	2.7 → 28.8	26.1	大幅に上昇

(2) 3-2 地球環境に貢献するまちづくり

【調査結果のポイント】

- ・今回調査の DI は、「現在について」「以前との比較」とともに全ての年齢層でプラスで、高い値となっている。
- ・中でも、「現在について」「以前との比較」とともに DI が最も高いのは「70 歳以上」である。
- ・平成 23 年度調査との比較で最も上昇がみられたのは「現在について」の「40 歳代」(21.3 ポイント) である。一方で大幅な低下がみられたのは「以前との比較」の若年層で、「29 歳以下」「30 歳代」が 20 ポイントを超える大幅な低下となった。

図表Ⅲ-9 3-2 「地球環境に貢献するまちづくり」の状況（年齢別：H25-23 年度比較）

【現在について】

年齢階層	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
29歳以下	25年度	64	48.4	25.0	26.6	21.8	6.6	7.7	
	24年度	79	46.8	21.5	31.6	15.2	1.1		
	23年度	78	44.9	24.4	30.8	14.1	—		
30歳代	25年度	69	49.3	29.0	21.7	27.6	29.1	6.1	
	24年度	68	39.7	19.1	41.2	▲ 1.5	▲ 23.0		
	23年度	93	50.5	20.4	29.0	21.5	—		
40歳代	25年度	76	40.8	30.3	28.9	11.9	▲ 1.7	21.3	
	24年度	103	37.9	37.9	24.3	13.6	23.0		
	23年度	107	30.8	29.0	40.2	▲ 9.4	—		
50歳代	25年度	119	48.7	26.1	25.2	23.5	▲ 0.5	8.6	
	24年度	121	47.1	29.8	23.1	24.0	9.1		
	23年度	115	45.3	24.3	30.4	14.9	—		
60歳代	25年度	148	53.4	23.6	23.0	30.4	1.1	10.7	
	24年度	133	52.6	24.1	23.3	29.3	9.6		
	23年度	132	44.7	30.3	25.0	19.7	—		
70歳以上	25年度	125	56.8	22.4	20.8	36.0	19.2	14.4	
	24年度	125	45.6	25.6	28.8	16.8	▲ 4.8		
	23年度	129	45.7	30.2	24.1	21.6	—		

【以前との比較】

年齢階層	調査年度	件数(人)				DI (a)-(b)	前年度比	(ポイント)	
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)			25-23年度比	
29歳以下	25年度	46	39.1	43.5	17.4	21.7	▲ 7.4	▲ 21.4	
	24年度	55	41.8	45.5	12.7	29.1	▲ 14.0		
	23年度	51	52.9	37.3	9.8	43.1	—		
30歳代	25年度	52	32.7	53.8	13.5	19.2	6.1	▲ 20.0	
	24年度	46	28.3	56.5	15.2	13.1	▲ 26.1		
	23年度	79	46.8	45.6	7.6	39.2	—		
40歳代	25年度	62	41.9	54.8	3.2	38.7	8.3	8.5	
	24年度	89	37.1	56.2	6.7	30.4	0.2		
	23年度	96	39.6	51.0	9.4	30.2	—		
50歳代	25年度	109	45.9	42.2	11.9	34.0	▲ 11.4	4.0	
	24年度	99	52.5	40.4	7.1	45.4	15.4		
	23年度	107	42.1	45.8	12.1	30.0	—		
60歳代	25年度	135	50.4	42.2	7.4	43.0	0.9	9.3	
	24年度	128	48.4	45.3	6.3	42.1	8.4		
	23年度	122	48.4	36.9	14.7	33.7	—		
70歳以上	25年度	117	53.8	38.5	7.7	46.1	5.4	1.1	
	24年度	118	48.3	44.1	7.6	40.7	▲ 4.3		
	23年度	120	51.6	41.7	6.6	45.0	—		

年齢階層	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
29歳以下	14.1 → 21.8	7.7	上昇	43.1 → 21.7	▲ 21.4	大幅に低下
30歳代	21.5 → 27.6	6.1	上昇	39.2 → 19.2	▲ 20.0	大幅に低下
40歳代	▲ 9.4 → 11.9	21.3	大幅に上昇	30.2 → 38.7	8.5	上昇
50歳代	14.9 → 23.5	8.6	上昇	30.0 → 34.0	4.0	大きな 変化なし
60歳代	19.7 → 30.4	10.7	大幅に上昇	33.7 → 43.0	9.3	上昇
70歳以上	21.6 → 36.0	14.4	大幅に上昇	45.0 → 46.1	1.1	変化なし

4 回答理由分類

3-1 人と自然が共生するまちづくり

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
海、山、公園など自然が多い、気候が良い、空気がきれい	109	57.1
自然環境の整備・保護、環境政策が進んでいる	25	13.1
公園や施設、散策コース等の整備	11	5.8
自然を生かした施設や取り組みが多い、イベントがある	10	5.2
人が穏やか、静かな環境、田舎、住みやすい	7	3.7
共生していると思う	6	3.1
自然を身近に感じる・触れ合える機会が多い	6	3.1
地域活動、ボランティア活動が盛ん	3	1.6
その他、意見等	10	5.2
自然の減少、自然と産業のバランスが悪い	4	2.1
	191	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
宅地造成、マンション乱立、施設建設など開発による自然破壊	18	32.7
自然・緑地の減少、保全が不十分、開発後の緑生がない	6	10.9
まちが汚い、ゴミが目立つ、たばこのポイ捨てが多い	5	9.1
市の取り組みがわからない、企画等が少ない、情報提供不足	5	9.1
公園など自然と触れ合える身近な場所、機会が減少している	4	7.3
共生していると思わない、地域差がある	3	5.5
公園やまちなかの緑が少ない	2	3.6
自然はあるが、山の上、道路が狭いなど人が住みにくい	2	3.6
その他、意見等	10	18.2
	55	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというとよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
公園、海岸線の整備	13	16.3
自然環境の整備・保護、環境政策が進んでいる、成果が見える	12	15.0
よくなっていると思う	10	12.5
講座、イベントの充実、広報の充実、アウトドア雑誌掲載	7	8.8
海、山など自然が多い	6	7.5
自然を生かした施設や取り組みがある	4	5.0
落ちているゴミや廃棄物不法投棄の減少	3	3.8
住みやすい	3	3.8
災害対策が進んでいる	3	3.8
市民の意識向上	3	3.8
自然と触れ合える機会が多い、生物や自然を身近に感じられる	2	2.5
変わらない	2	2.5
景観を含め、まちがきれい	2	2.5
水質を含め、海、河川がきれい	2	2.5
その他、意見等	7	8.8
宅地開発による自然破壊など	1	1.3
	80	100.0

「④どちらかというと悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
宅地造成、マンション乱立など開発による自然破壊	25	45.5
緑、砂浜、生物など自然の減少、自然破壊、保全が不十分	12	21.8
施策・整備の停滞、後退	3	5.5
よくなっていると思わない	2	3.6
災害対策による自然減少	2	3.6
情報提供（周知）が不十分	2	3.6
その他、意見等	9	16.4
	55	100.0

3-2 地球環境に貢献するまちづくり

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

※（ ）は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
分別、リサイクルの徹底、アイクル・ごみ処理施設の整備	36	35.6
環境施策の充実、事業内容を見て	12	11.9
下水道事業	(4)	
電気自動車の普及	(2)	
地域活動やボランティア活動が盛ん	8	7.9
環境教育の充実	6	5.9
自然環境の整備・保護・保全が進んでいる	5	5.0
努力が見える、成果を感じる	4	4.0
自然環境がよい、住みやすい	4	4.0
ゴミ・たばこのポイ捨ての減少、まちの美化	3	3.0
災害がれき・漁網受け入れの検討（賛否あり）	3	3.0
地球環境に貢献するまちだと思う	2	2.0
植樹、街路樹の整備	2	2.0
その他、意見等	15	14.9
横須賀中央がドブ臭い	1	1.0
	101	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
環境施策が不十分、進歩がない、施策の効果が不明	8	12.1
震災がれき・漁網受け入れの検討（賛否あり）	7	10.6
取り組みを知らない、伝わってこない、目立つものがない	7	10.6
再生可能エネルギーの利活用が少ない	7	10.6
基地、格納庫、原子力関係施設がある	5	7.6
市民の意識が低い、他人のことを考えない	4	6.1
地球環境に貢献するまちだと思わない、「貢献」はしていない	4	6.1
宅地造成、マンション乱立など開発による自然破壊	3	4.5
地球、まちの環境破壊	3	4.5
ごみ処理施設の建設	2	3.0
ポイ捨てや廃棄物不法投棄	2	3.0
その他、意見等	14	21.2
	66	100.0

「①よくなっている」「②どちらかというとよくなっている」

※（ ）は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
市民の意識向上、地域活動やボランティア活動が盛ん	15	21.1
分別、リサイクルの徹底、ごみの広域処理化	14	19.7
環境施策の充実	10	14.1
下水道事業	(4)	
街中のゴミの減少、まちがきれい	6	8.5
よくなっていると思う	5	7.0
環境教育の充実	3	4.2
自然が多い、保全されている	3	4.2
努力が見える、成果が見える	3	4.2
住みやすい	2	2.8
その他、意見等	9	12.7
分別しない人がある	1	1.4
	71	100.0

「④どちらかというと悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
自然の減少、宅地造成などによる自然破壊	4	25.0
変わらない、悪化している、環境施策の後退	4	25.0
災害対策が不十分、危険個所の放置	2	12.5
環境破壊、アレルギー患者の増加	2	12.5
その他、意見等	4	25.0
	16	100.0

環境と調和した潤いのある都市

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
自然が多い、空気がきれい	31	33.7
環境と調和した潤いあるまちだと思う、他市と比較してよい	13	14.1
環境施策が充実している、事業内容を見て	10	10.9
自然を生かした、自然と触れ合える施設や取り組みがある	6	6.5
自然環境の整備・保護・保全が進んでいる	3	3.3
ごみの分別の徹底、ごみ処理施設の整備	3	3.3
公園の整備	3	3.3
農水産物が豊か、地場産品の販売施設	2	2.2
街中のごみが少ない	2	2.2
その他、意見等	12	13.0
里山の減少、道路整備が不十分、自然環境に配慮した事業が実施されないなど	7	7.6
	92	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
環境施策が不十分、言葉だけが先行	8	14.3
宅地造成、マンション乱立など開発による自然破壊	5	8.9
環境と調和した潤いあるまちだと思わない、「潤い」はない	5	8.9
ごみが多い、たばこのポイ捨てが多い、廃棄物不法投棄	5	8.9
自然の減少、空気が汚い	4	7.1
基地、原子力関係施設がある	3	5.4
他市と比較して遅れている、他市と同じ	2	3.6
環境破壊	2	3.6
めざす都市の姿があいまい	2	3.6
街並み景観がよくない	2	3.6
その他、意見等	17	30.4
関東圏では良いほう	1	1.8
	56	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
よくなっていると思う、悪くはない	8	13.3
環境施策の充実、努力が見える	8	13.3
公園、海岸線の整備	6	10.0
市民の意識向上、地域活動やボランティア活動が盛ん	4	6.7
自然環境の整備・保護・保全がなされている	4	6.7
分別、リサイクルの徹底、ごみ処理施策が進んでいる	4	6.7
街中のごみの減少、街が整備されている、きれい	4	6.7
自然を生かした施設や取り組みがある	3	5.0
自然が多い	3	5.0
海、河川がきれい	2	3.3
その他、意見等	8	13.3
街並みにコンセプトがない、環境への意識啓発が不十分、努力が足りないなど	6	10.0
	60	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

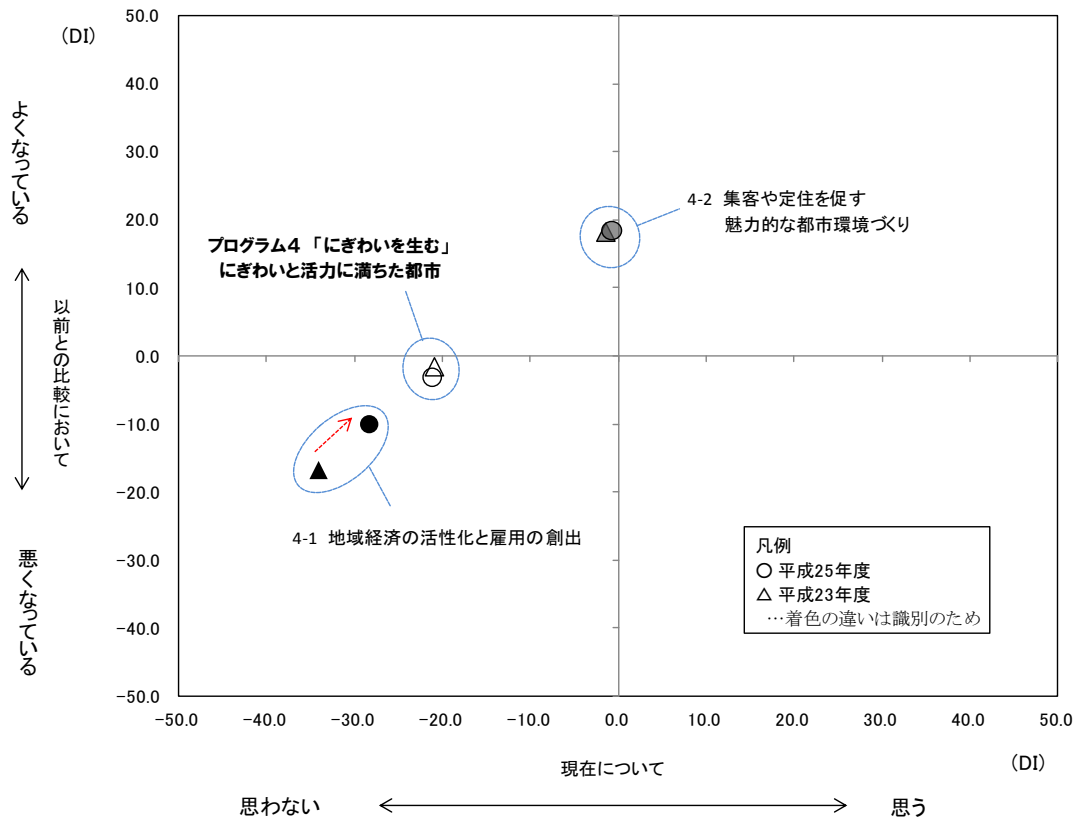
回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
自然、生物の減少、自然・環境破壊	9	37.5
環境施策、市の取り組み姿勢が不十分、その場しのぎ	4	16.7
宅地造成、マンション乱立など開発による自然破壊	3	12.5
その他、意見等	8	33.3
	24	100.0

重点プログラム4 『にぎわいを生む』

～地域経済の活性化と雇用の創出・集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり～

1 プログラム4「にぎわいを生む」の傾向

図表Ⅲ－10 重点プログラム4の目的、取り組みの方向性の状況（H25-23年度比較）



【現在について】

取り組みの方向性・実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	25年度	628	24.4	22.9	52.7	▲ 28.3	4.0	5.8	
	24年度	668	21.2	25.3	53.5	▲ 32.3	1.8		
	23年度	653	20.2	25.6	54.3	▲ 34.1	—		
(4-2) 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	25年度	657	37.1	25.0	37.9	▲ 0.8	4.3	0.7	
	24年度	686	33.8	27.3	38.9	▲ 5.1	▲ 3.6		
	23年度	685	37.0	24.5	38.5	▲ 1.5	—		
にぎわいと活力に満ちた都市	25年度	668	26.6	25.4	47.9	▲ 21.3	5.7	▲ 0.3	
	24年度	716	24.4	24.2	51.4	▲ 27.0	▲ 6.0		
	23年度	705	27.1	24.8	48.1	▲ 21.0	—		

【以前との比較】

取り組みの方向性・実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)				DI (a)-(b)	前年度比	(ポイント)	
			①よくなっている+②どちらかという+③よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという+⑤悪くなっている+⑥悪くなっている (b)			25-23年度比	
(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	25年度	557	25.9	38.2	35.9	▲ 10.0	2.9	6.8	
	24年度	577	24.8	37.4	37.7	▲ 12.9	3.9		
	23年度	595	22.2	38.8	39.0	▲ 16.8	—		
(4-2) 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	25年度	581	38.9	40.6	20.5	18.4	2.5	0.1	
	24年度	598	35.8	44.3	19.9	15.9	▲ 2.4		
	23年度	609	38.0	42.4	19.7	18.3	—		
にぎわいと活力に満ちた都市	25年度	591	30.1	36.7	33.2	▲ 3.1	1.0	▲ 1.6	
	24年度	635	29.3	37.3	33.4	▲ 4.1	▲ 2.6		
	23年度	629	27.6	43.2	29.1	▲ 1.5	—		

○プログラム4が実現を目指す「にぎわいと活力に満ちた都市」の状況について、今回調査のDIは「現在について」「以前との比較」とともにマイナスで、平成23年度調査との比較でも変化がみられない。また、各年度のDIも全てのプログラムの中で最も低く、依然として実感が得られていない状況が続いている。(P5参照)

現在について			以前との比較		
DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
▲ 21.0 → ▲ 21.3	▲ 0.3	変化なし	▲ 1.5 → ▲ 3.1	▲ 1.6	変化なし

2 取り組みの方向性の傾向（全体）

（1）4－1 地域経済の活性化と雇用の創出

今回調査のDIは、「現在について」「以前との比較」とともにマイナスとなっているが、平成23年度調査との比較では上昇している。しかし、各年度のDIは、全ての取り組みの方向性の中で最も低く、依然として実感が得られていない状況が続いている。

(P10参照)

現在について			以前との比較		
DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
▲ 34.1 → ▲ 28.3	5.8	上昇	▲ 16.8 → ▲ 10.0	6.8	上昇

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

市の施策や観光事業の充実が多く挙げられ、中でも「地産池消、よこすかポートマーケット、すかなごっそ」や「軍港めぐり」を例示しての回答が多くみられた。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

「働く（働きたい）場や（よい）求人が少ない、低賃金」「企業（大企業）が少ない、企業が転出・撤退している」など雇用情勢等の厳しさや「商店街の空き店舗の増加、地域経済の衰退、活気がないなど」など商業を中心とした地域経済の衰退が多く挙げられた。

(以前との比較の回答理由については次頁)

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

ここでも、市の施策の充実が多く挙げられ、「地産池消、よこすかポートマーケット」に対する印象がよいことが窺える。

◆以前との比較「④どちらかというよくなっている」「⑤よくなっている」

「中心市街地・市全体ににぎわいや活気を感じない、寂れている」「働く場や求人が少ない」「商店街の空き店舗の増加、地域経済の衰退、活気がない」などが多く挙げられている。

(2) 4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり

今回調査のDIは、「現在について」でマイナスとなったものの、「以前との比較」ではプラスで、15ポイントを超えており、一応の実感が窺える状況である。平成23年度調査との比較では変化がみられない。

現在について			以前との比較		
DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
▲ 1.5 → ▲ 0.8	0.7	変化なし	18.3 → 18.4	0.1	変化なし

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

「イベント、土産物など観光事業の充実、観光客の増加」が多いほか、「マンション、住宅地の開発が進んでいる」などが挙げられているが、否定的な意見も多く、「集客はあるが、定住促進はない・難しい・施策がつながるか疑問」という声がみられる。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

「魅力ある商業施設の減少、商店街の衰退、買い物客の市外への流出」や、「施策が不十分、中途半端、方向性が疑問、取り組みが見えない、無計画」という厳しい声が多く挙げられている。そのほか、生活利便性に対する不満や、商業を中心とした地域経済の衰退を指摘するものが多くみられる。

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

ここでも、「イベント、土産物などの観光事業の充実、観光客の増加」が多く挙げられている。また、「結果がついてこない、何かが足りない、PR不足、まだできることがある」など取り組みの不足感に対する声もみられる。

◆以前との比較「④どちらかというよくなっている」「⑤よくなっている」

「魅力ある商業施設の減少、商店街の衰退、買い物客の市外への流出」「中心市街地に活気がない、空洞化、寂れている、人出がない」などが多く挙げられている。

3 取り組みの方向性の傾向（年齢別）

（１）４－１ 地域経済の活性化と雇用の創出

【調査結果のポイント】

- ・今回調査のDIがプラスとなったのは「以前との比較」の「29歳以下」のみで、全年度の調査を通して唯一のプラスであり、全体的に実感が得られていない状況が続いているといえる。
- ・特に、「現在について」の「50歳代」「60歳代」のマイナスが大きいですが、それ以下の年齢層においては、階層が下がるに連れてマイナス幅が小さくなっている。
- ・平成23年度調査との比較では、「現在について」「以前との比較」とともに、「29歳以下」「40歳代」で大幅な上昇となったが、近接する「30歳代」「50歳代」では大きな変化がない状況で、年齢層で差がみられる。
- ・上述の「50歳代」「60歳代」は、同比較でも「現在について」でマイナスとなっている。

図表Ⅲ－11 ４－１「地域経済の活性化と雇用の創出」の状況（年齢別：H25-23年度比較）

【現在について】

年齢階層	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
29歳以下	25年度	60	36.7	21.7	41.7	▲ 5.0	19.4	11.9	
	24年度	74	27.0	21.6	51.4	▲ 24.4	▲ 7.5		
	23年度	71	31.0	21.1	47.9	▲ 16.9	—		
30歳代	25年度	76	28.9	26.3	44.7	▲ 15.8	16.1	5.5	
	24年度	72	26.4	15.3	58.3	▲ 31.9	▲ 10.6		
	23年度	89	27.0	24.7	48.3	▲ 21.3	—		
40歳代	25年度	87	24.1	27.6	48.3	▲ 24.2	9.4	12.9	
	24年度	113	20.4	25.7	54.0	▲ 33.6	3.5		
	23年度	110	21.0	20.9	58.1	▲ 37.1	—		
50歳代	25年度	123	17.9	20.3	61.8	▲ 43.9	▲ 9.2	▲ 3.0	
	24年度	118	17.8	29.7	52.5	▲ 34.7	6.2		
	23年度	115	15.6	27.8	56.5	▲ 40.9	—		
60歳代	25年度	146	17.8	21.9	60.3	▲ 42.5	▲ 9.9	▲ 8.8	
	24年度	141	21.3	24.8	53.9	▲ 32.6	1.1		
	23年度	131	19.8	26.7	53.5	▲ 33.7	—		
70歳以上	25年度	124	29.0	22.6	48.4	▲ 19.4	10.9	22.3	
	24年度	132	20.5	28.8	50.8	▲ 30.3	11.4		
	23年度	127	15.0	28.3	56.7	▲ 41.7	—		

【以前との比較】

年齢階層	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
29歳以下	25年度	46	39.1	26.1	34.8	4.3	18.9	11.7	
	24年度	48	25.0	35.4	39.6	▲ 14.6	▲ 7.2		
	23年度	54	29.6	33.3	37.0	▲ 7.4	—		
30歳代	25年度	62	21.0	48.4	30.6	▲ 9.6	▲ 4.1	▲ 0.5	
	24年度	55	30.9	32.7	36.4	▲ 5.5	3.6		
	23年度	77	31.2	28.6	40.3	▲ 9.1	—		
40歳代	25年度	78	28.2	37.2	34.6	▲ 6.4	16.5	11.9	
	24年度	96	18.8	39.6	41.7	▲ 22.9	▲ 4.6		
	23年度	98	24.5	32.7	42.8	▲ 18.3	—		
50歳代	25年度	113	22.1	37.2	40.7	▲ 18.6	▲ 8.7	3.8	
	24年度	101	24.8	40.6	34.7	▲ 9.9	12.5		
	23年度	112	17.8	42.0	40.2	▲ 22.4	—		
60歳代	25年度	133	24.8	42.1	33.1	▲ 8.3	0.7	9.3	
	24年度	133	27.1	36.8	36.1	▲ 9.0	8.6		
	23年度	125	19.2	44.0	36.8	▲ 17.6	—		
70歳以上	25年度	116	26.7	34.5	38.8	▲ 12.1	4.7	5.3	
	24年度	125	23.2	36.8	40.0	▲ 16.8	0.6		
	23年度	121	19.0	44.6	36.4	▲ 17.4	—		

年齢階層	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
29歳以下	▲ 16.9 → ▲ 5.0	11.9	大幅に上昇	▲ 7.4 → 4.3	11.7	大幅に上昇
30歳代	▲ 21.3 → ▲ 15.8	5.5	上昇	▲ 9.1 → ▲ 9.6	▲ 0.5	変化なし
40歳代	▲ 37.1 → ▲ 24.2	12.9	大幅に上昇	▲ 18.3 → ▲ 6.4	11.9	大幅に上昇
50歳代	▲ 40.9 → ▲ 43.9	▲ 3.0	大きな 変化なし	▲ 22.4 → ▲ 18.6	3.8	大きな 変化なし
60歳代	▲ 33.7 → ▲ 42.5	▲ 8.8	低下	▲ 17.6 → ▲ 8.3	9.3	上昇
70歳以上	▲ 41.7 → ▲ 19.4	22.3	大幅に上昇	▲ 17.4 → ▲ 12.1	5.3	上昇

(2) 4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり

【調査結果のポイント】

- ・今回調査で、「現在について」のDIがプラスとなったのは「29歳以下」「30歳代」で、「60歳代」までは年齢階層が上がるに連れてDIが低くなっている。
- ・「以前との比較」のDIは、全ての年齢層で全年度プラスとなっている。特に、40歳代以下の値が高い。
- ・平成23年度調査との比較で、「現在について」「以前との比較」とともに低下がみられたのは「30歳代」「50歳代」で、特に「30歳代」ではいずれも10ポイントを超える大幅な低下となっている。
- ・一方、「29歳以下」「40歳代」ではいずれも差がプラスで、「29歳以下」では大幅に上昇しており、年齢層によって傾向が異なる結果となっている。

図表Ⅲ-12 4-2 「集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」の状況（年齢別：H25-23年度比較）

【現在について】

年齢階層	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
29歳以下	25年度	65	58.5	16.9	24.6	33.9	30.0	39.1	
	24年度	77	41.6	20.8	37.7	3.9	9.1		
	23年度	77	37.7	19.5	42.9	▲ 5.2	—		
30歳代	25年度	84	42.9	26.2	31.0	11.9	10.7	▲ 14.1	
	24年度	80	40.0	21.3	38.8	1.2	▲ 24.8		
	23年度	100	55.0	16.0	29.0	26.0	—		
40歳代	25年度	90	33.3	31.1	35.6	▲ 2.3	2.2	1.2	
	24年度	111	34.2	27.0	38.7	▲ 4.5	▲ 1.0		
	23年度	115	36.5	23.5	40.0	▲ 3.5	—		
50歳代	25年度	123	30.1	30.1	39.8	▲ 9.7	▲ 11.3	▲ 4.6	
	24年度	121	38.0	25.6	36.4	1.6	6.7		
	23年度	118	33.9	27.1	39.0	▲ 5.1	—		
60歳代	25年度	151	32.5	21.2	46.4	▲ 13.9	6.0	▲ 5.0	
	24年度	141	24.1	31.9	44.0	▲ 19.9	▲ 11.0		
	23年度	135	34.1	23.0	43.0	▲ 8.9	—		
70歳以上	25年度	131	38.2	22.9	38.9	▲ 0.7	3.7	7.0	
	24年度	135	32.6	30.4	37.0	▲ 4.4	3.3		
	23年度	129	29.5	33.3	37.2	▲ 7.7	—		

【以前との比較】

年齢階層	調査年度	件数(人)				(ポイント)		
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比
29歳以下	25年度	47	51.1	36.2	12.8	38.3	14.5	15.5
	24年度	59	44.1	35.6	20.3	23.8	1.0	
	23年度	57	42.1	38.6	19.3	22.8	—	
30歳代	25年度	65	43.1	41.5	15.4	27.7	5.9	▲ 13.2
	24年度	55	38.2	45.5	16.4	21.8	▲ 19.1	
	23年度	88	54.5	31.8	13.6	40.9	—	
40歳代	25年度	81	39.5	44.4	16.0	23.5	8.0	12.1
	24年度	97	35.1	45.4	19.6	15.5	4.1	
	23年度	96	33.3	44.8	21.9	11.4	—	
50歳代	25年度	110	35.5	40.0	24.5	11.0	▲ 4.2	▲ 5.3
	24年度	105	38.1	39.0	22.9	15.2	▲ 1.1	
	23年度	116	35.3	45.7	19.0	16.3	—	
60歳代	25年度	141	31.9	46.8	21.3	10.6	1.8	6.6
	24年度	137	30.7	47.4	21.9	8.8	4.8	
	23年度	126	31.0	42.1	27.0	4.0	—	
70歳以上	25年度	126	42.1	34.1	23.8	18.3	▲ 1.2	▲ 3.8
	24年度	128	36.7	46.1	17.2	19.5	▲ 2.6	
	23年度	118	38.2	45.8	16.1	22.1	—	

年齢階層	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
29歳以下	▲ 5.2 → 33.9	39.1	大幅に上昇	22.8 → 38.3	15.5	大幅に上昇
30歳代	26.0 → 11.9	▲ 14.1	大幅に低下	40.9 → 27.7	▲ 13.2	大幅に低下
40歳代	▲ 3.5 → ▲ 2.3	1.2	変化なし	11.4 → 23.5	12.1	大幅に上昇
50歳代	▲ 5.1 → ▲ 9.7	▲ 4.6	大きな 変化なし	16.3 → 11.0	▲ 5.3	低下
60歳代	▲ 8.9 → ▲ 13.9	▲ 5.0	低下	4.0 → 10.6	6.6	上昇
70歳以上	▲ 7.7 → ▲ 0.7	7.0	上昇	22.1 → 18.3	▲ 3.8	大きな 変化なし

4 回答理由分類

4-1 地域経済の活性化と雇用の創出

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

※（ ）は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
施策の充実、事業内容を見て	18	34.6
地産池消、よこすかポートマーケット、すかなごっそ	(12)	
企業誘致	(2)	
イベントや施設整備など観光事業の充実、観光客の増加	17	32.7
軍港めぐり	(6)	
地域経済の活性化、店舗の増加	4	7.7
雇用の増加	2	3.8
その他、意見等	7	13.5
雇用が増えたという実感が無い	4	7.7
	52	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
働く（働きたい）場や（よい）求人が少ない、低賃金	39	22.9
企業（大企業）が少ない、企業が転出・撤退している	27	15.9
商店街の空き店舗の増加、地域経済の衰退、活気がない	27	15.9
商業施設の減少、買い物客の市外への流出	13	7.6
中心市街地ににぎわいや活気を感じない、寂れている、空洞化	12	7.1
経済低迷、産業の衰退、景気が回復していない	10	5.9
実感として思えない、あいまいでわからない	9	5.3
人口減少、高齢化	6	3.5
施策が不十分、施策の方向性に疑問、インパクト不足	5	2.9
集客事業が不十分	3	1.8
P R 不足	2	1.2
交通利便性が低い、整備されていない	2	1.2
日本全体に活気がない	2	1.2
魅力がない	2	1.2
ベッドタウン化	2	1.2
その他、意見等	9	5.3
	170	100.0

「①よくなっている」「②どちらかというとよくなっている」

※（ ）は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
施策の充実	12	32.4
地産池消、よこすかポートマーケット	(9)	
企業誘致	(2)	
イベント、軍港めぐり、施設整備など観光事業の充実	5	13.5
よくなっていると思う	4	10.8
雇用の増加	4	10.8
テレビなどメディアで取り上げられ、知名度が上がった	2	5.4
その他、意見等	5	13.5
もっと努力できる、地場産品が高い、シャッター商店街など	5	13.5
	37	100.0

「④どちらかというと悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
中心市街地・市全体ににぎわいや活気を感じない、寂れている	18	17.3
働く場や求人が少ない	16	15.4
商店街の空き店舗の増加、地域経済の衰退、活気がない	16	15.4
企業が少ない、企業が転出・撤退している	12	11.5
商業施設の減少、買い物客の市外への流出	7	6.7
よくなっていると思わない	7	6.7
魅力がない、不便で生活しにくい	4	3.8
経済低迷、産業の衰退、景気が回復していない	3	2.9
人口減少、高齢化、若年層の流出	3	2.9
市の取り組みの具体性がない、基地に頼りすぎ	2	1.9
交通利便性が低い、整備されていない	2	1.9
空き家、空き地の放置	2	1.9
その他、意見等	12	11.5
	104	100.0

4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

※（ ）は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
イベント、土産物など観光事業の充実、観光客の増加	29	27.9
軍港めぐり	(7)	
ポートマーケット	(3)	
マンション、住宅地の開発が進んでいる	7	6.7
努力が見える、事業内容を見て	7	6.7
道路等の都市基盤の整備、市街地の整備	6	5.8
マイホームへの支援など定住施策の充実	6	5.8
メディアで取り上げられ、知名度が上がった、チラシを見る	6	5.8
住みやすい、生活に支障がなく便利	5	4.8
観光できる自然や施設がある	3	2.9
都心に近い	2	1.9
商業施設の増加	2	1.9
若年層の増加	2	1.9
佐原2丁目公園と周辺の整備	2	1.9
その他、意見等	16	15.4
集客はあるが、定住促進はない・難しい・施策がつながるか疑問	6	5.8
交通が不便、観光施設が遠い、まだアイディアはあるなど	5	4.8
	104	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
魅力ある商業施設の減少、商店街の衰退、買い物客の市外への流出	19	15.0
施策が不十分、中途半端、方向性が疑問、取り組みが見えない、無計画	18	14.2
集客、観光、イベントなどの施策が不十分、PR不足	(5)	
定住、子育て施策が不十分	(3)	
人口減少、人口流出、高齢化	12	9.4
道路整備が不十分、交通利便性が低い、不便で生活しにくい	11	8.7
魅力的な観光資源や施設、店舗が少ない、土産物に新しさが無い	10	7.9
中心市街地に魅力がなく活気がない、人出が少ない	7	5.5
雇用の減少、企業の減少、産業の衰退、企業誘致が不十分	7	5.5
魅力がない	5	3.9
若年層に魅力あるものがない、若年層を取り込めていない	5	3.9
集客や定住を促す魅力的な都市環境だと思わない	4	3.1
不動産や物価等が高い、観光地価格である	3	2.4
空き家が多い	3	2.4
地域差がある、新住宅地周辺しか環境整備されない	3	2.4
公園、施設等が駅から離れている	2	1.6
他市と比較して魅力がない、劣る	2	1.6
その他、意見等	16	12.6
	127	100.0

「①よくなっている」「②どちらかというとよくなっている」

※（ ）は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
イベント、土産物などの観光事業の充実、観光客の増加	18	28.1
軍港めぐり	(6)	
観光できる自然や施設がある	6	9.4
ヴェルニー公園	(2)	
テレビ、雑誌等メディアで取り上げられることが多い、PR向上	6	9.4
努力が見える	6	9.4
よくなっていると思う	5	7.8
定住や集客、観光に対する市の取り組みの効果が感じられる	5	7.8
道路整備や交通利便性の向上、都市整備、再開発	3	4.7
その他、意見等	9	14.1
結果がついてこない、何かが足りない、PR不足、まだできることがあるなど	6	9.4
	64	100.0

「④どちらかというと悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
魅力ある商業施設の減少、商店街の衰退、買い物客の市外への流出	15	23.1
中心市街地に活気がない、空洞化、寂れている、人出がない	7	10.8
魅力あるまちづくりができていない、施設・建物が古い	6	9.2
歩道・道路整備が不十分、交通利便性が低い、不便で生活しにくい	6	9.2
集客、定住、子育てなどの施策が不十分	4	6.2
雇用の減少、企業の減少、産業の衰退	4	6.2
変わらない、悪化している	4	6.2
人口減少、人口流出、高齢化	4	6.2
空き家・空き地の増加、土地が活用できていない	3	4.6
乱開発、それに伴う自然破壊	2	3.1
その他、意見等	10	15.4
	65	100.0

にぎわいと活力に満ちた都市

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
イベント、軍港めぐり、土産物など観光事業の充実	19	27.5
まちがにぎやか、人が多いなど活気がある	5	7.2
努力は見られる	5	7.2
にぎわいと活力に満ちたまちだと思う	4	5.8
市街地再開発、都市整備等、魅力あるまちづくりが進められている	3	4.3
地域の活性化が図られている	3	4.3
特性を生かした横須賀らしい取り組みが多い	3	4.3
施策の充実、事業内容を見て	2	2.9
魅力的な観光施設がある	2	2.9
佐原2丁目公園の整備	2	2.9
その他、意見等	12	17.4
地域差がある、中心部や商業施設周辺のものにぎわい	4	5.8
魅力に欠ける、施策の方向性が定まっていないなど	5	7.2
	69	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
中心市街地に活気がない、人出がない、空洞化、寂れている	30	20.7
魅力ある商業施設の減少、商店街の衰退、買い物客の市外への流出	25	17.2
にぎわいと活力に満ちたまちだと思わない	15	10.3
人口減少、人口流出、若年層の流出、高齢化	14	9.7
雇用の減少、企業の減少、産業の衰退、企業誘致が不十分	8	5.5
道路整備が不十分、交通利便性が低い、生活しにくい	5	3.4
中心部や商業施設周辺等、一部のものにぎわい	5	3.4
魅力的な観光資源や施設が少ない、アピールできるものがない	4	2.8
他市と比較して劣っている、以前と変わらない	3	2.1
イベントが少ない、集客にかかる施策が不十分	3	2.1
若年層に魅力あるものがない、若年層を取り込めていない	2	1.4
効果が見えない	2	1.4
イベントなど一時的なにぎわい	2	1.4
市街地再開発が遅れている、雑然としている	2	1.4
その他、意見等	21	14.5
閑静でよい、メディアで紹介されている	4	2.8
	145	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
イベント、軍港めぐりなど観光事業の充実、観光客の増加	12	23.5
努力が見える、よくなっていると思う	9	17.6
テレビなどメディアで取り上げられ、知名度が上がった、PR向上	6	11.8
地産池消の取り組みや販売施設の充実	3	5.9
道路等の都市基盤の整備、市街地の整備、再開発	3	5.9
商業施設の増加、産業活性化が図られている	3	5.9
地域の活性化、地域活動が盛んになっている	3	5.9
観光できる施設がある	2	3.9
その他、意見等	6	11.8
都市ブランドは向上しているが、産業活力は向上していない	2	3.9
観光客の増加に道路整備が追いついていない、商店街に魅力がない	2	3.9
	51	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
魅力ある商業施設の減少、商店街の衰退、買い物客の市外への流出	22	27.8
中心市街地に活気がない、空洞化、人出が少ない、寂れている	12	15.2
よくなっていると思わない、にぎわい・活力を感じない、衰退	8	10.1
人口減少、少子高齢化	8	10.1
新しいものが出てこない、イベントの縮小、マンネリ化	4	5.1
施策が不十分、効果が出ていない	3	3.8
魅力的な観光施設が少ない、リピートしたいと思わない	3	3.8
雇用の減少、企業の減少	2	2.5
その他、意見等	17	21.5
	79	100.0

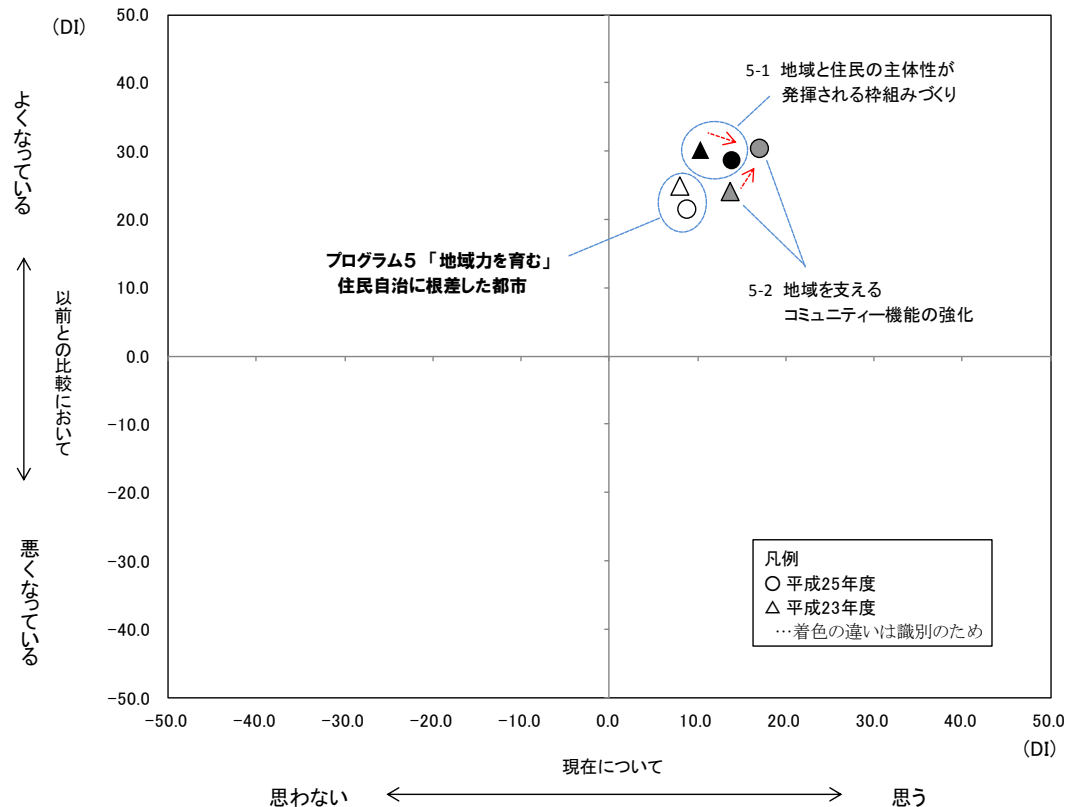
重点プログラム5 『地域力を育む』

～地域と住民の主体性が発揮できる枠組みづくり・

地域を支えるコミュニティ機能の強化～

1 プログラム5「地域力を育む」の傾向

図表Ⅲ－13 重点プログラム5の目的、取り組みの方向性の状況（H25-23 年度比較）



【現在について】

取り組みの方向性・ 実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらとも いえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
(5-1) 地域と住民の主体性が発揮される 枠組みづくり	25年度	578	41.9	30.1	28.0	13.9	3.8	3.6	
	24年度	597	39.9	30.3	29.8	10.1	▲ 0.2		
	23年度	599	40.8	28.7	30.5	10.3	—		
(5-2) 地域を支えるコミュニティ機能の 強化	25年度	591	44.0	28.9	27.1	16.9	9.8	3.3	
	24年度	625	39.8	27.5	32.7	7.1	▲ 6.5		
	23年度	630	42.0	29.5	28.4	13.6	—		
住民自治に根差した都市	25年度	564	37.1	34.6	28.4	8.7	7.6	0.8	
	24年度	602	34.5	32.1	33.4	1.1	▲ 6.8		
	23年度	586	39.6	28.7	31.7	7.9	—		

【以前との比較】

取り組みの方向性・ 実現を目指す都市の姿	調査年度	件数(人)				DI (a)-(b)	前年度比	(ポイント)	
			①よくなっている+ ②どちらかというと よくなっている (a)	③変わって いない	④どちらかというと 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)			25-23年度比	
(5-1) 地域と住民の主体性が発揮される 枠組みづくり	25年度	502	38.0	52.6	9.4	28.6	▲ 0.6	▲ 1.6	
	24年度	514	38.7	51.8	9.5	29.2	▲ 1.0		
	23年度	516	39.1	51.9	8.9	30.2	—		
(5-2) 地域を支えるコミュニティ機能の 強化	25年度	498	41.4	47.8	10.8	30.6	2.1	6.4	
	24年度	532	39.8	48.9	11.3	28.5	4.3		
	23年度	536	36.2	51.9	12.0	24.2	—		
住民自治に根差した都市	25年度	481	31.6	58.4	10.0	21.6	▲ 2.9	▲ 3.4	
	24年度	512	34.4	55.7	9.9	24.5	▲ 0.5		
	23年度	503	35.4	54.3	10.4	25.0	—		

○プログラム5が実現を目指す「住民自治に根差した都市」の状況について、今回調査のDIは、「現在について」「以前との比較」とともにプラスとなっている。特に「以前との比較」では全年度の調査にわたって20ポイントを超えていることから、一応の実感が得られているといえる。また、平成23年度調査との比較では大きな変化はみられない。

現在について			以前との比較		
DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
7.9 → 8.7	0.8	変化なし	25.0 → 21.6	▲ 3.4	大きな変化なし

2 取り組みの方向性の傾向（全体）

（1）5－1 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり

今回調査のDIは、「現在について」「以前との比較」とともにプラスで、一応の実感が得られているといえる。特に「以前との比較」の値は高い状況にある。平成23年度調査との比較では、変化はみられない。

現在について			以前との比較		
DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
10.3 → 13.9	3.6	大きな変化なし	30.2 → 28.6	▲ 1.6	変化なし

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

「自治会、子ども見守り隊、クリーン活動など地域主体活動が盛ん」であることが最も多く挙げられている。また、「地域が活性化している、住民の連係がよい、イベントが多い」など、地域の活気や雰囲気よさが窺える回答がみられる。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

市の施策の不足感のほか、「一部のみ、同じ人みの活動、役員の独壇場」など活動する人の固定化や地域の人間関係の希薄化が窺える回答が多くみられる。

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

ここでも、「自治会、子ども見守り隊、クリーン活動など地域主体活動が盛ん」であることが多く挙げられている。

◆以前との比較「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答数は少ないが、「高齢化による活動の衰退」を指摘する回答が最も多くみられる。

（２）５－２ 地域を支えるコミュニティ機能の強化

今回調査の DI は、５－１と同様、「現在について」「以前との比較」とともにプラスで、一応の実感が得られているといえる。平成 23 年度調査との比較では、上昇もみられており、良好な状況が保たれている。

現在について			以前との比較		
DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
13.6 → 16.9	3.3	大きな 変化なし	24.2 → 30.6	6.4	上昇

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

「自治会、子ども見守り隊、クリーン活動など地域主体活動が盛ん」「地域の連携、交流がよい、イベントが多い」など、５－１と同様に地域の現状を踏まえたものが多く挙げられているほか、「コミュニティセンターの設置、活用」といった活動の場についての回答もみられる。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

市の施策の不足感のほか、「伝わってこない、活動を知らない・知らされない」「非活性、温度が低い、活動の縮小、参加者の減少」など地域活動の現状を挙げる回答が多くみられる。

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというとよくなっている」

ここでも、「自治会、子ども見守り隊、クリーン活動など地域主体活動が盛ん」であることが多く挙げられたほか、「地域の連携、地域力を感じる、意識の向上」など地域の活力や地域住民の積極的な関わりを挙げる声もみられる。

◆以前との比較「④どちらかというと悪くなっている」「⑤悪くなっている」

「高齢化による活動の衰退、若年層の参加が少ない・無関心」など少子高齢化に伴う地域活動の現状を挙げる回答が多く挙げられている。

3 取り組みの方向性の傾向（５－１地域別／５－２年齢別）

（１）５－１ 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり

【調査結果のポイント】

- ・今回調査のDIは、マイナスが続いていた「現在について」の「西」地域がプラスに転じたことで、「現在について」「以前との比較」ともに全地域のDIがプラスとなった。
- ・平成23年度調査との比較では、「現在について」「以前との比較」ともにDIが低下した地域は、「衣笠」地域で、「現在について」では唯一の低下となっている。
- ・一方、「西」地域では「現在について」「以前との比較」ともに上昇しており、値も大きい。

図表Ⅲ－14 ５－１「地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり」の状況（地域別：H25-23年度比較）

【現在について】

居住地域	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う＋②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない＋ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
追浜・田浦	25年度	68	45.6	29.4	25.0	20.6	17.2	7.9	
	24年度	59	37.3	28.8	33.9	3.4	▲ 9.3		
	23年度	63	41.3	30.2	28.6	12.7	—		
本庁・逸見	25年度	90	45.6	23.3	31.1	14.5	7.2	1.0	
	24年度	109	36.7	33.9	29.4	7.3	▲ 6.2		
	23年度	111	41.4	30.6	27.9	13.5	—		
衣笠	25年度	83	32.5	37.3	30.1	2.4	0.1	▲ 6.6	
	24年度	87	36.8	28.7	34.5	2.3	▲ 6.7		
	23年度	100	40.0	29.0	31.0	9.0	—		
大津・浦賀	25年度	132	41.7	31.8	26.5	15.2	▲ 18.8	3.0	
	24年度	135	53.3	27.4	19.3	34.0	21.8		
	23年度	139	40.3	31.7	28.1	12.2	—		
久里浜・北下浦	25年度	129	45.0	25.6	29.5	15.5	9.7	1.7	
	24年度	137	36.5	32.8	30.7	5.8	▲ 8.0		
	23年度	116	46.6	20.7	32.8	13.8	—		
西	25年度	62	40.3	35.5	24.2	16.1	27.6	27.6	
	24年度	52	30.8	26.9	42.3	▲ 11.5	0.0		
	23年度	61	29.5	29.5	41.0	▲ 11.5	—		

【以前との比較】

居住地域	調査年度	件数(人)				DI (a)-(b)	前年度比	(ポイント)	
			①よくなっている＋ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている＋ ⑤悪くなっている (b)			25-23年度比	
追浜・田浦	25年度	61	36.1	55.7	8.2	27.9	▲ 8.7	▲ 2.7	
	24年度	52	38.5	59.6	1.9	36.6	6.0		
	23年度	49	40.8	49.0	10.2	30.6	—		
本庁・逸見	25年度	74	43.2	47.3	9.5	33.7	10.1	2.1	
	24年度	93	34.4	54.8	10.8	23.6	▲ 8.0		
	23年度	95	37.9	55.8	6.3	31.6	—		
衣笠	25年度	71	26.8	57.7	15.5	11.3	▲ 13.0	▲ 12.9	
	24年度	78	39.7	44.9	15.4	24.3	0.1		
	23年度	91	36.3	51.6	12.1	24.2	—		
大津・浦賀	25年度	119	43.7	49.6	6.7	37.0	▲ 3.5	1.0	
	24年度	116	47.4	45.7	6.9	40.5	4.5		
	23年度	125	44.0	48.0	8.0	36.0	—		
久里浜・北下浦	25年度	111	34.2	56.8	9.0	25.2	▲ 6.1	▲ 8.5	
	24年度	112	40.2	50.9	8.9	31.3	▲ 2.4		
	23年度	98	39.8	54.1	6.1	33.7	—		
西	25年度	54	40.7	53.7	5.6	35.1	24.9	17.3	
	24年度	49	24.5	61.2	14.3	10.2	▲ 7.6		
	23年度	51	33.4	51.0	15.6	17.8	—		

居住地域	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
追浜・田浦	12.7 → 20.6	7.9	上昇	30.6 → 27.9	▲ 2.7	変化なし
本庁・逸見	13.5 → 14.5	1.0	変化なし	31.6 → 33.7	2.1	変化なし
衣笠	9.0 → 2.4	▲ 6.6	低下	24.2 → 11.3	▲ 12.9	大幅に低下
大津・浦賀	12.2 → 15.2	3.0	大きな 変化なし	36.0 → 37.0	1.0	変化なし
久里浜・北下浦	13.8 → 15.5	1.7	変化なし	33.7 → 25.2	▲ 8.5	低下
西	▲ 11.5 → 16.1	27.6	大幅に上昇	17.8 → 35.1	17.3	大幅に上昇

(2) 5-2 地域を支えるコミュニティ機能の強化

【調査結果のポイント】

- ・今回調査の DI は、全ての年齢層で「現在について」「以前との比較」とともにプラスで、実感が得られているといえる。
- ・特に高齢層の実感が高いが、そのほか「30 歳代」で比較的高い値となっている。
- ・平成 23 年度調査との比較では、「現在について」で「50 歳代」「60 歳代」の値に低下がみられるが、「以前との比較」では全ての年齢層でプラスで、実感が保たれているといえる。

図表Ⅲ-15 5-2 「地域を支えるコミュニティ機能の強化」の状況（年齢別：H25-23 年度比較）

【現在について】

年齢階層	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
29歳以下	25年度	56	42.9	28.6	28.6	14.3	12.8	2.8	
	24年度	66	37.9	25.8	36.4	1.5	▲ 10.0		
	23年度	70	42.9	25.7	31.4	11.5	—		
30歳代	25年度	66	43.9	36.4	19.7	24.2	40.6	19.2	
	24年度	67	25.4	32.8	41.8	▲ 16.4	▲ 21.4		
	23年度	81	40.8	23.5	35.8	5.0	—		
40歳代	25年度	84	39.3	28.6	32.1	7.2	▲ 3.0	2.0	
	24年度	98	40.8	28.6	30.6	10.2	5.0		
	23年度	98	37.8	29.6	32.6	5.2	—		
50歳代	25年度	104	36.5	32.7	30.8	5.7	▲ 7.6	▲ 8.1	
	24年度	113	40.7	31.9	27.4	13.3	▲ 0.5		
	23年度	116	40.5	32.8	26.7	13.8	—		
60歳代	25年度	149	43.6	25.5	30.9	12.7	▲ 1.3	▲ 9.1	
	24年度	136	41.2	31.6	27.2	14.0	▲ 7.8		
	23年度	128	44.5	32.8	22.7	21.8	—		
70歳以上	25年度	119	52.9	26.9	20.2	32.7	22.4	13.9	
	24年度	126	46.8	16.7	36.5	10.3	▲ 8.5		
	23年度	127	44.8	29.1	26.0	18.8	—		

【以前との比較】

年齢階層	調査年度	件数(人)				DI (a)-(b)	前年度比	(ポイント)	
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)			25-23年度比	
29歳以下	25年度	38	39.5	34.2	26.3	13.2	▲ 7.2	1.9	
	24年度	44	31.8	56.8	11.4	20.4	9.1		
	23年度	44	29.5	52.3	18.2	11.3	—		
30歳代	25年度	47	36.2	55.3	8.5	27.7	25.6	12.3	
	24年度	47	25.5	51.1	23.4	2.1	▲ 13.3		
	23年度	65	32.3	50.8	16.9	15.4	—		
40歳代	25年度	66	27.3	60.6	12.1	15.2	▲ 2.7	0.4	
	24年度	78	34.6	48.7	16.7	17.9	3.1		
	23年度	81	28.4	58.0	13.6	14.8	—		
50歳代	25年度	91	29.7	60.4	9.9	19.8	▲ 15.2	5.9	
	24年度	100	43.0	49.0	8.0	35.0	21.1		
	23年度	101	26.8	60.4	12.9	13.9	—		
60歳代	25年度	134	47.8	44.0	8.2	39.6	4.2	10.3	
	24年度	127	41.7	52.0	6.3	35.4	6.1		
	23年度	123	41.5	46.3	12.2	29.3	—		
70歳以上	25年度	111	53.2	38.7	8.1	45.1	10.1	0.7	
	24年度	120	46.7	41.7	11.7	35.0	▲ 9.4		
	23年度	115	49.6	45.2	5.2	44.4	—		

年齢階層	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
29歳以下	11.5 → 14.3	2.8	変化なし	11.3 → 13.2	1.9	変化なし
30歳代	5.0 → 24.2	19.2	大幅に上昇	15.4 → 27.7	12.3	大幅に上昇
40歳代	5.2 → 7.2	2.0	変化なし	14.8 → 15.2	0.4	変化なし
50歳代	13.8 → 5.7	▲ 8.1	低下	13.9 → 19.8	5.9	上昇
60歳代	21.8 → 12.7	▲ 9.1	低下	29.3 → 39.6	10.3	大幅に上昇
70歳以上	18.8 → 32.7	13.9	大幅に上昇	44.4 → 45.1	0.7	変化なし

4 回答理由分類

5-1 地域と住民の主体性が発揮される仕組みづくり

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
自治会、子ども見守り隊、クリーン活動など地域主体活動が盛ん	58	61.7
地域が活性化している、住民の連係がよい、イベントが多い	8	8.5
進められていると思う	7	7.4
施策の充実、事業内容を見て	3	3.2
市民団体や活動する人の増加	2	2.1
その他、意見等	11	11.7
市民の反応がよくない、高齢化で先行き不安、地域差があるなど	5	5.3
	94	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
施策が不十分、PR不足、施策の内容が疑問	11	19.0
一部のみ、同じ人のみの活動、役員の独壇場	9	15.5
地域住民の連携不足、他者との関わりが希薄、無関心な人が多い	7	12.1
高齢化による活動の衰退、若年層が無関心・参加が少ない	6	10.3
伝わってこない、呼びかけがない、活動を知らない	6	10.3
仕組みづくりが進められていると思わない	4	6.9
自分のことしか考えていない	3	5.2
自治会が非活性、温度が低い	2	3.4
住民の主体性を感じない、地域差がある	2	3.4
新旧地域住民の調和がない、排他的	2	3.4
市の責任感が薄い、市民の声が市政に反映されない	2	3.4
その他、意見等	4	6.9
	58	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
自治会、子ども見守り隊、クリーン活動など地域主体活動が盛ん	17	36.2
よくなっていると思う	8	17.0
地域が活性化している、住民の連係がよい、イベントが多い	5	10.6
地域に参加する人の増加、意識の向上	3	6.4
施策の充実	2	4.3
市民団体や活動する人の増加	2	4.3
その他、意見等	6	12.8
市民の反応が鈍い、地域に依存している、活動の努力と成果が比例しないなど	4	8.5
	47	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
高齢化による活動の衰退	5	26.3
地域住民の連携不足、他者との関わりが希薄、参加者が少ない	4	21.1
市の取り組み姿勢が弱い、市の責任感が薄い	3	15.8
よくなっていると思わない	2	10.5
新旧地域住民の調和がない、排他的	2	10.5
その他、意見等	3	15.8
	19	100.0

５－２ 地域を支えるコミュニティ機能の強化

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
自治会、子ども見守り隊、クリーン活動など地域主体活動が盛ん	24	35.3
地域の連携、交流がよい、イベントが多い	10	14.7
コミュニティセンターの設置、活用	8	11.8
地域を支えるコミュニティ機能が強化されていると思う	4	5.9
地域に参加者する人の増加、意識の向上	3	4.4
施策の充実、事業内容を見て	2	2.9
その他、意見等	12	17.6
負担になっている、壁がある、地域差がある、一部の人のみの活動	5	7.4
	68	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
施策が不十分、施策の内容が疑問、PR不足	8	15.1
伝わってこない、活動を知らない・知らされない	7	13.2
非活性、温度が低い、活動の縮小、参加者の減少	7	13.2
地域住民の連携不足、他者との関わりが希薄、無関心、非協力	5	9.4
一部の人のみ、同じ人のみ、役員のための活動	4	7.5
高齢化による活動の衰退、若年層の参加が少ない	4	7.5
進められていると思わない、後退	4	7.5
自分のことしか考えていない	2	3.8
新旧地域住民の調和がない、排他的	2	3.8
その他、意見等	10	18.9
	53	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
自治会、子ども見守り隊、クリーン活動など地域主体活動が盛ん	11	25.0
地域の連携、地域力を感じる、意識の向上	6	13.6
コミュニティセンターの設置、活用、施設の充実	4	9.1
よくなっていると思う	4	9.1
施策の充実	3	6.8
市民団体や活動する人の増加	3	6.8
コミュニティーの増加、確立	2	4.5
その他、意見等	6	13.6
施設までの交通手段がない、一部の人のみの活動、住民意識は低いなど	5	11.4
	44	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
高齢化による活動の衰退、若年層の参加が少ない・無関心	6	28.6
施策が不十分、PR不足	4	19.0
地域住民の連携不足、他者との関わりが希薄、無関心	3	14.3
コミュニティーの減少、	2	9.5
進められていると思わない、後退	2	9.5
その他、意見等	4	19.0
	21	100.0

住民自治に根差した都市

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
自治会、子ども見守り隊、クリーン活動など地域主体活動が盛ん	26	42.6
地域の連携、交流がよい、イベントが多い	9	14.8
住民自治に根差したまちだと思ふ	7	11.5
施策の充実、事業内容を見て	3	4.9
その他、意見等	10	16.4
施策が不十分、市の取り組みが遅い、新旧地域住民の調和がないなど	6	9.8
	61	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
住民の意見が市政に反映されない、意味がない	8	15.4
施策が不十分、PR不足、取り組みを知らない	7	13.5
高齢化	7	13.5
住民自治に根差したまちだと思わない、後退	3	5.8
非活性、参加者の減少	3	5.8
一部の人のみ、同じ人のみ、役員のみ活動	3	5.8
地域差がある、地域にとどまり市全体に広がらない	3	5.8
地域住民の関わりが希薄、無関心、地域・市とのつながりが希薄	3	5.8
活動を知らない、仕組みが分からない	2	3.8
その他、意見等	13	25.0
	52	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
よくなっていると思う、成果が見える	7	21.9
自治会、子ども見守り隊など地域主体活動が盛ん	6	18.8
地域活動に参加者する人の増加、意識の向上	4	12.5
イベントが多い	2	6.3
地域の活性化が図れている、充実している	2	6.3
その他、意見等	9	28.1
若年層は参加方法を知らない、もう少し活動がほしい	2	6.3
	32	100.0

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

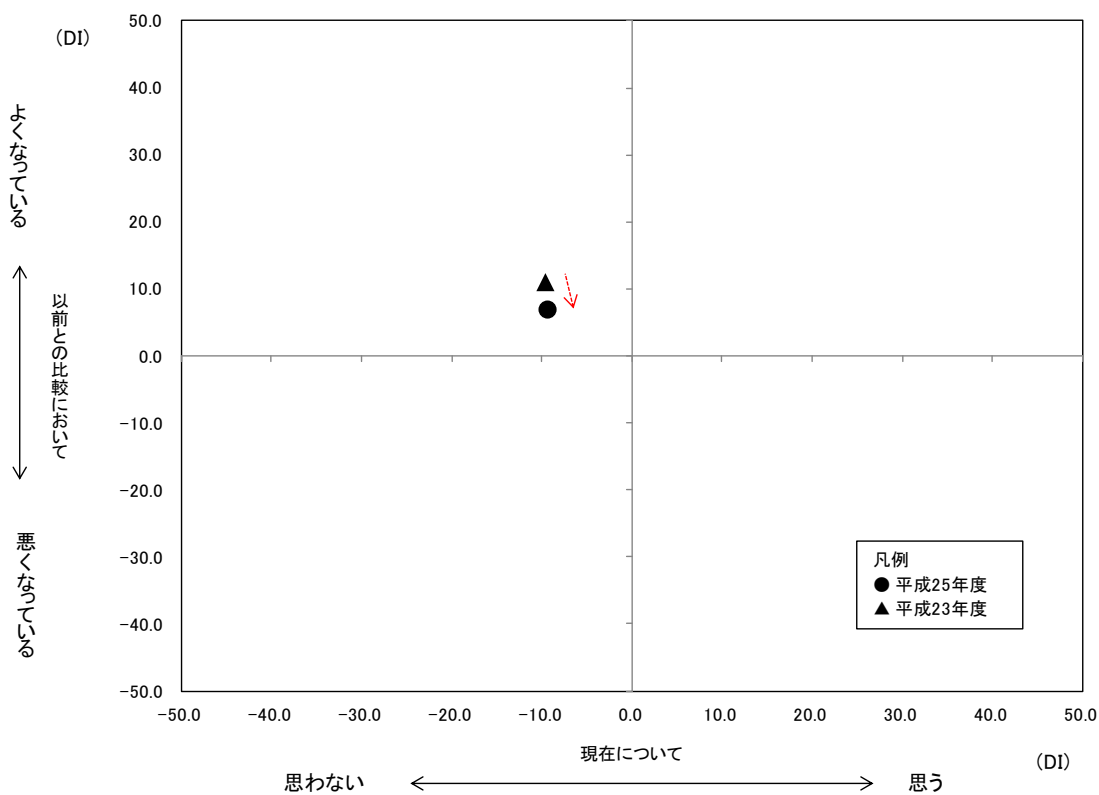
回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
高齢化による活動の衰退、若年層の地元への意識が低い	5	20.8
非活性、活動の縮小、参加者の減少、一部のみの活動	5	20.8
新旧住民の調和がない、排他的	4	16.7
地域住民の連携不足、他者との関わりが希薄、関わりたがらない	3	12.5
伝わってこない、呼びかけがない、活動を知らない	2	8.3
地域力の衰退、解決・対応が難しい課題の増加	2	8.3
その他、意見等	3	12.5
	24	100.0

Ⅳ 持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）について

重点プログラムの狙いである「人口減少や少子高齢化などの厳しい状況下においても、着実に成長できるための都市力（都市の魅力）を備えているまち」に対しての実感を尋ねた。

1 持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまちの傾向（全体）

図表Ⅳ－１ 「持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまち」の状況（H25-23 年度比較）



【現在について】

調査年度	件数(人)									(ポイント)	
		①思う	②やや思う	③どちらとも いえない	④あまり 思わない	⑤思わない	①+② (a)	④+⑤ (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比
25年度	630	11.1	20.3	27.8	24.4	16.3	31.4	40.8	▲ 9.4	3.7	0.2
24年度	671	11.2	19.2	26.1	26.2	17.3	30.4	43.5	▲ 13.1	▲ 3.5	
23年度	676	12.1	19.4	27.4	24.4	16.7	31.5	41.1	▲ 9.6	—	

【以前との比較】

調査年度	件数(人)									(ポイント)	
		①よくなって いる	②どちらかとい うとよくなって いる	③変わって いない	④どちらかとい うと悪くなって いる	⑤悪くなって いる	①+② (a)	④+⑤ (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比
25年度	550	7.3	23.3	45.8	14.9	8.7	30.5	23.6	6.9	▲ 0.4	▲ 4.1
24年度	561	6.4	23.5	47.4	14.1	8.6	29.9	22.6	7.3	▲ 3.7	
23年度	578	8.0	23.4	48.3	11.9	8.5	31.4	20.4	11.0	—	

○今回調査のDIは、「現在について」で10ポイント近くのマイナスとなっている。

平成23年度調査との比較では、変化が小さいものの、「以前との比較」のDIが下がっている。

現在について			以前との比較		
DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
▲ 9.6 → ▲ 9.4	0.2	変化なし	11.0 → 6.9	▲ 4.1	大きな変化なし

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

「豊かな自然環境、温暖な気候、景観がよい」など本市の特性や、市の施策の充実、「都市力を備えたまちだと思う、可能性や魅力がある、成長している」という横須賀の都市力や今後の発展可能性を挙げた回答が多く、そのほか、「都心、横浜などに近い」「基地など他にはない魅力を活用した観光産業、知名度、ブランド力」なども多く挙げられている。

◆現在について「①あまり思わない」「②思わない」

「施策が不十分、見えない、効果が不明、方向性が疑問」といった市の取り組みに対する意見が多く挙げられたほか、「人口減少、少子高齢化、子育て世代の流出、子どもが増えない」「雇用の減少、企業の減少、産業の衰退、企業誘致が不十分」など全設問を通じて指摘のある、人口減少、少子高齢化、雇用の減少、企業の減少が多く挙げられている。

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというとよくなっている」

市の施策の充実のほか、「よくなっている、魅力がある、活気がある」「公園、道路、交通網などの都市基盤の整備」「開発が進んでいる、住民・若年層の増加」などが挙げられている。

◆以前との比較「④どちらかというと悪くなっている」「⑤悪くなっている」

「人口減少、少子高齢化、子どもが増えない」が多く挙げられているほか、上記と同様に「施策が不十分、遅い、効果が不明、努力しているように見えない」といった市の取り組みに対する意見、雇用の減少、企業の減少、また「中心市街地に活気がない、人出が少ない、衰退」などの回答も挙げられている。

2 持続可能な発展を遂げる都市力(都市の魅力)を備えているまちの傾向(属性別)

(1) 男女別

- ・「現在について」の今回調査のDIは「男性」「女性」とともにマイナスとなっている。特に「女性」は10ポイントを超えるマイナスで、平成23年度調査との比較でも大きな変化がなく、実感を得られていない状況が続いている。
- ・一方、「以前との比較」では、「男性」「女性」とともにプラスとなったものの、平成23年度調査との比較では「女性」に低下がみられる。
- ・過去の調査では、「現在について」「以前との比較」とともに、DIは男女間に2倍程度の開きがあったが、今回調査ではいずれもほとんど差がない状況となっている。

図表Ⅳ－3 「持続可能な発展を遂げる都市力(都市の魅力)を備えているまち」の状況(男女別：H25-23年度比較)

【現在について】

性別	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
男性	25年度	273	31.1	29.7	39.2	▲ 8.1	5.7	6.4	
	24年度	276	31.5	23.2	45.3	▲ 13.8	0.7		
	23年度	269	30.1	25.3	44.6	▲ 14.5	—		
女性	25年度	345	31.6	26.4	42.0	▲ 10.4	2.4	▲ 3.7	
	24年度	376	29.5	28.2	42.3	▲ 12.8	▲ 6.1		
	23年度	396	32.4	28.5	39.1	▲ 6.7	—		

【以前との比較】

性別	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
男性	25年度	241	29.0	48.5	22.4	6.6	5.7	0.1	
	24年度	238	24.4	52.1	23.5	0.9	▲ 5.6		
	23年度	232	28.5	49.6	22.0	6.5	—		
女性	25年度	299	31.8	43.8	24.4	7.4	▲ 5.0	▲ 5.9	
	24年度	307	34.5	43.3	22.1	12.4	▲ 0.9		
	23年度	338	33.1	47.0	19.8	13.3	—		

性別	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
男性	▲ 14.5 → ▲ 8.1	6.4	上昇	6.5 → 6.6	0.1	変化なし
女性	▲ 6.7 → ▲ 10.4	▲ 3.7	大きな 変化なし	13.3 → 7.4	▲ 5.9	低下

(2) 年齢別

- ・今回調査で、「現在について」のDIがプラスとなったのは「30歳代」「70歳以上」のみである。一方、「以前との比較」では、唯一「29歳以下」のDIがマイナスとなった。
- ・平成23年度調査との比較では、「29歳以下」で、「現在について」「以前との比較」のいずれも大幅な低下となっており、若年層からの実感が得られていない。

図表Ⅳ－４ 「持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまち」の状況（年齢別：H25-23年度比較）

【現在について】

年齢階層	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
29歳以下	25年度	68	30.9	23.5	45.6	▲ 14.7	▲ 0.7	▲ 17.3	
	24年度	79	31.6	22.8	45.6	▲ 14.0	▲ 16.6		
	23年度	77	39.0	24.7	36.4	2.6	—		
30歳代	25年度	75	38.7	29.3	32.0	6.7	31.3	6.7	
	24年度	77	27.3	20.8	51.9	▲ 24.6	▲ 24.6		
	23年度	94	36.1	27.7	36.1	0.0	—		
40歳代	25年度	87	23.0	23.0	54.0	▲ 31.0	2.4	▲ 8.8	
	24年度	111	19.8	27.0	53.2	▲ 33.4	▲ 11.2		
	23年度	108	25.9	25.9	48.1	▲ 22.2	—		
50歳代	25年度	124	27.4	29.8	42.7	▲ 15.3	▲ 4.7	11.4	
	24年度	122	32.0	25.4	42.6	▲ 10.6	16.1		
	23年度	120	20.8	31.7	47.5	▲ 26.7	—		
60歳代	25年度	146	32.2	29.5	38.4	▲ 6.2	▲ 4.7	2.2	
	24年度	131	35.9	26.7	37.4	▲ 1.5	6.9		
	23年度	132	34.1	23.5	42.5	▲ 8.4	—		
70歳以上	25年度	118	36.4	28.8	34.7	1.7	5.4	1.7	
	24年度	133	33.1	30.1	36.8	▲ 3.7	▲ 3.7		
	23年度	133	35.3	29.3	35.3	0.0	—		

【以前との比較】

年齢階層	調査年度	件数(人)				DI (a)-(b)	前年度比	(ポイント)	
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)			25-23年度比	
29歳以下	25年度	43	23.3	48.8	27.9	▲ 4.6	▲ 4.6	▲ 26.5	
	24年度	46	23.9	52.2	23.9	0.0	▲ 21.9		
	23年度	55	36.4	49.1	14.5	21.9	—		
30歳代	25年度	66	33.3	45.5	21.2	12.1	14.0	▲ 5.3	
	24年度	55	23.6	50.9	25.5	▲ 1.9	▲ 19.3		
	23年度	75	36.0	45.3	18.6	17.4	—		
40歳代	25年度	72	25.0	51.4	23.6	1.4	2.5	6.9	
	24年度	92	23.9	51.1	25.0	▲ 1.1	4.4		
	23年度	91	20.9	52.7	26.4	▲ 5.5	—		
50歳代	25年度	110	28.2	47.3	24.5	3.7	▲ 8.3	2.7	
	24年度	109	34.9	42.2	22.9	12.0	11.0		
	23年度	106	24.6	51.9	23.6	1.0	—		
60歳代	25年度	136	29.4	47.1	23.5	5.9	▲ 7.1	▲ 3.2	
	24年度	123	34.1	44.7	21.1	13.0	3.9		
	23年度	121	32.2	44.6	23.1	9.1	—		
70歳以上	25年度	113	38.9	38.9	22.1	16.8	6.9	▲ 6.4	
	24年度	121	31.4	47.1	21.5	9.9	▲ 13.3		
	23年度	121	38.9	45.5	15.7	23.2	—		

年齢階層	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
29歳以下	2.6 → ▲ 14.7	▲ 17.3	大幅に低下	21.9 → ▲ 4.6	▲ 26.5	大幅に低下
30歳代	0.0 → 6.7	6.7	上昇	17.4 → 12.1	▲ 5.3	低下
40歳代	▲ 22.2 → ▲ 31.0	▲ 8.8	低下	▲ 5.5 → 1.4	6.9	上昇
50歳代	▲ 26.7 → ▲ 15.3	11.4	大幅に上昇	1.0 → 3.7	2.7	変化なし
60歳代	▲ 8.4 → ▲ 6.2	2.2	変化なし	9.1 → 5.9	▲ 3.2	大きな 変化なし
70歳以上	0.0 → 1.7	1.7	変化なし	23.2 → 16.8	▲ 6.4	低下

(3) 地域別

- ・今回調査の「現在について」の DI は、「大津・浦賀」地域がマイナスに転じたことにより全ての地域でマイナスとなった。
- ・一方、「以前との比較」で DI がマイナスとなったのは「西」地域のみである。ほかの地域は全年度プラスの地域が多い状況にある。
- ・平成 23 年度調査との比較では、「現在について」「以前との比較」ともに差がプラスとなったのは「衣笠」地域のみとなった。「衣笠」地域では特に「現在について」で大幅な上昇となっている。
- ・一方、「追浜・田浦」地域で「現在について」「以前との比較」ともに大幅な低下となっており、実感に地域差がみられる。

図表Ⅳ－５ 「持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまち」の状況（地域別：H25-23 年度比較）

【現在について】

居住地域	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う＋②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない＋ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
追浜・田浦	25年度	72	25.0	31.9	43.1	▲ 18.1	11.8	▲ 22.3	
	24年度	67	19.4	31.3	49.3	▲ 29.9	▲ 34.1		
	23年度	72	38.9	26.4	34.7	4.2	—		
本庁・逸見	25年度	93	29.0	26.9	44.1	▲ 15.1	2.6	▲ 1.5	
	24年度	130	30.8	20.8	48.5	▲ 17.7	▲ 4.1		
	23年度	125	30.4	25.6	44.0	▲ 13.6	—		
衣笠	25年度	92	28.3	25.0	46.7	▲ 18.4	▲ 6.7	12.4	
	24年度	102	32.4	23.5	44.1	▲ 11.7	19.1		
	23年度	104	24.0	21.2	54.8	▲ 30.8	—		
大津・浦賀	25年度	147	36.1	23.8	40.1	▲ 4.0	▲ 4.7	▲ 4.0	
	24年度	146	36.3	28.1	35.6	0.7	0.7		
	23年度	159	34.0	32.1	34.0	0.0	—		
久里浜・北下浦	25年度	140	32.9	30.0	37.1	▲ 4.2	6.2	2.8	
	24年度	154	31.8	26.0	42.2	▲ 10.4	▲ 3.4		
	23年度	130	31.5	30.0	38.5	▲ 7.0	—		
西	25年度	73	32.9	32.9	34.2	▲ 1.3	29.5	13.4	
	24年度	52	19.2	30.8	50.0	▲ 30.8	▲ 16.1		
	23年度	75	30.7	24.0	45.4	▲ 14.7	—		

【以前との比較】

居住地域	調査年度	件数(人)				DI (a)-(b)	前年度比	(ポイント)	
			①よくなっている＋ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている＋ ⑤悪くなっている (b)			25-23年度比	
追浜・田浦	25年度	64	31.3	56.3	12.5	18.8	4.5	▲ 14.5	
	24年度	56	28.6	57.1	14.3	14.3	▲ 19.0		
	23年度	60	43.3	46.7	10.0	33.3	—		
本庁・逸見	25年度	80	31.3	45.0	23.8	7.5	4.8	▲ 2.9	
	24年度	113	29.2	44.2	26.5	2.7	▲ 7.7		
	23年度	106	30.2	50.0	19.8	10.4	—		
衣笠	25年度	81	25.9	51.9	22.2	3.7	▲ 3.8	4.8	
	24年度	80	30.0	47.5	22.5	7.5	8.6		
	23年度	91	25.3	48.4	26.4	▲ 1.1	—		
大津・浦賀	25年度	130	33.1	43.1	23.8	9.3	2.2	▲ 4.2	
	24年度	127	29.1	48.8	22.0	7.1	▲ 6.4		
	23年度	141	31.2	51.1	17.7	13.5	—		
久里浜・北下浦	25年度	121	32.2	43.0	24.8	7.4	▲ 6.3	▲ 1.9	
	24年度	124	33.1	47.6	19.4	13.7	4.4		
	23年度	108	34.3	40.7	25.0	9.3	—		
西	25年度	63	27.0	41.3	31.7	▲ 4.7	2.2	▲ 6.3	
	24年度	44	29.5	34.1	36.4	▲ 6.9	▲ 8.5		
	23年度	64	25.0	51.6	23.4	1.6	—		

居住地域	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況	DIの推移 (23年度 → 25年度)	年度差	状況
追浜・田浦	4.2 → ▲ 18.1	▲ 22.3	大幅に低下	33.3 → 18.8	▲ 14.5	大幅に低下
本庁・逸見	▲ 13.6 → ▲ 15.1	▲ 1.5	変化なし	10.4 → 7.5	▲ 2.9	変化なし
衣笠	▲ 30.8 → ▲ 18.4	12.4	大幅に上昇	▲ 1.1 → 3.7	4.8	大きな 変化なし
大津・浦賀	0.0 → ▲ 4.0	▲ 4.0	大きな 変化なし	13.5 → 9.3	▲ 4.2	大きな 変化なし
久里浜・北下浦	▲ 7.0 → ▲ 4.2	2.8	変化なし	9.3 → 7.4	▲ 1.9	変化なし
西	▲ 14.7 → ▲ 1.3	13.4	大幅に上昇	1.6 → ▲ 4.7	▲ 6.3	低下

3 回答理由分類

持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまち

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

※（ ）は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
豊かな自然環境、温暖な気候、景観がよい	14	13.1
施策の充実、努力が窺える	13	12.1
病院など医療体制の充実	(2)	
商業施設の充実	(2)	
地産地消の取り組みの充実	(1)	
子育て施策の充実	(1)	
都市力を備えたまちだと思う、可能性や魅力がある、成長している	12	11.2
都心、横浜などに近い	10	9.3
基地など他にはない魅力を活用した観光産業、知名度、ブランド力	8	7.5
住みやすい、市内で満足できる	5	4.7
歴史、豊富な文化資産	5	4.7
開発が進んでいる、子どもや若年層の増加	4	3.7
人口が多い、市内の定住率が高いと思う、横須賀への移住希望を耳にする	4	3.7
農水産業が盛ん、産業技術の発展	2	1.9
住民自治や住民の市政への参加	2	1.9
自然と触れ合う施設、運動・レジャー施設等がある	2	1.9
その他、意見等	24	22.4
施策に他市と異なる特徴がない、婚活イベントがない・知らない	2	1.9
	107	100.0

「④あまり思わない」「⑤思わない」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
施策が不十分、見えない、効果が不明、方向性が疑問	25	19.8
出産、子育て施策や助成が不十分、子育てしにくい	(4)	
高齢者・障害者など福祉施策が不十分、遅い	(4)	
病院など医療体制が不十分	(2)	
定住施策が不十分、定住したいと思わない	(2)	
観光客を迎え入れる対策がない、施設の点在	(2)	
教育環境が不十分（教員が弱い）	(1)	
人口減少、少子高齢化、子育て世代の流出、子どもが増えない	15	11.9
雇用の減少、企業の減少、産業の衰退、企業誘致が不十分	12	9.5
商業施設の減少、商店街の空き店舗の増加、買い物の利便性が低い	9	7.1
交通利便性の低さ・一方通行性、陸の孤島、それらの改善意識がない	7	5.6
魅力がない、他市と比較して劣る	7	5.6
都市力を備えたまちだと思わない、成長がない、発展性がない	6	4.8
中心市街地に活気がない、雰囲気がよくない、人出が少ない、衰退	6	4.8
横須賀を代表するものがない、都市間競争に勝てる特色がない、他市の真似	4	3.2
山、坂、狭い道が多く道路整備が不十分、不便で生活しにくい、空き家が多い	3	2.4
財政難	2	1.6
情報提供やPR不足、発信力が弱い	2	1.6
基地、原子力関連施設、他国からの攻撃による不安	2	1.6
その他、意見等	26	20.6
	126	100.0

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

※（ ）は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
施策の充実、努力が窺える	7	17.1
地産地消の取り組みの充実	(1)	
福祉施策の充実	(1)	
よくなっている、魅力がある、活気がある	5	12.2
公園、道路、交通網などの都市基盤の整備	3	7.3
開発が進んでいる、住民・若年層の増加	3	7.3
P R 向上、テレビ等での露出の増加	2	4.9
豊かな自然環境	2	4.9
その他、意見等	15	36.6
施策の持続性がない、他市と比較して劣る、情報発信が不十分など	4	9.8
	41	82.9

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
人口減少、少子高齢化、子どもが増えない	12	18.5
施策が不十分、遅い、効果が不明、努力しているように見えない	10	15.4
出産、子育て施策や助成が不十分、子育てしにくい	(1)	
高齢者・障害者など福祉施策が不十分	(3)	
産科、病院など医療体制が不十分	(1)	
雇用の減少、企業の減少、産業の衰退、企業誘致が不十分	8	12.3
よくなっていると思わない、潜在力がない、悪化・衰退	5	7.7
中心市街地に活気がない、人出が少ない、衰退	5	7.7
商業施設の減少、商店街の空き店舗の増加、買い物の利便性が低い	4	6.2
山が多く道路整備が不十分、空き家が多い	4	6.2
魅力がない、他市と比較して劣る	2	3.1
その他、意見等	15	23.1
	65	100.0

V 持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）

ー 優先して取り組むべき政策について ー

「人口減少や少子高齢化などの厳しい状況下においても、横須賀が着実に成長できるために、今後、市はどのような政策に優先して取り組むべきか」について、重点プログラムを構成する 10 項目の取り組みの方向性と「その他」の選択肢を設け尋ねた。

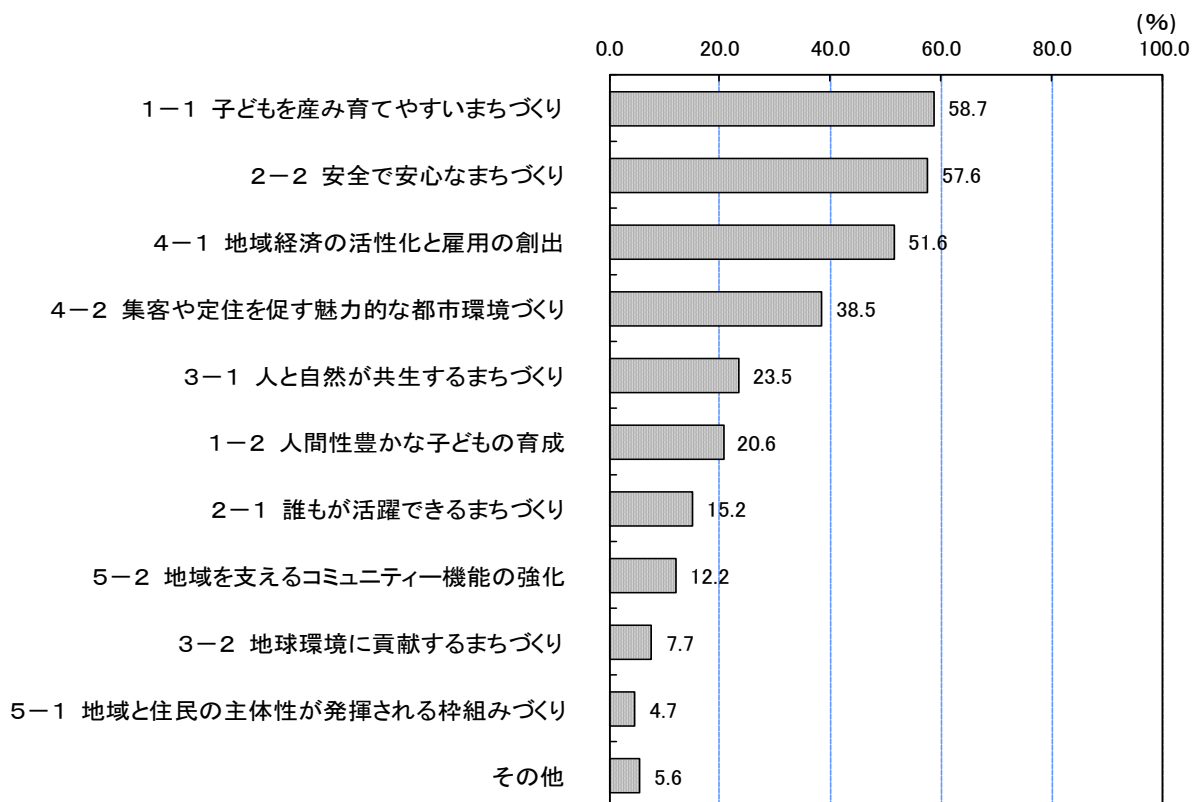
（複数回答 3 つまで）

1 優先して取り組むべき政策の傾向（全体）

（1）25 年度調査結果

- ・「1－1 子どもを産み育てやすいまちづくり」(58.7%) が最も高く、ほぼ同じ値で「2－2 安全で安心なまちづくり」(57.6%)、次に「4－1 地域経済の活性化と雇用の創出」(51.6%) が選択されている。
- ・選択順位別でも、1 番目の項目として「子どもを産み育てやすいまちづくり」が最も多く選択されている。その値は次に多い「安全で安心なまちづくり」より 15 ポイント高く、突出している。

図表 V－1 「優先して取り組むべき政策」



注）その他には、市への個別具体的な要望等が多く含まれている

図表 V-2 「優先して取り組むべき政策」(選択順位別)

プログラムおよび取り組みの方向性(順位別)		全体		1 番目		2 番目		3 番目	
		件数(人)	回答割合(%)	件数(人)	回答割合(%)	件数(人)	回答割合(%)	件数(人)	回答割合(%)
プログラム1	(1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	410	58.7	252	36.1	90	13.1	68	10.0
	(1-2) 人間性豊かな子どもの育成	144	20.6	52	7.4	57	8.3	35	5.1
プログラム2	(2-1) 誰もが活躍できるまちづくり	106	15.2	27	3.9	45	6.5	34	5.0
	(2-2) 安全で安心なまちづくり	402	57.6	147	21.1	178	25.9	77	11.3
プログラム3	(3-1) 人と自然が共生するまちづくり	164	23.5	26	3.7	68	9.9	70	10.3
	(3-2) 地球環境に貢献するまちづくり	54	7.7	5	0.7	21	3.1	28	4.1
プログラム4	(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	360	51.6	122	17.5	119	17.3	119	17.5
	(4-2) 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	269	38.5	38	5.4	77	11.2	154	22.6
プログラム5	(5-1) 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	33	4.7	4	0.6	9	1.3	20	2.9
	(5-2) 地域を支えるコミュニティ機能の強化	85	12.2	11	1.6	17	2.5	57	8.4
その他		39	5.6	14	2.0	7	1.0	18	2.6
サンプル数(n)			100.0	698	100.0	765	100.0	680	100.0

※回答は順に3つまでの複数選択のため、それぞれの回答数(n)は異なる

(2) 25 年度－23 年度調査結果比較

- ・平成 23 年度調査との比較では、全体的に回答割合に大きな差はみられない。
- ・「1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり」「2-2 安全で安心なまちづくり」の上位2項目の差がマイナスとなっている。
- ・これら以外では、「2-1 誰もが活躍できるまちづくり」「4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」がやや増加している。

図表 V-3 「優先して取り組むべき政策」の回答割合(H25-23 年度比較)

取り組みの方向性	25年度(n=698)		24年度(n=765)		23年度(n=729)		25-24年度比	25-23年度比
	順位	回答割合(%)	順位	回答割合(%)	順位	回答割合(%)		
(1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	1	58.7	2	57.6	1	61.9	1.1	▲ 3.2
(2-2) 安全で安心なまちづくり	2	57.6	1	58.8	2	61.6	▲ 1.2	▲ 4.0
(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	3	51.6	3	49.9	3	49.8	1.7	1.8
(4-2) 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	4	38.5	4	36.2	4	34.7	2.3	3.8
(3-1) 人と自然が共生するまちづくり	5	23.5	5	24.1	5	24.1	▲ 0.6	▲ 0.6
(1-2) 人間性豊かな子どもの育成	6	20.6	6	19.9	6	21.0	0.7	▲ 0.4
(2-1) 誰もが活躍できるまちづくり	7	15.2	7	13.9	8	10.6	1.3	4.6
(5-2) 地域を支えるコミュニティ機能の強化	8	12.2	8	13.5	7	12.6	▲ 1.3	▲ 0.4
(3-2) 地球環境に貢献するまちづくり	9	7.7	9	7.5	9	10.4	0.2	▲ 2.7
(5-1) 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	10	4.7	9	7.5	10	5.8	▲ 2.8	▲ 1.1
その他	—	5.6	—	5.5	—	4.3	0.1	1.3

※回答は3つまでの複数選択のため、回答割合の合計は100%にならない

2 優先して取り組むべき政策の傾向（属性別）

（１）男女別

- ・今回調査で、「男性」の回答割合が最も高かったのは「１－１ 子どもを産み育てやすいまちづくり」で、「女性」では「２－２ 安全で安心なまちづくり」が最も多く選択された。
- ・平成 23 年度調査との比較では、「男性」で「安全で安心なまちづくり」の回答割合が 6.6 ポイント減少し、「女性」では「２－１ 誰もが活躍できるまちづくり」の回答割合が 6.8 ポイント増加した。

図表 V－４ 「優先して取り組むべき政策」（男女別：H25-23 年度比較）

性別	調査年度	件数(人)											(%)
			1－１	1－２	2－１	2－２	3－１	3－２	4－１	4－２	5－１	5－２	
			子どもを産み育てやすいまちづくり	人間性豊かな子どもの育成	誰もが活躍できるまちづくり	安全で安心なまちづくり	人と自然が共生するまちづくり	地球環境に貢献するまちづくり	地域経済の活性化と雇用の創出	集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	地域を支えるコミュニティ機能の強化	その他
男性	25年度	289	56.7	19.4	15.2	54.0	27.3	6.6	52.2	40.5	4.8	9.3	8.0
	24年度	315	54.9	19.7	16.8	51.1	25.1	6.3	49.5	38.1	9.8	13.7	7.0
	23年度	287	58.5	17.8	13.6	60.6	25.4	10.8	50.5	37.6	5.9	11.1	4.5
	25-24年度比		1.8	▲ 0.3	▲ 1.6	2.9	2.2	0.3	2.7	2.4	▲ 5.0	▲ 4.4	1.0
	25-23年度比		▲ 1.8	1.6	1.6	▲ 6.6	1.9	▲ 4.2	1.7	2.9	▲ 1.1	▲ 1.8	3.5
女性	25年度	398	60.3	21.4	15.1	60.8	20.9	8.3	51.5	37.2	4.8	14.1	3.5
	24年度	428	59.3	20.1	11.4	63.6	23.6	7.9	50.0	35.5	6.1	14.0	4.4
	23年度	433	64.4	23.1	8.3	62.4	23.6	10.2	48.7	33.0	5.5	13.4	4.2
	25-24年度比		1.0	1.3	3.7	▲ 2.8	▲ 2.7	0.4	1.5	1.7	▲ 1.3	0.1	▲ 0.9
	25-23年度比		▲ 4.1	▲ 1.7	6.8	▲ 1.6	▲ 2.7	▲ 1.9	2.8	4.2	▲ 0.7	0.7	▲ 0.7

※回答は 3 つまでの複数選択のため、回答割合の合計は 100%にならない

（２）年齢別

- ・今回調査では、「30 歳代」の 7 割以上が、優先すべき政策として「１－１ 子どもを産み育てやすいまちづくり」を選択しており、全ての年齢層の全ての項目別回答割合の中でも最も高い（72.4 ポイント）。
- ・また、「子どもを産み育てやすいまちづくり」は、40 歳代以下の年齢層で最も高い回答割合となっている。
- ・平成 23 年度調査との比較では、「29 歳以下」「50 歳代」で、「２－２ 安全で安心なまちづくり」が 10 ポイント以上減少した。
- ・また、取り組みの方向性の中で、全ての年齢層で回答割合が増加したのは「２－１ 誰もが活躍できるまちづくり」だけであった。

図表 V-5 「優先して取り組むべき政策」(年齢別：H25-23 年度比較)

年齢階層	調査年度	件数(人)	(%)										その他
			1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり	1-2 人間性豊かな子どもの育成	2-1 誰もが活躍できるまちづくり	2-2 安全で安心なまちづくり	3-1 人と自然が共生するまちづくり	3-2 地球環境に貢献するまちづくり	4-1 地域経済の活性化と雇用の創出	4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	5-1 地域と住民の主体性が発揮されるまちづくり	5-2 地域を支えるコミュニティ機能の強化	
29歳以下	25年度	76	61.8	26.3	23.7	59.2	17.1	7.9	40.8	32.9	7.9	11.8	6.6
	24年度	96	62.5	21.9	13.5	60.4	18.8	12.5	41.7	35.4	6.3	12.5	7.3
	23年度	91	63.7	29.7	14.3	69.2	23.1	14.3	36.3	27.5	5.5	11.0	5.5
	25-24年度比		▲ 0.7	4.4	10.2	▲ 1.2	▲ 1.7	▲ 4.6	▲ 0.9	▲ 2.5	1.6	▲ 0.7	▲ 0.7
	25-23年度比		▲ 1.9	▲ 3.4	9.4	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 6.4	4.5	5.4	2.4	0.8	1.1
30歳代	25年度	87	72.4	18.4	11.5	58.6	20.7	6.9	51.7	36.8	1.1	11.5	8.0
	24年度	90	70.0	15.6	14.4	61.1	14.4	3.3	57.8	36.7	3.3	12.2	5.6
	23年度	100	71.0	11.0	8.0	66.0	22.0	6.0	50.0	40.0	4.0	13.0	4.0
	25-24年度比		2.4	2.8	▲ 2.9	▲ 2.5	6.3	3.6	▲ 6.1	0.1	▲ 2.2	▲ 0.7	2.4
	25-23年度比		1.4	7.4	3.5	▲ 7.4	▲ 1.3	0.9	1.7	▲ 3.2	▲ 2.9	▲ 1.5	4.0
40歳代	25年度	98	65.3	19.4	11.2	61.2	20.4	8.2	44.9	42.9	4.1	11.2	4.1
	24年度	120	58.3	15.0	13.3	60.0	23.3	8.3	43.3	39.2	7.5	15.0	8.3
	23年度	118	66.9	19.5	6.8	58.5	22.0	13.6	51.7	35.6	3.4	7.6	8.5
	25-24年度比		7.0	4.4	▲ 2.1	1.2	▲ 2.9	▲ 0.1	1.6	3.7	▲ 3.4	▲ 3.8	▲ 4.2
	25-23年度比		▲ 1.6	▲ 0.1	4.4	2.7	▲ 1.6	▲ 5.4	▲ 6.8	7.3	0.7	3.6	▲ 4.4
50歳代	25年度	131	58.8	12.2	14.5	52.7	29.0	8.4	61.8	36.6	3.1	13.7	6.1
	24年度	137	59.1	16.1	14.6	54.0	24.8	7.3	55.5	40.1	10.2	10.9	3.6
	23年度	131	62.6	20.6	8.4	64.1	28.2	11.5	52.7	34.4	2.3	11.5	2.3
	25-24年度比		▲ 0.3	▲ 3.9	▲ 0.1	▲ 1.3	4.2	1.1	6.3	▲ 3.5	▲ 7.1	2.8	2.5
	25-23年度比		▲ 3.8	▲ 8.4	6.1	▲ 11.4	0.8	▲ 3.1	9.1	2.2	0.8	2.2	3.8
60歳代	25年度	158	54.4	19.0	15.8	58.9	25.3	3.8	57.0	42.4	6.3	9.5	3.8
	24年度	156	54.5	20.5	12.2	60.9	27.6	9.0	50.0	35.3	7.1	14.7	4.5
	23年度	141	59.6	19.1	10.6	55.3	22.7	7.1	53.9	37.6	10.6	17.0	3.5
	25-24年度比		▲ 0.1	▲ 1.5	3.6	▲ 2.0	▲ 2.3	▲ 5.2	7.0	7.1	▲ 0.8	▲ 5.2	▲ 0.7
	25-23年度比		▲ 5.2	▲ 0.1	5.2	3.6	2.6	▲ 3.3	3.1	4.8	▲ 4.3	▲ 7.5	0.3
70歳以上	25年度	137	48.9	29.2	15.3	58.4	24.1	10.9	47.4	37.2	5.8	14.6	5.1
	24年度	145	46.9	28.3	15.2	55.2	30.3	3.4	49.7	33.1	9.7	15.9	4.8
	23年度	138	52.9	26.1	14.5	60.1	26.1	10.9	48.6	32.6	7.2	13.8	2.9
	25-24年度比		2.0	0.9	0.1	3.2	▲ 6.2	7.5	▲ 2.3	4.1	▲ 3.9	▲ 1.3	0.3
	25-23年度比		▲ 4.0	3.1	0.8	▲ 1.7	▲ 2.0	0.0	▲ 1.2	4.6	▲ 1.4	0.8	2.2

※回答は3つまでの複数選択のため、回答割合の合計は100%にならない

図表 V-6 「優先して取り組むべき政策」(年齢別選択順位：H25 年度)

年齢階層	1		2		3	
	項目	割合(%)	項目	割合(%)	項目	割合(%)
29歳以下	(1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	61.8	(2-2) 安全で安心なまちづくり	59.2	(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	40.8
30歳代	(1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	72.4	(2-2) 安全で安心なまちづくり	58.6	(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	51.7
40歳代	(1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	65.3	(2-2) 安全で安心なまちづくり	61.2	(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	44.9
50歳代	(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	61.8	(1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	58.8	(2-2) 安全で安心なまちづくり	52.7
60歳代	(2-2) 安全で安心なまちづくり	58.9	(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	57.0	(1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	54.4
70歳以上	(2-2) 安全で安心なまちづくり	58.4	(1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	48.9	(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	47.4

(3) 地域別

- ・今回調査で、全体の政策の優先度が高い「1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり」は、「衣笠」「大津・浦賀」「久里浜・北下浦」地域で回答割合が60%を超えている。
- ・「2-2 安全で安心なまちづくり」は、「追浜・田浦」「本庁・逸見」地域で60ポイントを超える高い回答割合となった。
- ・平成23年度調査との比較では、「追浜・田浦」地域で「4-1 地域経済の活性化と雇用の創出」が10ポイントを超える増加となった。一方、「3-2 地球環境に貢献するまちづくり」「4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」は10ポイントを超える減少となっている。
- ・「衣笠」地域では、「4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」が約17ポイントの増加、「2-2 安全で安心なまちづくり」が約16ポイントの減少となっている。

図表V-7 「優先して取り組むべき政策」(地域別：H25-23年度比較)

居住地域	調査年度	件数(人)	(%)										
			1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	5-1	5-2	その他
追浜・田浦	25年度	77	55.8	24.7	14.3	68.8	20.8	7.8	53.2	24.7	6.5	15.6	6.5
	24年度	78	57.7	21.8	11.5	62.8	24.4	7.7	42.3	41.0	7.7	11.5	6.4
	23年度	78	59.0	21.8	9.0	65.4	26.9	19.2	38.5	37.2	6.4	14.1	2.6
	25-24年度比		▲ 1.9	2.9	2.8	6.0	▲ 3.6	0.1	10.9	▲ 16.3	▲ 1.2	4.1	0.1
	25-23年度比		▲ 3.2	2.9	5.3	3.4	▲ 6.1	▲ 11.4	14.7	▲ 12.5	0.1	1.5	3.9
本庁・逸見	25年度	106	53.8	15.1	16.0	64.2	20.8	7.5	56.6	40.6	2.8	11.3	4.7
	24年度	144	50.0	20.1	13.2	54.9	18.8	10.4	55.6	43.1	6.9	13.2	6.9
	23年度	129	65.9	17.1	8.5	62.0	22.5	9.3	47.3	38.0	5.4	10.9	7.0
	25-24年度比		3.8	▲ 5.0	2.8	9.3	2.0	▲ 2.9	1.0	▲ 2.5	▲ 4.1	▲ 1.9	▲ 2.2
	25-23年度比		▲ 12.1	▲ 2.0	7.5	2.2	▲ 1.7	▲ 1.8	9.3	2.6	▲ 2.6	0.4	▲ 2.3
衣笠	25年度	100	62.0	15.0	18.0	51.0	18.0	11.0	55.0	45.0	9.0	10.0	5.0
	24年度	114	58.8	15.8	11.4	55.3	23.7	7.9	53.5	34.2	7.9	14.0	7.0
	23年度	122	63.1	19.7	9.0	67.2	21.3	11.5	58.2	27.9	6.6	10.7	2.5
	25-24年度比		3.2	▲ 0.8	6.6	▲ 4.3	▲ 5.7	3.1	1.5	10.8	1.1	▲ 4.0	▲ 2.0
	25-23年度比		▲ 1.1	▲ 4.7	9.0	▲ 16.2	▲ 3.3	▲ 0.5	▲ 3.2	17.1	2.4	▲ 0.7	2.5
大津・浦賀	25年度	163	63.2	20.9	11.0	58.3	28.8	6.1	47.9	37.4	3.7	12.3	4.3
	24年度	169	60.4	17.2	15.4	60.4	30.8	4.7	47.9	33.7	8.9	14.2	3.0
	23年度	166	61.4	18.7	10.2	59.0	27.7	10.8	47.6	37.3	4.8	14.5	4.2
	25-24年度比		2.8	3.7	▲ 4.4	▲ 2.1	▲ 2.0	1.4	0.0	3.7	▲ 5.2	▲ 1.9	1.3
	25-23年度比		1.8	2.2	0.8	▲ 0.7	1.1	▲ 4.7	0.3	0.1	▲ 1.1	▲ 2.2	0.1
久里浜・北下浦	25年度	160	61.3	22.5	16.9	52.5	23.1	8.1	45.6	43.1	4.4	12.5	6.3
	24年度	174	59.2	21.8	15.5	59.2	27.0	6.3	45.4	36.8	9.2	13.8	4.0
	23年度	143	63.6	27.3	9.1	62.2	21.7	7.7	49.0	35.0	7.0	11.2	3.5
	25-24年度比		2.1	0.7	1.4	▲ 6.7	▲ 3.9	1.8	0.2	6.3	▲ 4.8	▲ 1.3	2.3
	25-23年度比		▲ 2.3	▲ 4.8	7.8	▲ 9.7	1.4	0.4	▲ 3.4	8.1	▲ 2.6	1.3	2.8
西	25年度	80	51.3	26.3	16.3	58.8	26.3	5.0	60.0	35.0	3.8	11.3	5.0
	24年度	64	57.8	28.1	14.1	59.4	10.9	7.8	54.7	28.1	1.6	17.2	7.8
	23年度	82	56.1	22.0	19.5	53.7	26.8	6.1	54.9	32.9	3.7	14.6	6.1
	25-24年度比		▲ 6.5	▲ 1.8	2.2	▲ 0.6	15.4	▲ 2.8	5.3	6.9	2.2	▲ 5.9	▲ 2.8
	25-23年度比		▲ 4.8	4.3	▲ 3.2	5.1	▲ 0.5	▲ 1.1	5.1	2.1	0.1	▲ 3.3	▲ 1.1

※回答は3つまでの複数選択のため、回答割合の合計は100%にならない

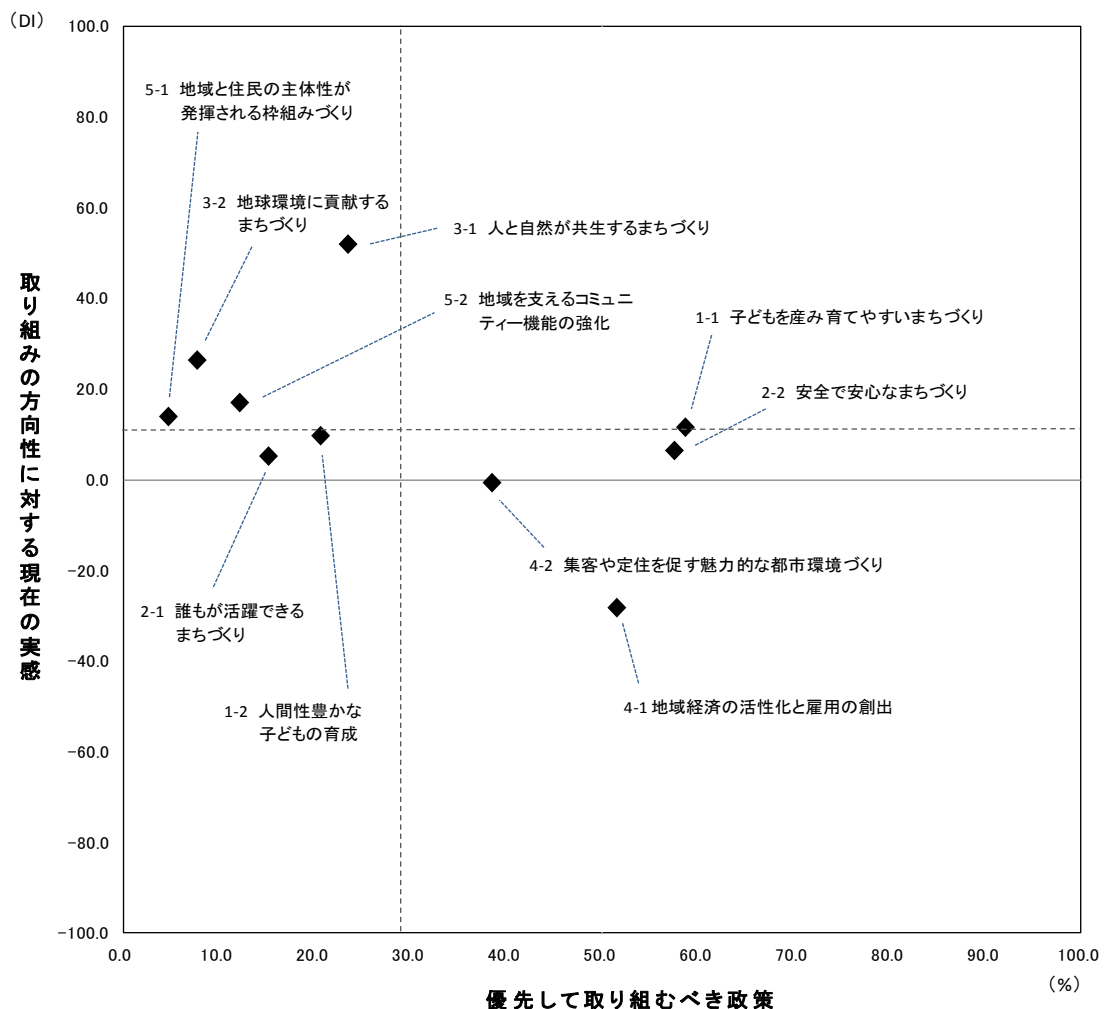
図表Ⅴ－８ 「優先して取り組むべき政策」（地域別選択順位：H25 年度）

順位 居住地域	1		2		3	
	項目	割合（％）	項目	割合（％）	項目	割合（％）
追浜・田浦	(2－2) 安全で安心なまちづくり	68.8	(1－1) 子どもを産み育てやすい まちづくり	55.8	(4－1) 地域経済の活性化と雇 用の創出	53.2
本庁・逸見	(2－2) 安全で安心なまちづくり	64.2	(4－1) 地域経済の活性化と雇 用の創出	56.6	(1－1) 子どもを産み育てやすい まちづくり	53.8
衣笠	(1－1) 子どもを産み育てやすい まちづくり	62.0	(4－1) 地域経済の活性化と雇 用の創出	55.0	(2－2) 安全で安心なまちづくり	51.0
大津・浦賀	(1－1) 子どもを産み育てやすい まちづくり	63.2	(2－2) 安全で安心なまちづくり	58.3	(4－1) 地域経済の活性化と雇 用の創出	47.9
久里浜・北下浦	(1－1) 子どもを産み育てやすい まちづくり	61.3	(2－2) 安全で安心なまちづくり	52.5	(4－1) 地域経済の活性化と雇 用の創出	45.6
西	(4－1) 地域経済の活性化と雇 用の創出	60.0	(2－2) 安全で安心なまちづくり	58.8	(1－1) 子どもを産み育てやすい まちづくり	51.3

3 優先して取り組むべき政策と取り組みの方向性に対する現在の実感

- ・「優先して取り組むべき政策」の回答割合が平均値より高く、「現在の実感」のDIが平均値より低い項目は、「2-2 安全で安心なまちづくり」「4-1 地域経済の活性化と雇用の創出」「4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」の3つとなった。
- ・プログラム1を構成する取り組みの方向性は、いずれも「現在の実感」のDIが平均値に近いが、「優先して取り組むべき政策」の回答割合が大きく異なり、「1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり」は全政策の中で最も優先度が高い。一方、「1-2 人間性豊かな子どもの育成」は平均値を下回っている。
- ・プログラム3、5をそれぞれ構成する取り組みの方向性は、全て「現在の実感」のDIが平均値より高く、「優先して取り組むべき政策」の回答割合が平均値より低くなった。
- ・これらの結果については、過年度の調査結果でも同様の傾向であるが、全体として「現在の実感」の平均値（Y軸）に上昇がみられる。（H23：5.9 → H25：11.3）

図表V-9 優先して取り組むべき政策×現在の実感



※グラフ内の破線は、「優先して取り組むべき政策の回答割合 (%)」と「取り組みの方向性に対する現在の実感 (DI)」それぞれの平均値を示したもの (X=29.0 Y=11.3)

平均値の推移：23年度 (X=29.3 Y=5.9) 24年度 (X=28.9 Y=4.9)

基本的な属性(F1～F6)

(1) 性別 (F1)

項目	件数(人)	構成比(%)			増減	
		25年度	24年度	23年度	25-24年度比	25-23年度比
全体	732	100.0	100.0	100.0		
男性	300	41.0	41.0	39.5	0.0	1.5
女性	413	56.4	55.2	58.7	1.2	▲ 2.3
無回答	19	2.6	3.8	1.7	▲ 1.2	0.9

(2) 年齢 (F2)

項目	件数(人)	構成比(%)			増減	
		25年度	24年度	23年度	25-24年度比	25-23年度比
全体	732	100.0	100.0	100.0		
15～19歳	18	2.5	3.8	4.5	▲ 1.3	▲ 2.0
20～29歳	59	8.1	8.8	7.6	▲ 0.8	0.5
30～39歳	88	12.0	11.4	13.4	0.6	▲ 1.4
40～49歳	99	13.5	15.4	15.8	▲ 1.9	▲ 2.3
50～59歳	136	18.6	17.7	18.0	0.9	0.6
60～69歳	168	23.0	20.0	19.3	3.0	3.7
70歳以上	145	19.8	19.2	19.4	0.6	0.4
無回答	19	2.6	3.7	1.9	▲ 1.1	0.7

(3) 居住地域 (F3)

項目	件数(人)	構成比(%)			増減	
		25年度	24年度	23年度	25-24年度比	25-23年度比
全体	732	100.0	100.0	100.0		
本庁地域	99	13.5	15.7	14.6	▲ 2.2	▲ 1.1
追浜地域	52	7.1	5.6	6.0	1.5	1.1
田浦地域	30	4.1	4.6	4.7	▲ 0.5	▲ 0.6
逸見地域	16	2.2	2.7	3.1	▲ 0.5	▲ 0.9
衣笠地域	104	14.2	14.8	16.4	▲ 0.6	▲ 2.2
大津地域	77	10.5	9.5	10.4	1.0	0.1
浦賀地域	92	12.6	12.9	12.6	▲ 0.3	▲ 0.0
久里浜地域	95	13.0	13.7	12.0	▲ 0.7	1.0
北下浦地域	65	8.9	8.5	7.5	0.4	1.4
西地域	83	11.3	8.5	11.1	2.9	0.2
無回答	19	2.6	3.8	1.7	▲ 1.2	0.9

(４) 職業 (F４)

項目	件数(人)	構成比(%)			増減	
		25年度	24年度	23年度	25-24年度比	25-23年度比
全体	732	100.0	100.0	100.0		
農林漁業	2	0.3	0.6	0.3	▲ 0.4	▲ 0.0
自営(商店・工務店・工場等)	10	1.4	2.0	1.9	▲ 0.7	▲ 0.5
自営(サービス業)	15	2.0	2.0	1.7	0.0	0.3
会社員・公務員 (事務職・専門職・管理職)	118	16.1	16.4	15.8	▲ 0.3	0.3
会社員・公務員(販売／サービス)	82	11.2	8.3	8.4	2.9	2.8
会社員・公務員 (保安・運輸／通信・建設／労務)	32	4.4	4.7	4.0	▲ 0.3	0.4
自由業	4	0.5	0.8	0.7	▲ 0.2	▲ 0.2
家事専業	120	16.4	16.2	17.8	0.2	▲ 1.4
アルバイト・パートタイマー・派遣社員	120	16.4	13.7	15.4	2.7	1.0
学生	19	2.6	5.3	5.7	▲ 2.7	▲ 3.1
無職	171	23.4	23.3	24.2	0.1	▲ 0.8
その他	21	2.9	3.2	2.3	▲ 0.3	0.6
無回答	18	2.5	3.5	1.7	▲ 1.1	0.8

(５) 世帯の状況 (F５)

項目	件数(人)	構成比(%)			増減	
		25年度	24年度	23年度	25-24年度比	25-23年度比
全体	787	100.0	100.0	100.0		
小学生未満の子どもがいる	47	6.0	6.3	6.8	▲ 0.4	▲ 0.8
小学生～中学生の子どもがいる	74	9.4	8.0	11.6	1.4	▲ 2.2
65歳以上の高齢者がいる	310	39.4	39.2	32.4	0.2	7.0
単身世帯(一人暮らし)	110	14.0	14.4	15.6	▲ 0.4	▲ 1.6
該当なし	226	28.7	28.8	31.8	▲ 0.1	▲ 3.1
無回答	20	2.5	3.2	1.8	▲ 0.7	0.7

※複数回答

(６) 居住年数 (F６)

項目	件数(人)	構成比(%)
全 体	732	100.0
1年未満	3	0.4
1～3年	21	2.9
4～9年	44	6.0
10～14年	43	5.9
15～19年	59	8.1
20～24年	64	8.7
25年以上	479	65.4
無回答	19	2.6

※平成 23、24 年度は調査なし

基本計画重点プログラム 市民アンケート

質問・回答用紙

-
- ◇ こちらの用紙には、アンケートの質問と回答欄があります。
 - ◇ 各設問の理由欄について、特にない場合にはご記入いただかなくて結構です。
 - ◇ ご回答いただく際には、別冊の「基本計画重点プログラム市民アンケート参考資料」を参考にしてください。
 - ◇ 回答欄にご記入の上、3つ折りにして同封の返信用封筒（切手不要）に封入し、平成 25 年 5 月 13 日（月）までにご投函ください。
 - ◇ 本調査結果は、市ホームページなどで公表しますが、「アンケート調査結果報告書」の送付を希望される場合は、返信用封筒の裏面に住所・氏名を記載してください。（封筒はアンケート集計には利用しません）
-

重点プログラム1 『新しい芽を育む』

～子どもを産み育てやすいまちづくり・人間性豊かな子どもの育成～

⇒ 参考資料 3 ページ ・ 4 ページをご覧ください

問1 横須賀市は、「子どもを産み育てやすいまち」だと思いますか。
現在について、選択肢 1 - (1) から、以前（4～5 年前）との比較において、
選択肢 1 - (2) から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について	回答欄		理由	
--------	-----	----------------------	----	----------------------

選択肢 1 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較 において	回答欄		理由	
----------------	-----	----------------------	----	----------------------

選択肢 1 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというとよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというと悪くなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

問2 横須賀市は、「人間性豊かな子どもの育成」が進められているまちだと思いますか。
現在について、選択肢 2 - (1) から、以前（4～5 年前）との比較において、
選択肢 2 - (2) から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について	回答欄		理由	
--------	-----	----------------------	----	----------------------

選択肢 2 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較 において	回答欄		理由	
----------------	-----	----------------------	----	----------------------

選択肢 2 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというとよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというと悪くなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

重点プログラム1 『新しい芽を育む』について

「重点プログラム1」では、子どもを生み育てやすく、子ども自身が健やかに成長する環境をつくるとともに、教育環境を充実させることで、「次代を担う新しい芽が育まれる都市の実現」を目指しています。

問3 横須賀市は、「次代を担う新しい芽が育まれるまち」だと思いますか。
現在について、選択肢3-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、
選択肢3-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢3-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢3-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというとよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというと悪くなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

重点プログラム2 『命を守る』

～誰もが活躍できるまちづくり・安全で安心なまちづくり～

⇒ 参考資料 5 ページ ～ 7 ページをご覧ください

問4 横須賀市は、年齢、性別、障害の有無等にかかわらず、「誰もが活躍できるまち」だと思いますか。

現在について、選択肢 4 - (1) から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢 4 - (2) から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢 4 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢 4 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというとよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというと悪くなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

問5 横須賀市は、「安全で安心なまち」だと思いますか。

現在について、選択肢 5 - (1) から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢 5 - (2) から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢 5 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢 5 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというとよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというと悪くなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

重点プログラム2 『命を守る』について

「重点プログラム2」では、全ての市民がそれぞれの可能性や能力を発揮しながら、いきいき暮らせる場や機会を充実させるとともに、安全で安心して暮らせる生活環境を整備することで、「生きがいに満ちあふれ命を大切にする都市の実現」を目指しています。

問6 横須賀市は、「生きがいに満ちあふれ命を大切にするまち」だと思いますか。
現在について、選択肢6-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、
選択肢6-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢6-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢6-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというとよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというと悪くなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

重点プログラム3 『環境を守る』

～人と自然が共生するまちづくり・地球環境に貢献するまちづくり～

⇒ 参考資料 9ページ ・ 10ページをご覧ください

問7 横須賀市は、「人と自然が共生するまち」だと思いますか。
現在について、選択肢7-(1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢7-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について	回答欄		理由	
選択肢7-(1)				
① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない ⑥ わからない				

以前との比較 において	回答欄		理由	
選択肢7-(2)				
① よくなっている ② どちらかというとよくなっている ③ 変わっていない ④ どちらかというと悪くなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない				

問8 横須賀市は、「地球環境に貢献するまちづくり」が進められているまちだと思いますか。
現在について、選択肢8-(1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢8-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について	回答欄		理由	
選択肢8-(1)				
① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない ⑥ わからない				

以前との比較 において	回答欄		理由	
選択肢8-(2)				
① よくなっている ② どちらかというとよくなっている ③ 変わっていない ④ どちらかというと悪くなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない				

重点プログラム3 『環境を守る』について

「重点プログラム3」では、豊かな自然を守り育むとともに、地球規模の環境問題に配慮したまちづくりを推進することで、「環境と調和した潤いのある都市の実現」を目指しています。

問9 横須賀市は、「環境と調和した潤いのあるまち」だと思いますか。
現在について、選択肢9-(1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢9-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢9-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢9-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

重点プログラム4 『にぎわいを生む』

～地域経済の活性化と雇用の創出・集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり～

⇒ 参考資料 11 ページ ・ 12 ページをご覧ください

問 10 横須賀市は、「地域経済の活性化と雇用の創出」が図られているまちだと思いますか。

現在について、選択肢 10 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢 10 - (2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢 10 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢 10 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

問 11 横須賀市は、「集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」が進められているまちだと思いますか。

現在について、選択肢 11 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢 11 - (2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢 11 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢 11 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

重点プログラム4 『にぎわいを生む』について

「重点プログラム4」では、持続可能な産業構造や利便性の高い都市構造の構築を図るとともに、地域資源を生かした新たなまちの魅力を創出し、「にぎわいと活力に満ちた都市の実現」を目指しています。

問12 横須賀市は「にぎわいと活力に満ちたまち」だと思いますか。
現在について、選択肢12-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、
選択肢12-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について 回答欄

理由

選択肢12-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との
において 回答欄

理由

選択肢12-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

重点プログラム5 『地域力を育む』

～地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり・地域を支えるコミュニティ機能の強化～

⇒ 参考資料 13 ページ ・ 14 ページをご覧ください

- 問 13** 横須賀市は、「地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり」が進められているまちだと思いますか。
現在について、選択肢 13 - (1)から、以前（４～５年前）との比較において、
選択肢 13 - (2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について	回答欄		理由	
選択肢 13 - (1)				
① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない ⑥ わからない				
以前との比較 において	回答欄		理由	
選択肢 13 - (2)				
① よくなっている ② どちらかというとよくなっている ③ 変わっていない ④ どちらかというと悪くなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない				

- 問 14** 横須賀市は、「地域を支えるコミュニティ※機能の強化」が図られているまちだと思いますか。
現在について、選択肢 14 - (1)から、以前（４～５年前）との比較において、
選択肢 14 - (2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

※コミュニティ：同じ地域に暮らし、協力して地域の課題に取り組む人々の集まり。

現在について	回答欄		理由	
選択肢 14 - (1)				
① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない ⑥ わからない				
以前との比較 において	回答欄		理由	
選択肢 14 - (2)				
① よくなっている ② どちらかというとよくなっている ③ 変わっていない ④ どちらかというと悪くなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない				

重点プログラム5 『地域力を育む』について

「重点プログラム5」では、それぞれの地域が、自らの課題に対応するとともに、個性や特色を生かしながら住民が主体になってまちの在り方を決める、「住民自治に根差した都市の実現」を目指しています。

問 15 横須賀市は、「住民自治に根差したまち」だと思いますか。

現在について、選択肢 15 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢 15 - (2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢 15 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢 15 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかという悪くなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

『持続可能な発展を遂げる都市力』について

今日、多くの自治体がそうであるように、横須賀市も人口減少や少子高齢化などの都市の持続的な発展を妨げる課題に直面しています。

これまでの設問では、この厳しい状況下で着実に成長できるための土台づくり、また、全政策・施策の先導役として基本計画に位置付けた「5つの重点プログラム」に関して、皆さまの実感をお伺いしてきました。

問 16 重点プログラムに関する設問の最後にお伺いします。

横須賀市は、人口減少や少子高齢化などの厳しい状況下においても、着実に成長できるための「都市力（都市の魅力）」を備えているまちだと思いますか。

現在について、選択肢 16 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、選択肢 16 - (2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢 16 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢 16 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというとよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというと悪くなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

問 17 人口減少や少子高齢化などの厳しい状況下においても、横須賀市が着実に成長できるために、今後、市はどのような政策に優先して取り組むべきだと思いますか。次の選択肢から優先すべきと思う順に3つまで選んでその番号を回答欄に記入してください。

なお、⑪その他を選んだ場合は、その内容を記入してください。

- ① 子どもを産み育てやすいまちづくり
- ② 人間性豊かな子どもの育成
- ③ 誰もが活躍できるまちづくり
- ④ 安全で安心なまちづくり
- ⑤ 人と自然が共生するまちづくり
- ⑥ 地球環境に貢献するまちづくり
- ⑦ 地域経済の活性化と雇用の創出
- ⑧ 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり
- ⑨ 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり
- ⑩ 地域を支えるコミュニティー機能の強化
- ⑪ その他（具体的にお書きください）

回答欄

1 番 目	2 番 目	3 番 目	「⑪その他」を選んだ方は、その内容をお書き下さい

『横須賀市の魅力やイメージ』について

『横須賀市の魅力やイメージ』についてお伺いします。

問 18 あなたにとって、横須賀市の魅力的なところとは、どのようなところだと思いますか。

次の選択肢から魅力的だと思う順に3つまで選んで回答欄に記入してください。
なお、⑮その他を選んだ場合は、その内容を記入してください。

- ① 教育や文化の水準が高い
- ② 子育てに対する支援が充実している
- ③ 高齢者、障害者などへの福祉が充実している
- ④ 道路、公園などの都市基盤が整備され、生活するのに便利である
- ⑤ 身近でスポーツ・レクリエーションを楽しむ機会に恵まれている
- ⑥ 犯罪が少ない・防災面が充実しているなど安心して暮らせる
- ⑦ 大都市に近く、通勤・通学に便利である
- ⑧ 仕事や収入の機会に恵まれている
- ⑨ 海や緑などの自然環境に恵まれている
- ⑩ 魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる
- ⑪ 観光資源や歴史的資産に恵まれている
- ⑫ 国際色豊かである
- ⑬ 市民のマナーが良く、快適な生活ができる
- ⑭ 地域での人間関係がとてもよい
- ⑮ その他（具体的にお書きください）

回答欄

1 番 目	2 番 目	3 番 目	「⑮その他」を選んだ方は、その内容をお書き下さい
-------	-------	-------	--------------------------

問 19 あなたは横須賀市に自分のまちとしての愛着を感じていますか。次の選択肢からあてはまるものを1つだけ選んで回答欄に記入してください。

- ① 感じている ② やや感じている ③ どちらともいえない ④ あまり感じていない
- ⑤ 感じていない ⑥ わからない

回答欄

--

問 20 あなたが考える横須賀市のイメージについて、「現在の都市イメージ（A）」および「望ましい都市イメージ（B）」を、次の選択肢からそれぞれ3つまで選んで回答欄に記入してください。
 なお、⑮その他を選んだ場合は、その内容を記入してください。

- ① 外国人との交流が盛んな「国際交流のまち」
- ② さまざまな分野の研究開発機関が集積する「ICT（情報通信技術）・先端技術のまち」
- ③ 芸術・文化活動が盛んな「文化芸術のまち」
- ④ 米軍基地・自衛隊がある「基地のまち」
- ⑤ 防犯・防災体制が整った「安全・安心なまち」
- ⑥ 市外から多くの人を訪れる「観光・レジャーのまち」
- ⑦ 豊かな自然が残されている「自然環境に恵まれたまち」
- ⑧ 首都圏への通勤者が多い「住宅中心のまち」
- ⑨ ごみのリサイクルや地球温暖化対策など「環境にやさしいまち」
- ⑩ 道路、公園など都市基盤の整った「生活に便利で快適なまち」
- ⑪ 健康づくりのための施設や医療機関が充実した「健康増進・医療福祉のまち」
- ⑫ 高齢者・障害者をはじめとした「誰もが安心して暮らせるまち」
- ⑬ 保育所など子育て環境が充実した「子育てのまち」
- ⑭ 学校教育が充実した「教育のまち」
- ⑮ 農業・漁業が盛んな「農・漁業のまち」
- ⑯ 自動車産業など「工業が盛んなまち」
- ⑰ 商業施設が充実した「にぎわいのあるまち」
- ⑱ その他（ご自由にお書きください）

回答欄

A 欄 (現在の都市イメージ)	1 番目	2 番目	3 番目	「⑱その他」を選んだ方は、その内容をお書き下さい
B 欄 (望ましい都市イメージ)	1 番目	2 番目	3 番目	「⑱その他」を選んだ方は、その内容をお書き下さい

あなた自身のことについてお伺いします

**※記入もれがあると、いただいた回答が無効になってしまうことがあります。
分析に必要なデータですので、全員の方がお答えください。**

次の各項目において、あなたにあてはまるものを選んでください。

F 1 <性別>

- ① 男性 ② 女性

回答欄

F 2 <年齢>

- ① 15～19 歳 ② 20～29 歳 ③ 30～39 歳 ④ 40～49 歳
⑤ 50～59 歳 ⑥ 60～69 歳 ⑦ 70 歳以上

回答欄

F 3 <お住まいの地域> (次ページに地域別一覧表があります。ご参照ください。)

- ① 本庁地域 ② 追浜地域 ③ 田浦地域 ④ 逸見地域
⑤ 衣笠地域 ⑥ 大津地域 ⑦ 浦賀地域 ⑧ 久里浜地域
⑨ 北下浦地域 ⑩ 西地域

回答欄

F 4 <職業>

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| ① 農林漁業 | ② 自営（商店・工務店・工場等） |
| ③ 自営（サービス業） | ④ 会社員・公務員（事務職・専門職・管理職） |
| ⑤ 会社員・公務員（販売／サービス） | ⑥ 会社員・公務員（保安・運輸／通信・建設／労務） |
| ⑦ 自由業 | ⑧ 家事専業 |
| ⑨ アルバイト・パートタイマー・派遣社員 | ⑩ 学生 |
| ⑪ 無職 | ⑫ その他 |

回答欄

F 5 <世帯の状況> (複数回答可 ※④を選択した場合は他の選択肢は選択できません)

- ① 世帯に小学生未満の子どもがいる ② 世帯に小学生～中学生の子どもがいる
③ 世帯に 65 歳以上の高齢者がいる ④ 単身世帯（一人暮らし）
⑤ ①～④に該当なし

回答欄

F 6 <横須賀市に住んでいる年数>

- ① 1 年未満 ② 1～3 年 ③ 4～9 年 ④ 10～14 年
⑤ 15～19 年 ⑥ 20～24 年 ⑦ 25 年以上

回答欄

ご協力ありがとうございました。

地域別一覧表

(町 名)	(地域別)
稲岡町、不入斗町、上町、小川町、大滝町、楠ヶ浦町、坂本町、佐野町、猿島、汐入町、汐見台、新港町、田戸台、鶴が丘、泊町、日の出町、深田台、富士見町、平成町、平和台、望洋台、本町、緑が丘、三春町、安浦町、米が浜通、若松町	➡ ①本庁地域
浦郷町、追浜町、追浜東町、追浜本町、追浜南町、湘南鷹取、鷹取、夏島町、浜見台	➡ ②追浜地域
田浦町、田浦泉町、田浦大作町、田浦港町、長浦町、箱崎町、船越町、港が丘	➡ ③田浦地域
安針台、西逸見町、東逸見町、逸見が丘、山中町、吉倉町	➡ ④逸見地域
阿部倉、池上、大矢部、金谷、衣笠町、衣笠栄町、公郷町、小矢部、平作、森崎	➡ ⑤衣笠地域
池田町、大津町、桜が丘、根岸町、走水、馬堀町、馬堀海岸	➡ ⑥大津地域
浦賀、浦賀丘、浦上台、小原台、鴨居、光風台、西浦賀、東浦賀、二葉、南浦賀、吉井	➡ ⑦浦賀地域
岩戸、内川、内川新田、久比里、久村、久里浜、久里浜台、佐原、神明町、長瀬、ハイランド、舟倉、若宮台	➡ ⑧久里浜地域
栗田、グリーンハイツ、津久井、長沢、野比、光の丘	➡ ⑨北下浦地域
秋谷、芦名、太田和、荻野、子安、佐島、佐島の丘、湘南国際村、須軽谷、武、長井、長坂、林、御幸浜、山科台	➡ ⑩西地域